

令和 2 年度 版

# 山梨県林業統計書

山梨県森林環境部

## 利用される方々へ

- 1 この統計は、令和元年度中の事業実績と令和2年3月31日現在の現況を収録、表示することを原則としています。また、例外については、表ごとに表示しています。
- 2 統計資料は、各課からの資料をもとに編集していますが、国有林については、関東森林管理局山梨森林管理事務所の資料により編集しています。
- 3 統計資料の数値は原則、「Ⅰグラフで見る山梨の森林・林業」を過去10カ年、「Ⅱ森林・林業統計表」を過去5カ年で記載しています。なお、例外については各表ごとに表示しています。
- 4 単位は、原則として面積はヘクタール (ha)、立木材積、素材材積、石材は立方メートル (m<sup>3</sup>)、重量はトン (t)、薪は束、金額は円としています。
- 5 数字は単位未満は四捨五入することを原則としましたが、合計数字と内訳数字とが一致しない場合もあります。
- 6 表中の符号の用法は次のとおりです。
  - 「0」 ……単位に満たないもの
  - 「-」 ……該当数字なし
  - 「…」 ……事実がわからない
  - 「×」 ……個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計を公表しないもの
- 7 用語の解説
  - 恩賜県有財産：  
明治44年3月11日に御下賜された御料地を主体に恩賜県有財産特別会計で管理経営している県有林等をいう。
  - 官行造林地：  
公共団体所有の荒廃地に、昭和36年までに国が実施した分収造林地
  - 点生木：  
被災や収穫により、部分的に残った立木。複層林の上木樹冠占有率が30%未満の場合には、下層木の一斉林と見なし、上木を点生木扱いとしている。
  - 不要存置県有林野：  
恩賜県有財産存廃区分調査内規に基づき、経営対象森林（要存置林野）に区分されなかったもので、飛び地や狭小地が多い。その後、地元売り払ったり、見直しにより要存置林野に編入されたものは除かれる。
  - 無立木地：  
立木のない林地及び樹冠占有率30%未満の林分であって、伐採跡地と未立木地に区分する。
  - 国有林野の地域別の森林計画書：  
森林管理局長が、その管理経営する国有林につき全国森林計画に即し、森林計画区別に5年ごとに10年を一期として作成する計画

# 目 次

## I グラフで見る山梨の森林・林業

1 森林資源の現状	2
2 木材需給量と材価	5
3 主な特用林産物の生産量（指数）の推移	10
4 林業生産活動の動向	11
5 森林・林業の役割	15

## II 森林・林業統計表

### 森林の現況

1 管轄区域と管理面積	20
(1) 県有林・民有林	
(2) 国有林	
2 行政区画別森林面積	21
3 林種別・所管別森林面積	22
4 行政区画別森林蓄積	24
5 林種別・所管別森林蓄積	26
6 樹種別面積・蓄積	27
(附表) 地域森林計画樹立の状況	
(附表) 樹種別伐期齢	
7 保安林面積	29
8 保安林整備事業	30
(1) 保安林改良事業	
(2) 保安林保育事業	
9 県有林貸付地種類別面積	32
10 国・県有林の部分林	33

### 造林

11 苗畑面積	36
12 種苗生産	37
13 山行苗木需給状況	38
(1) 県有林・民有林需給	
(2) 国有林需給	
15 造林実行面積	42
(1) 育成単層林整備	
(2) 育成複層林整備	
(附表) 令和元年度国有林・県有林造林種別内訳	
16 苗木価格	45
17 採種園設定状況	45
18 精英樹選出状況	46

### 収穫

19 国・県・民有林別、針・広別伐採量	48
20 成長量・標準年伐量	48
21 県有林主・間伐別立木処分量	50
(附表) 令和元年度の事務所別内訳	
22 県有林主産物契約方法別処分量	52

23 県有林主産物用途別処分量	53
24 県有林副産物処分量	54

## 木材需給と木材産業

25 県内木材価格の推移	56
26 用材（原木）需給の状況	57
27 製材	58
(1) 製材工場数・動力の出力数及び従業者数	
(2) 製材用素材の入荷量	
(3) 国産材・外材別の工場数及び原木入荷量	
(4) 製材品の用途別出荷量	
28 チップ	60
(1) 木材チップ工場数及び従業者数	
(2) 原材料入手区分別木材チップ生産量	

## 特用林産

31 管内別薪生産量	62
32 管内別木炭生産量	63
34 特用林産物生産量	63
35 管内別しいたけ生産量	64
(1) 生しいたけ	
(2) 乾しいたけ	

## 林道

36 県営林道の現況	66
37 県営林道5ヶ年実績	66
38 補助林道の現況	67
39 補助林道5ヶ年実績	67

## 治山

40 治山事業の現況	70
41 民有林直轄治山事業（山梨森林管理事務所）	76

## 林野被害

42 林野被害	78
43 森林保険契約及び損害てん補状況	80

## 森林組合及び林業金融

44 森林組合の状況	82
46 日本政策金融公庫資金借入状況	84
47 林業関係資金貸付状況	85
(1) 林業・木材産業改善資金貸付状況	
(2) 木材産業高度化推進資金貸付状況	

## 普及

48 林業普及指導員配置状況	88
49 林業普及指導の協力員・団体の状況	88
50 林業機械器具の現況	89

## 試験研究及び研修

51 令和元年度試験研究実績表	92
52 令和元年度森林総合研究所及び部内研修実績表	96
(1) 基礎研修	
(2) 専門研修	
(3) 技能者養成研修	
(4) 森の教室	
(5) 植物園研修	

## 林業・木材産業構造改革

53 林業・木材産業構造改革事業実績	100
(1) 林業構造改善事業等市町村別実績	
(2) 令和元年度林業・木材産業構造改革事業等実績	

## 環境緑化及び森林の保健・文化・教育的利用

54 緑の募金	104
(1) 「緑の募金」実績額の推移	
(2) 「緑の募金」の主な用途	
55 緑化樹生産	105
(1) 公共用緑化樹養成数	
(2) 施設別緑化樹配付状況	
56 緑の少年隊	106
57 森林公園	107
(1) 県民の森	
(2) 武田の杜	
(3) 金川の森	
58 森林文化の森	108

## 林地開発許可等の現況

59 林地開発許可状況	110
60 採石、山・陸砂利、土採取認可状況	110
61 土砂の埋立て等許可等の状況	111
62 ゴルフ場の現況	112

## 恩賜県有財産

63 県有林の地籍移動	114
64 県有林以外の土地及び建物一覧表	115
65 境界保全管理事業実績	116

## 林政

66 林政関係予算及び決算	118
(1) 一般会計	
(2) 林業改善資金特別会計	
(3) 恩賜県有財産特別会計	
67 恩賜林の交付金交付状況	124
68 森林環境行政組織図	125
69 森林環境行政職員数	126

## 林業公社

70 造林実行面積	128
71 保育事業実績	128

## その他

72 自然公園	130
73 名勝および天然記念物	134
(1)文化財保護法による指定	
(2)山梨県文化財保護条例による指定	
74 山梨県自然環境保全条例による自然環境保全地区等一覧表	140
(1)自然環境保全地区一覧表	
(2)自然記念物一覧表	
75 やまなしの森林100選	142

## 附属資料

森林・林業関係団体	146
森林組合・国の機関等	147

### 注)次の項目は欠番

- 14 山梨県営苗畑一覧表
- 29 県有林製品生産
- 30 国有林製品処分量
- 33 木炭価格
- 45 共同利用施設の内容



# 1 森林資源の現状

- ◇ 本県の森林面積は34万8千haで県土の78%を占め、国有林5千ha(1%)、県有林15万8千ha(46%)、民有林18万5千ha(53%)から構成されている。
- ◇ 森林資源の構成は、人工林15万3千ha、天然林17万2千ha、その他2万2千ha。森林面積の44%を占める人工林の年齢構成は、Ⅹ年齢以上(46年生以上)が77%であり、伐期に達した森林の占める割合が増加している。

森林面積と森林比率

全 国		
総面積	森林面積	森林比率
37,297千ha	25,048千ha	67.2%

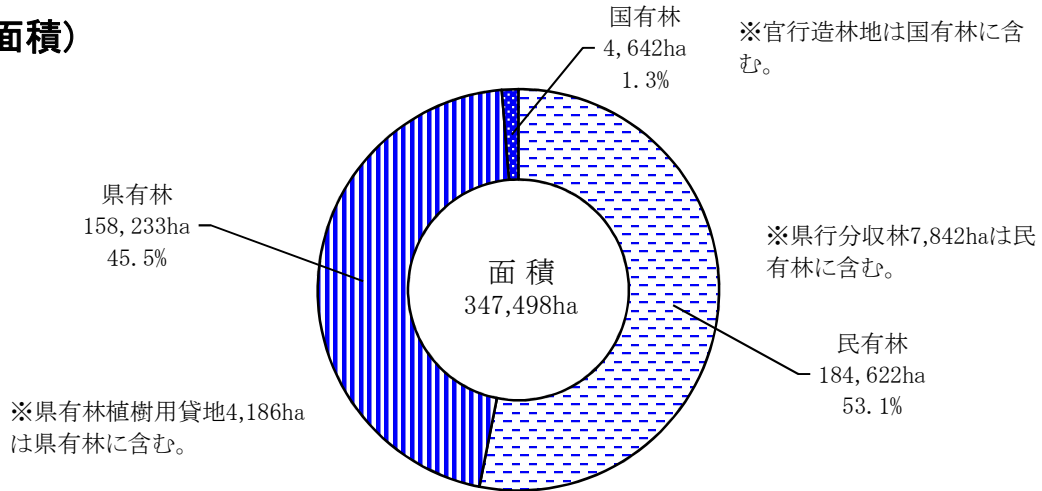
※総面積は、北方領土面積を除いた国土地理院出典全国都道府県市区町村別面積調による(R2.7.1時点)  
 ※森林面積は、森林法第2条第1項に規定する森林の数値(2020「森林・林業統計要覧」(林野庁編)による)

山 梨		
総面積	森林面積	森林比率
446,527ha	347,498ha	77.8%

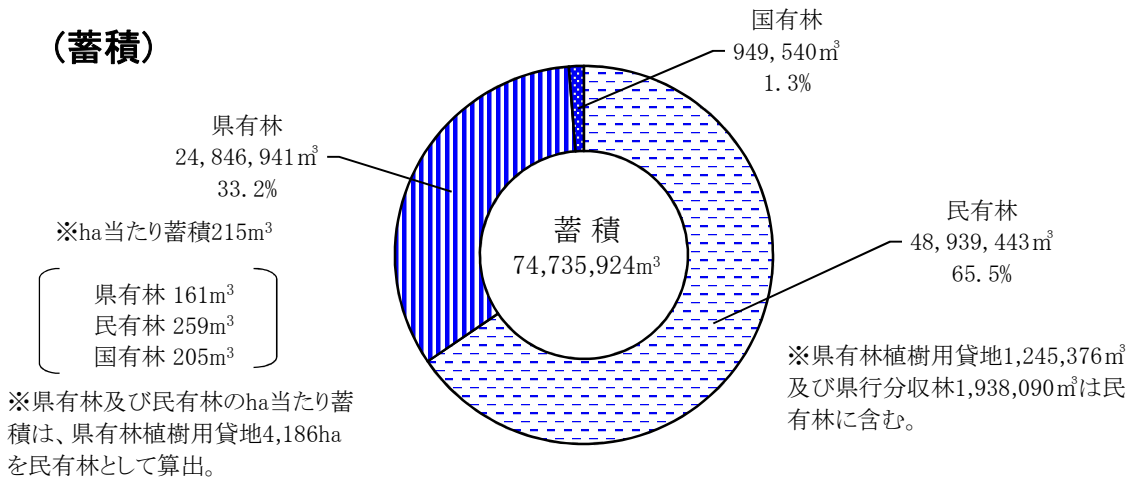
※総面積は、「山梨県統計年鑑」(令和元年度刊行)による  
 ※森林面積は、森林法第5条に規定する地域森林計画の対象森林と県内国有林の計(R2.3.31時点)  
 (森林整備課の業務資料及び関東森林管理局の数値による)

所有形態別森林面積と蓄積

## (面積)



## (蓄積)





### 人工林面積と人工林率

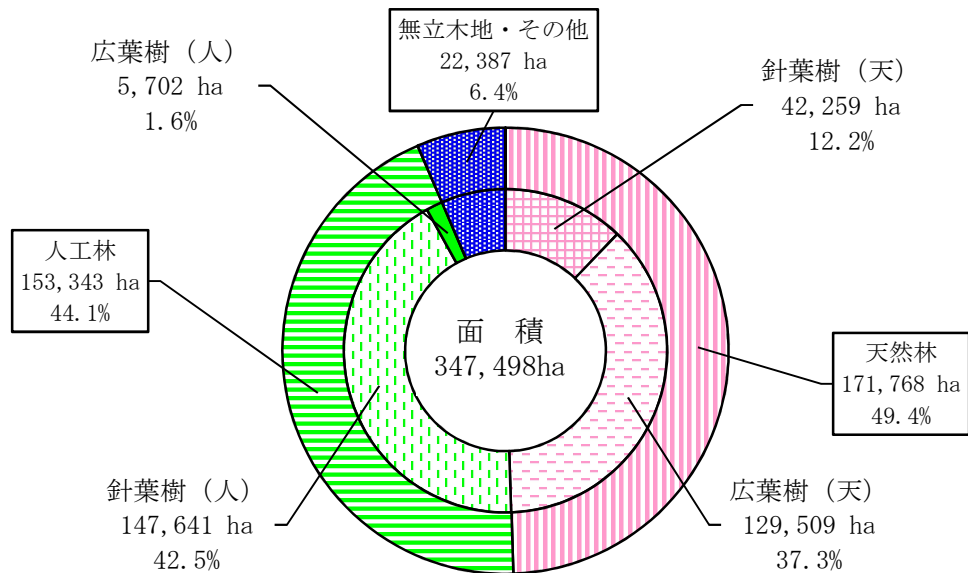
全 国		山 梨
10,204 千ha	人 工 林 面 積	153,343 ha
40.7% %	人 工 林 率	44.1 %

※全国の人工林面積は、2020「森林・林業統計要覧」（林野庁編）

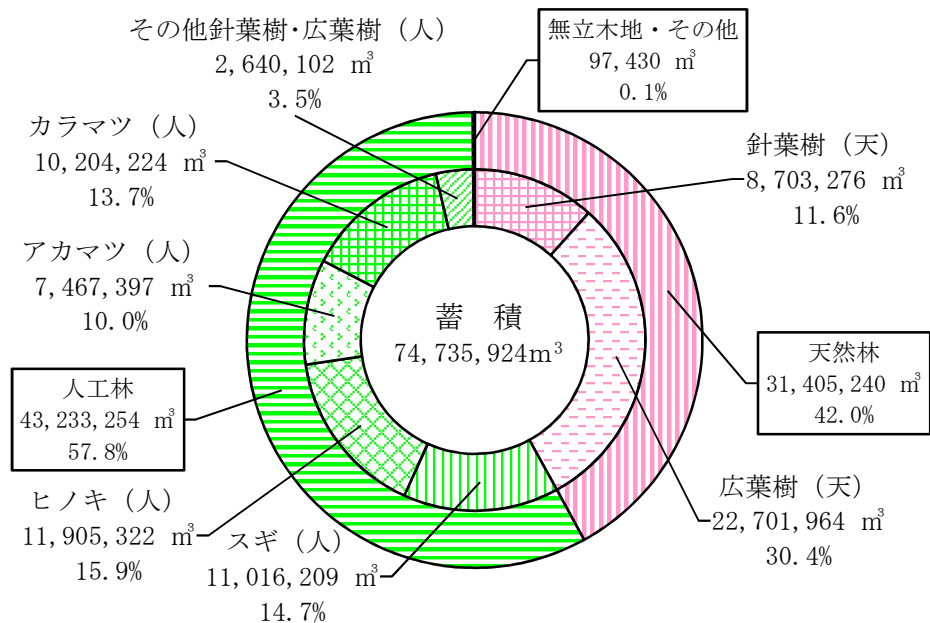
※山梨県の人工林面積は、森林整備課の業務資料（国有林については関東森林管理局の数値）

### 林種別・樹種別面積と蓄積

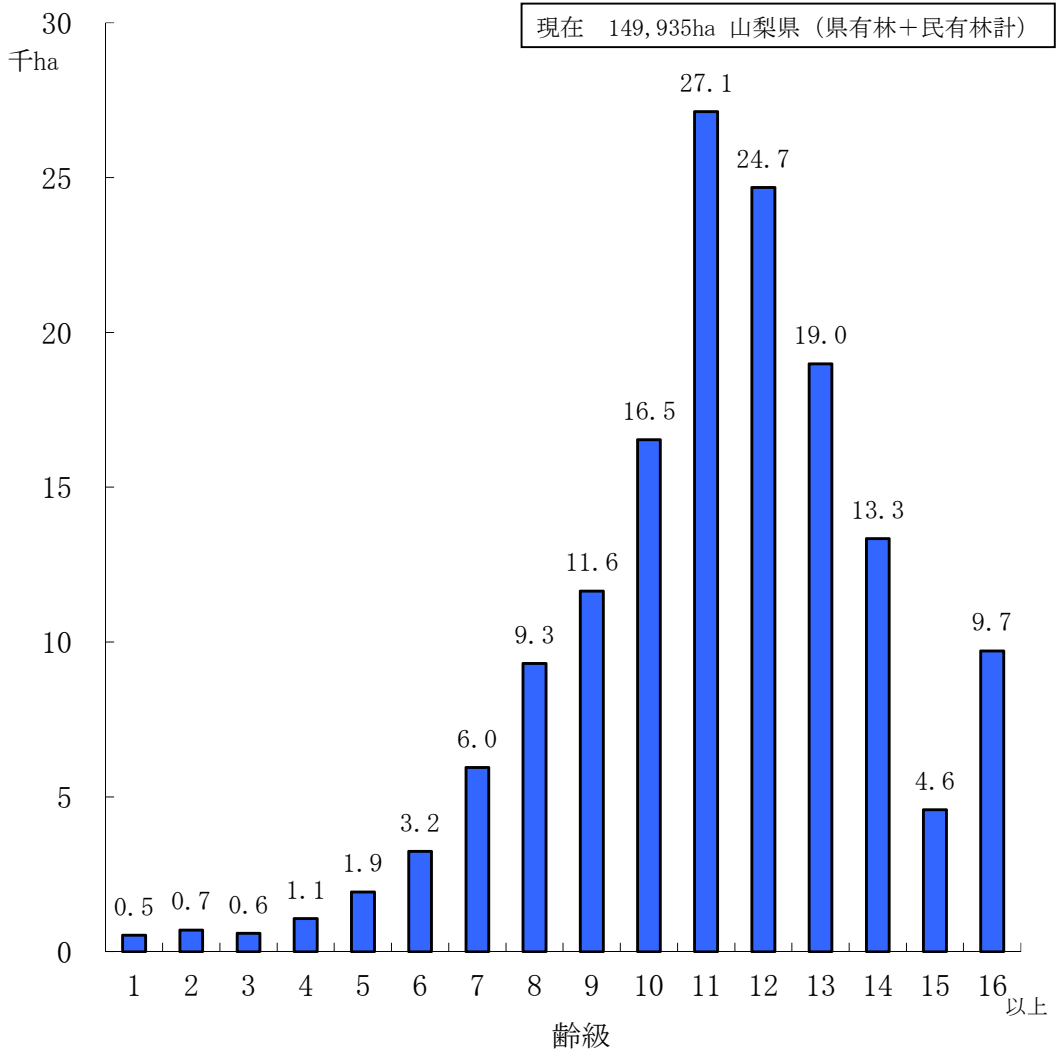
#### (面積)



#### (蓄積)



### 齡級別人工林面積



#### 構成比

山梨県	0	0	0	1	1	2	4	6	8	11	18	16	13	9	3	6
全国	1	1	1	2	2	3	6	8	11	15	16	14	9	3	2	6%

#### 構成比(山梨県)

Ⅲ齡級以下 (15年生以下)	1%
Ⅳ～Ⅸ齡級 (16～45年生)	22%
Ⅹ齡級以上 (46年生以上)	77%

資料：全国は、2020「森林・林業統計要覧」（林野庁編）

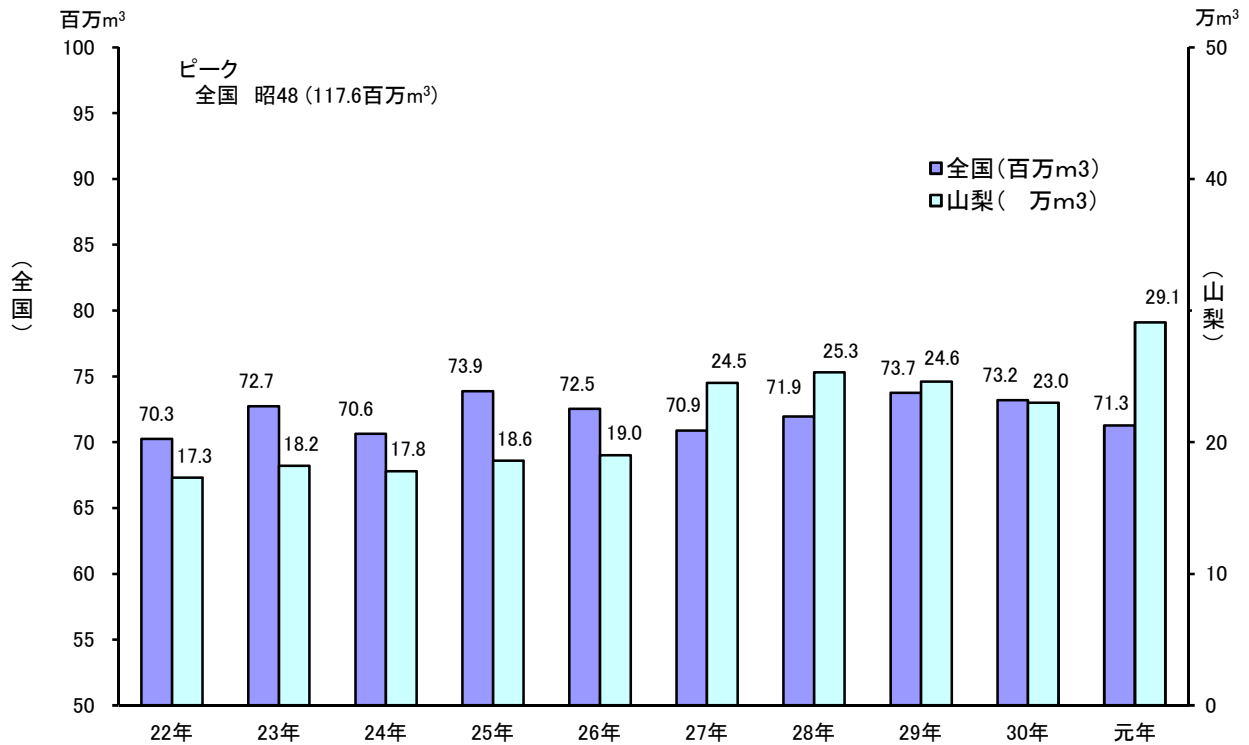
山梨県は、森林整備課の業務資料（国有林除く）

齡級：森林の林齢を5年の幅でくくった単位。人工林は、苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生をⅠ齡級、6～10年生をⅡ齡級と数える。

## 2 木材需給量と材価

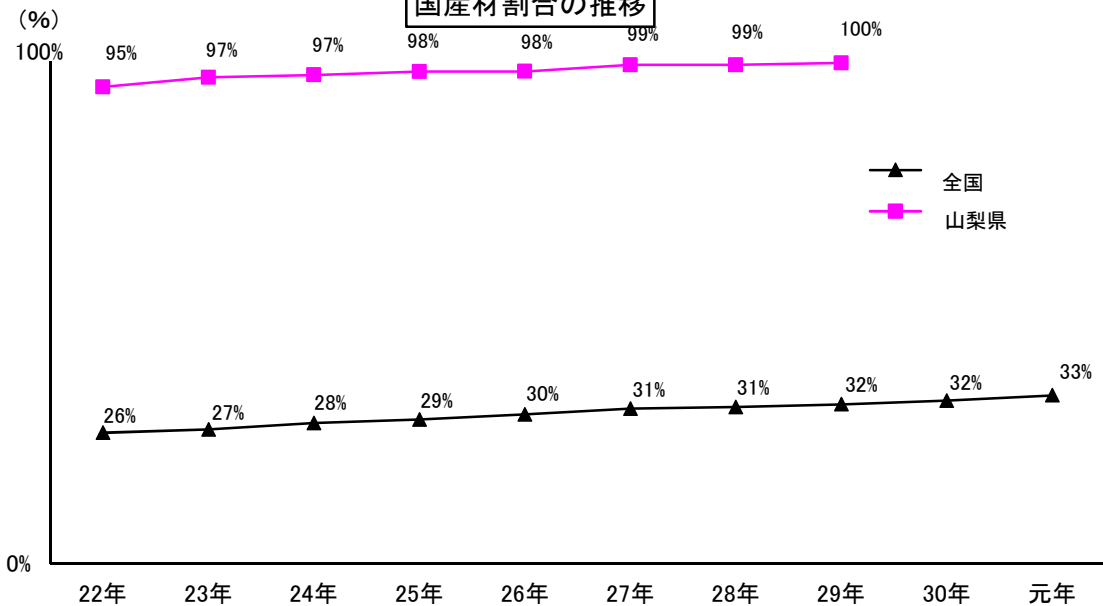
- ◇ 本県の木材（素材）需給量は、増加傾向に転じ、令和元年は291千m<sup>3</sup>となっている。用途別内訳で、製材、合板が増加傾向にある。
- ◇ 国産丸太価格は平成27年に低下し、平成28年度横ばいであったが、平成29年には再び上昇している。

用材需要(供給)量の推移



注:需給量には、製材品、木材パルプ、合板、薪炭材等の丸太以外の形態で輸入されたものについて、丸太材積に換算してカウントしている。

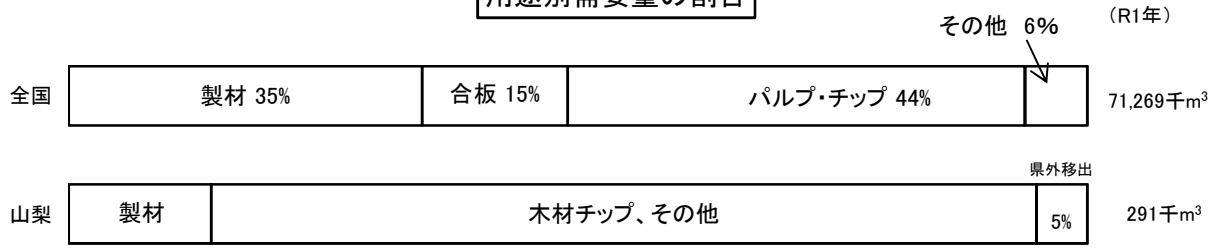
国産材割合の推移



資料:木材需給表(林野庁)  
「県製材工場等調査等」(平成27年度～)

※平成30年度から一部(山梨県を含む)県別の外材輸入量が未公表

### 用途別需要量の割合

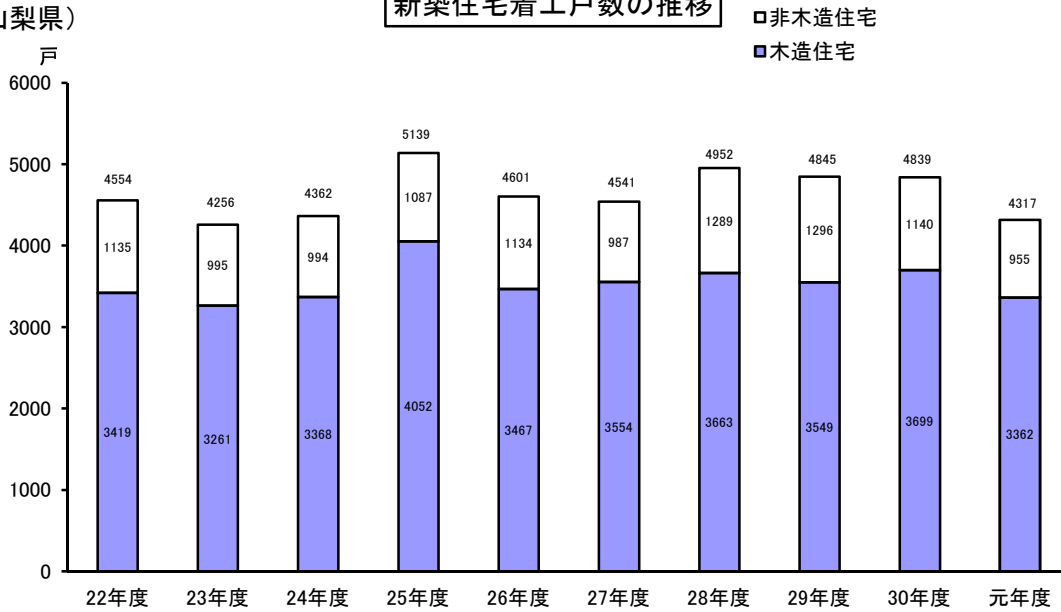


資料: 木材需給表(林野庁)  
県製材工場等調査等

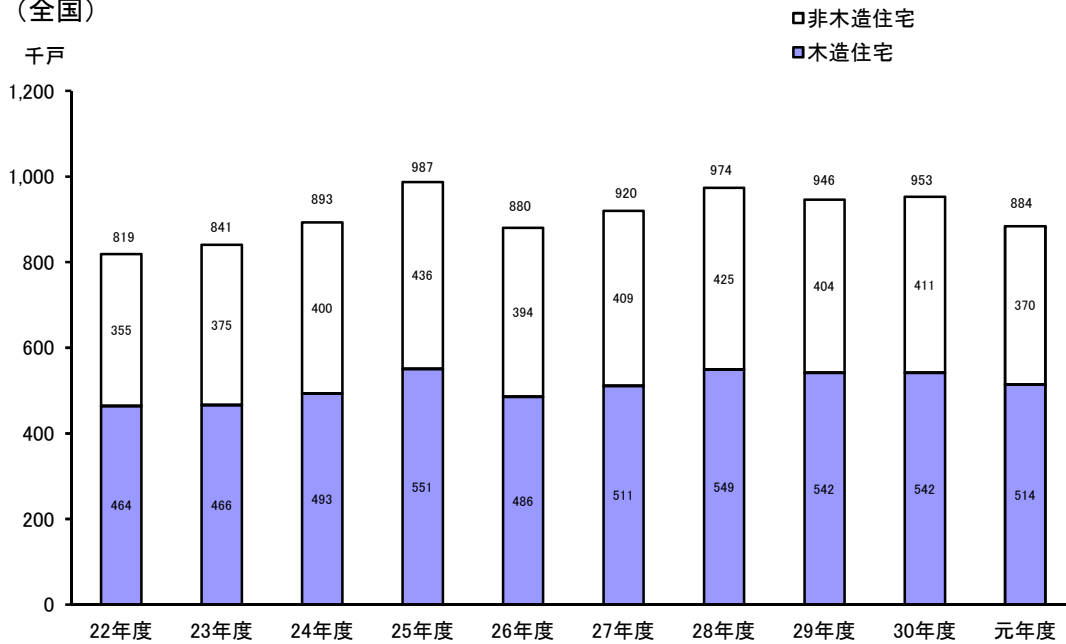
※平成30年度から一部(山梨県を含む) 県別の用途別需要量が未公表

(山梨県)

### 新築住宅着工戸数の推移

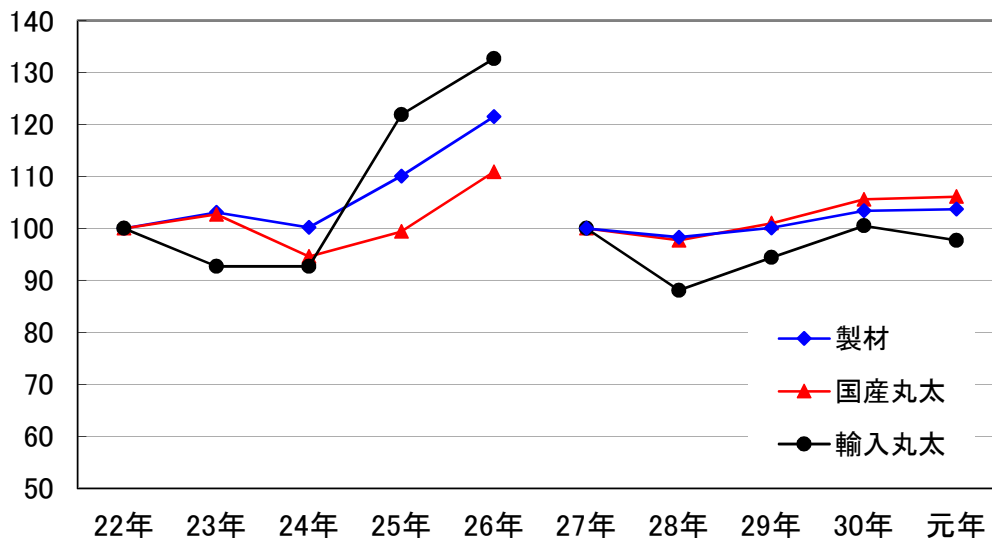


(全国)



資料: 国土交通省 住宅着工統計

### 木材価格指数の推移 (全国)

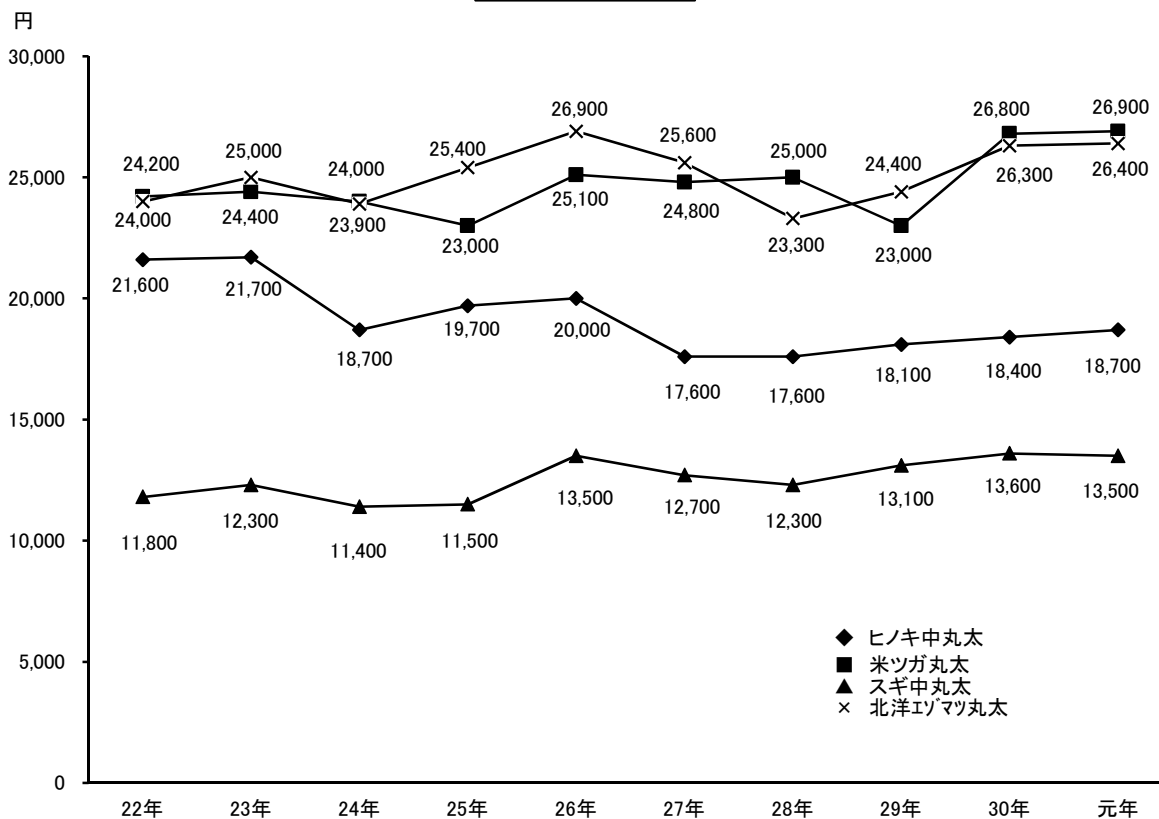


※出典「木材情報」物価指数の推移 (財)日本木材総合情報センター

※出典元の国内企業物価指数、輸入企業物価指数が、H22を100、H27を100として算出

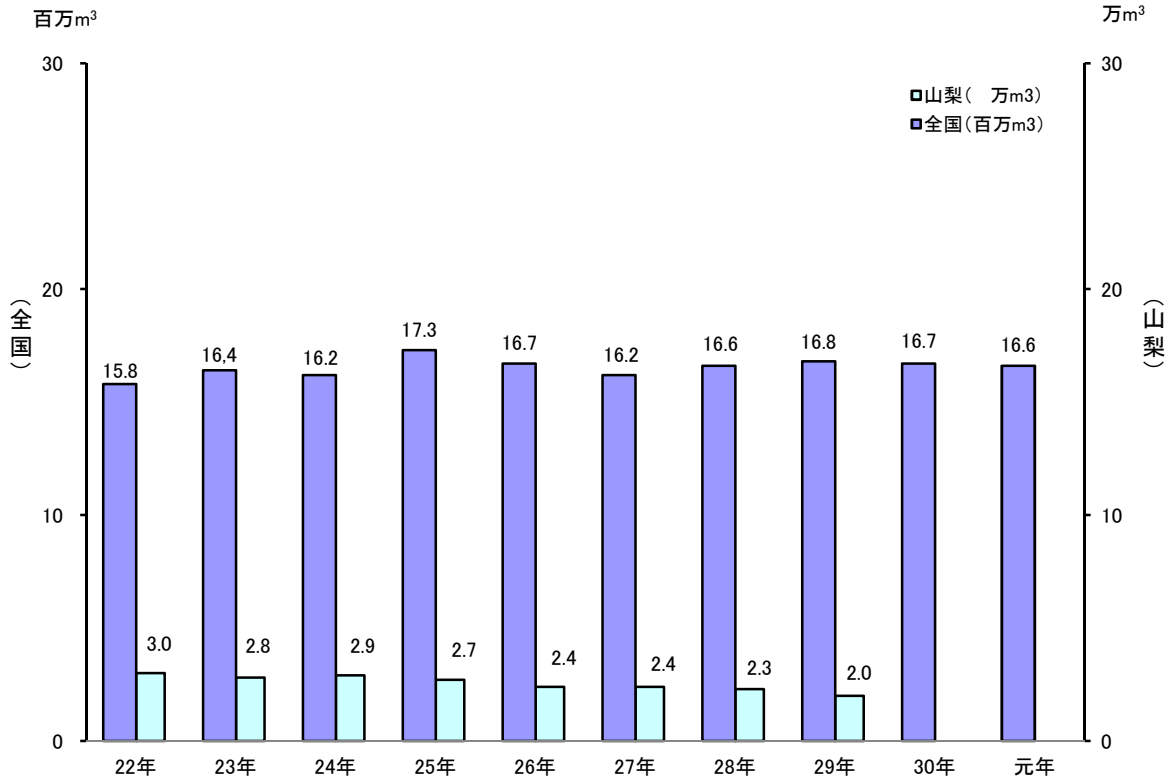
### 丸太価格の推移 (全国)

(㎡当たり)



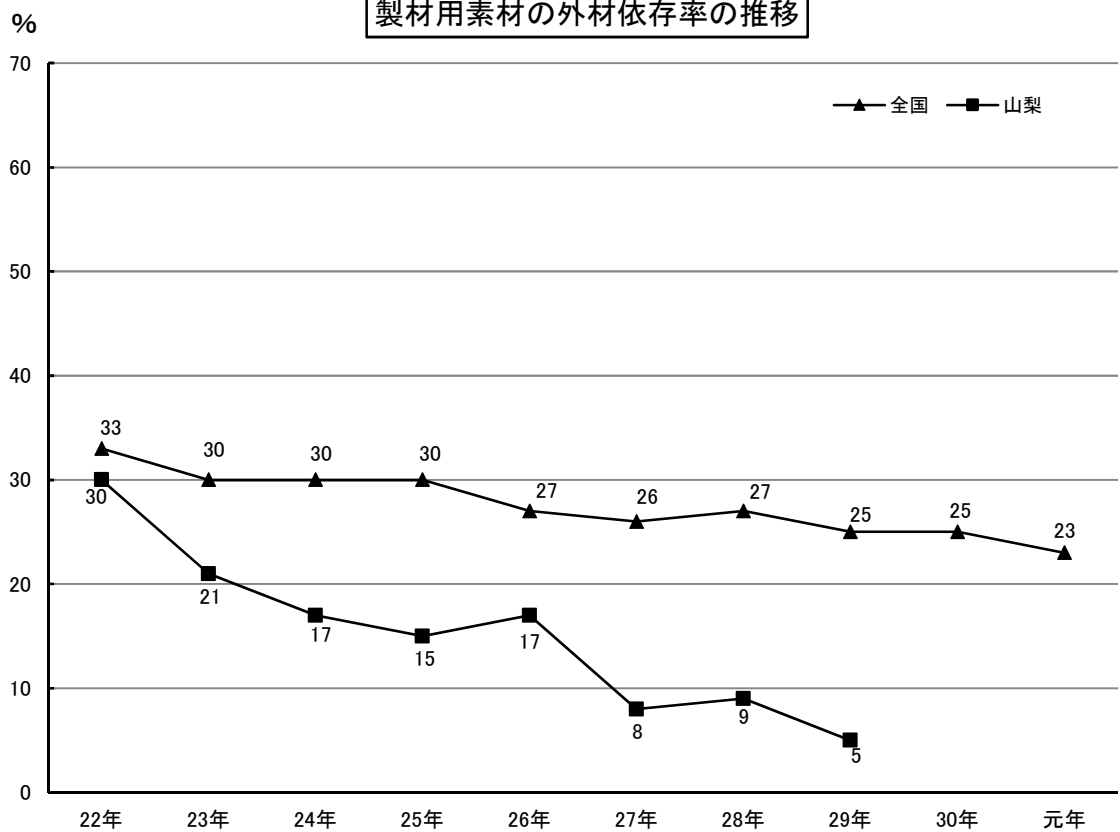
資料:「木材情報」製材用素材価格(財)日本木材総合情報センター

### 製材用素材の入荷量の推移



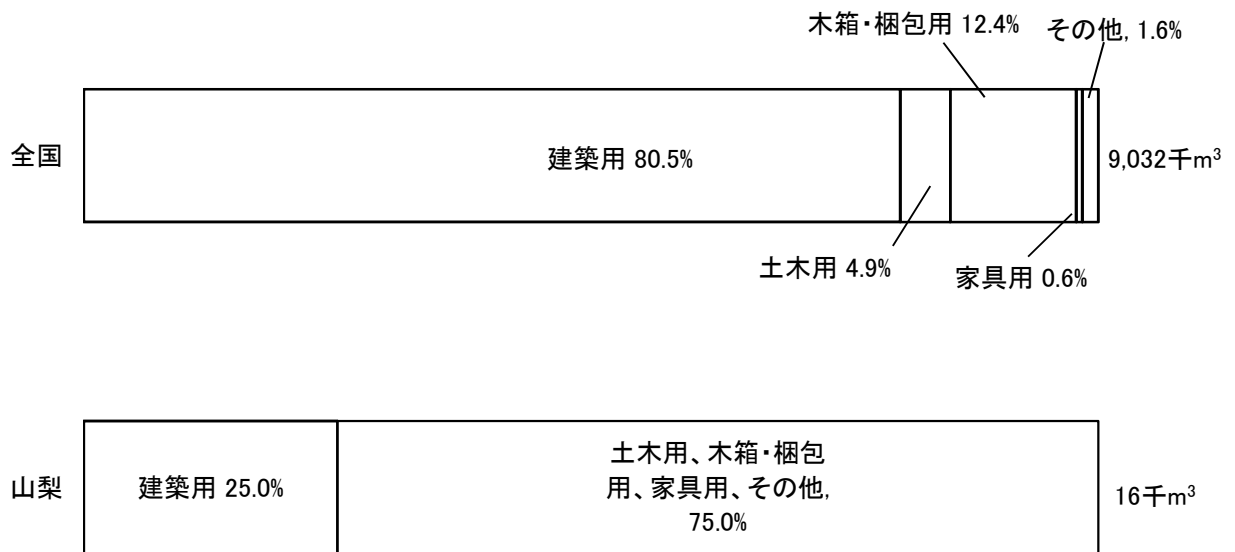
※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の製材用素材の入荷量が未公表  
 出典:木材需給報告書(農林水産省)

### 製材用素材の外材依存率の推移



※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の外材輸入量が未公表  
 出典:木材需給報告書(農林水産省)

製材品の用途別出荷量の割合

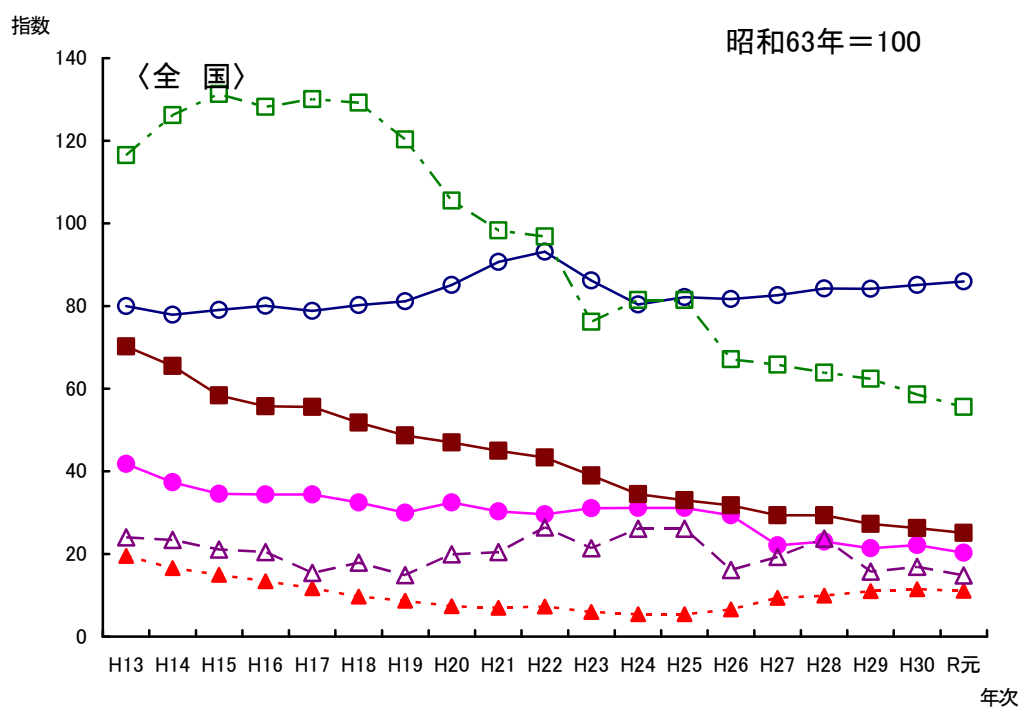
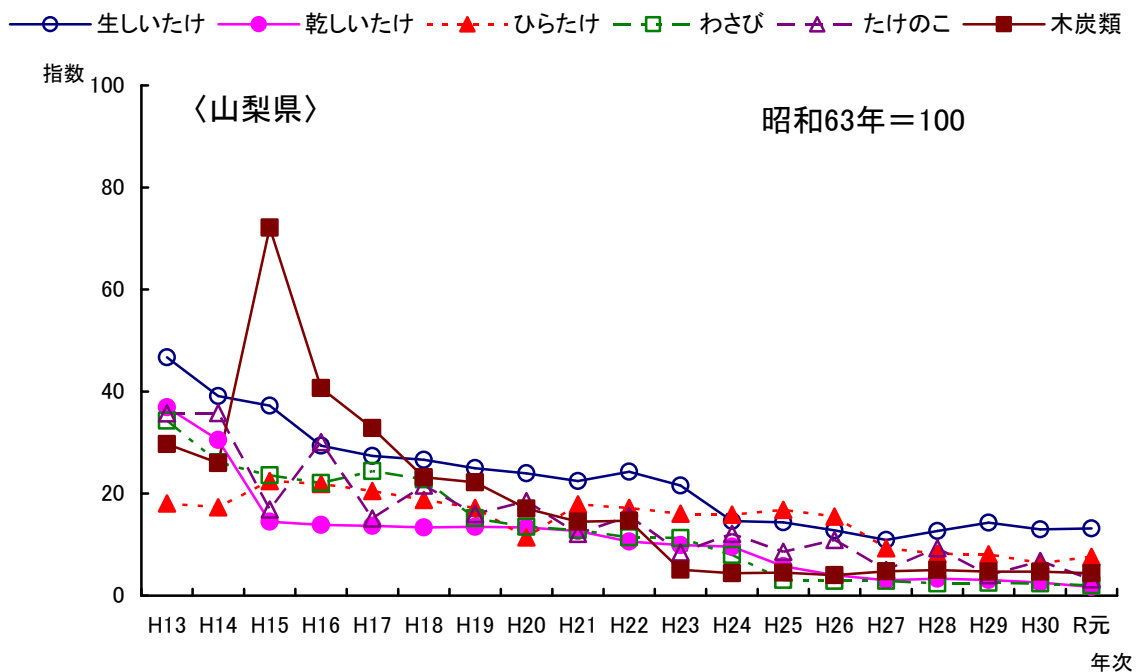


出典:木材需給報告書(農林水産省)

※土木用、木箱・梱包用、家具用、その他について、山梨県の内訳は非公表

### 3 主な特用林産物の生産量（指数）の推移

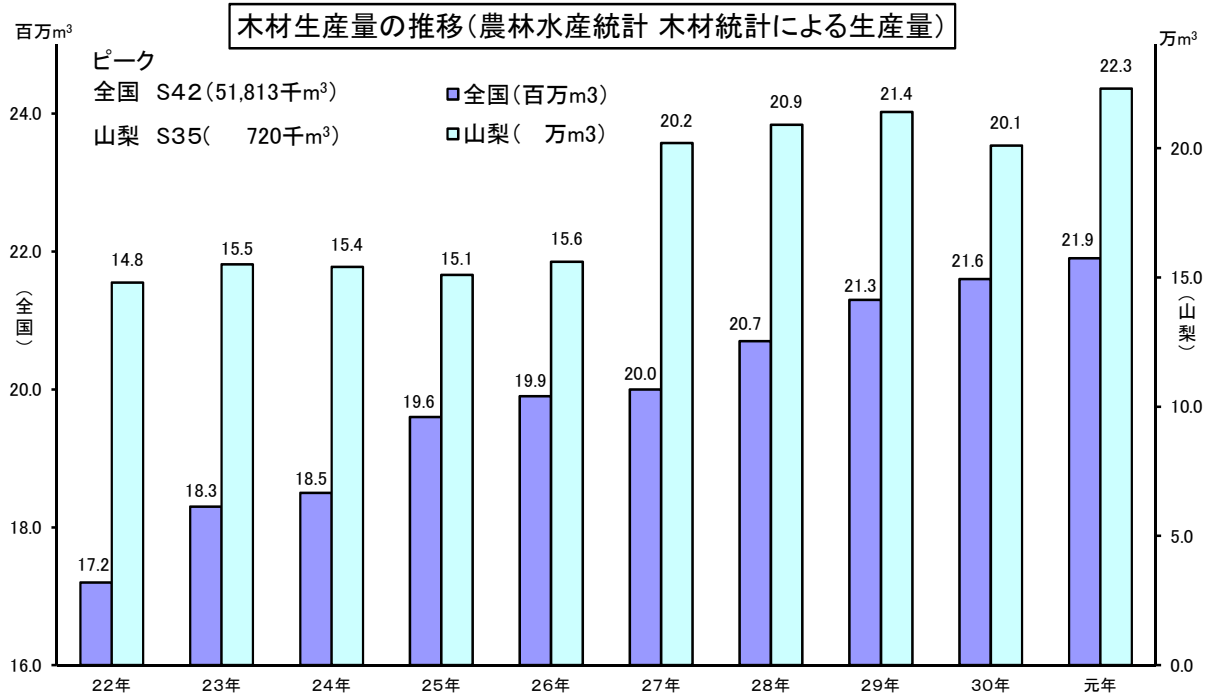
- ◇ 特用林産物は、農林家の短期収入源として重要な地位を占めているが、生産量は生産者の高齢化、安価な輸入品の増加などの影響を受け減少傾向にある。
- ◇ 令和元年次は、本県では生しいたけとひらたけが、全国では生しいたけのみが増加している。



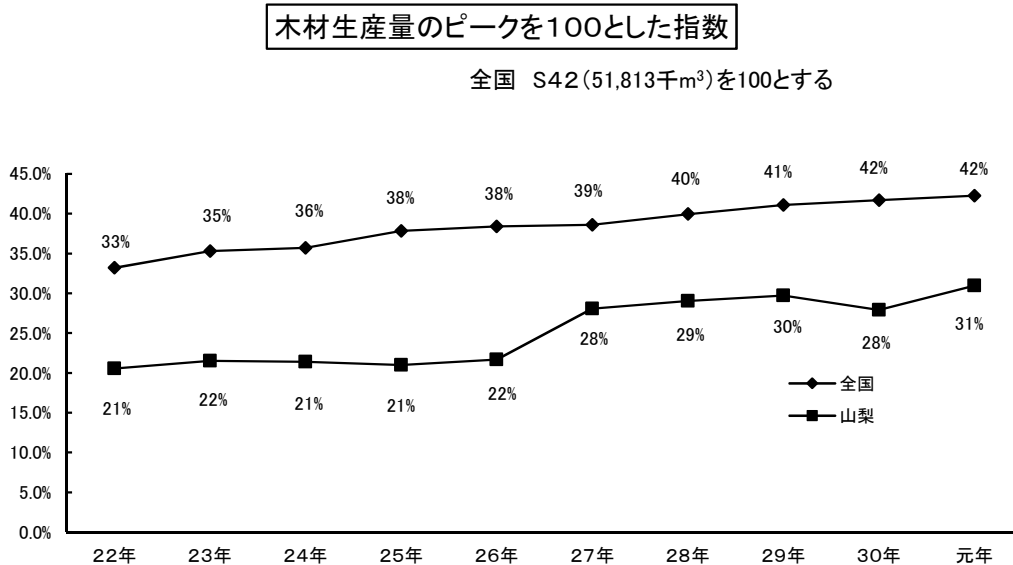


## 4 林業生産活動の動向

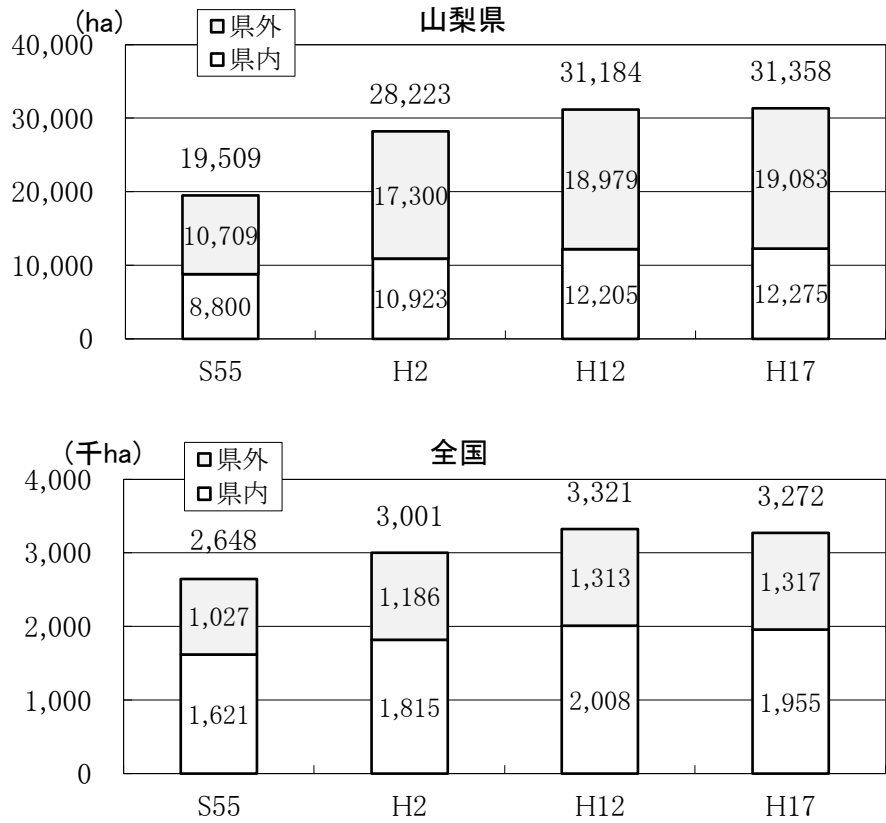
- ◇ 低迷していた木材生産量は、大幅に増加した平成21年度以降、増加傾向が続いている。また、本県の造林面積については、平成30年度は増加したものの、令和元年度には再び減少している。
- ◇ 林業就業者の動向を国勢調査で見ると、長期的には減少傾向で推移し、近年は下げ止まりの兆しが見られる。しかし、就労人口のうち65歳以上が占める割合を示す高齢化率は、全産業に比べてやや高く、35歳未満の若齢率は全産業に比べてやや低い傾向である。



資料:「木材需給報告書」農林水産省統計情報部  
「県製材工場等調査等」(平成27年度～)



**不在村者森林所有面積の推移**



資料：農林水産省「世界農林業センサス」（1980, 1990, 2000）「農林業センサス」（2005）  
 ※2010（H22）年度調査から項目除外

（参考）

**林家数の推移**

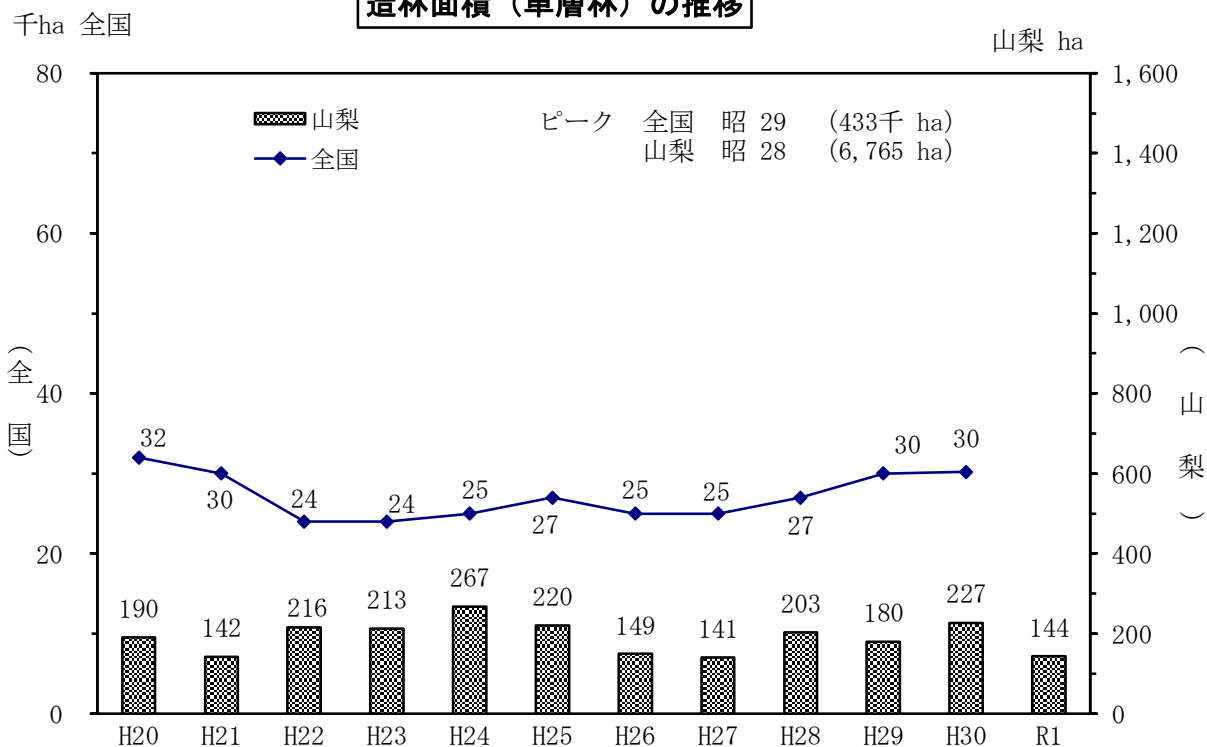
全 国		山 梨
2,531 千戸	昭和55年	25,521 戸
2,509 千戸	平成2年	24,074 戸
1,019 千戸	平成12年	9,812 戸
920 千戸	平成17年	9,324 戸
907 千戸	平成22年	9,128 戸
829 千戸	平成27年	8,294 戸

資料：農林水産省「世界農林業センサス」（1980, 1990, 2000）「農林業センサス」（2005, 2010, 2015）

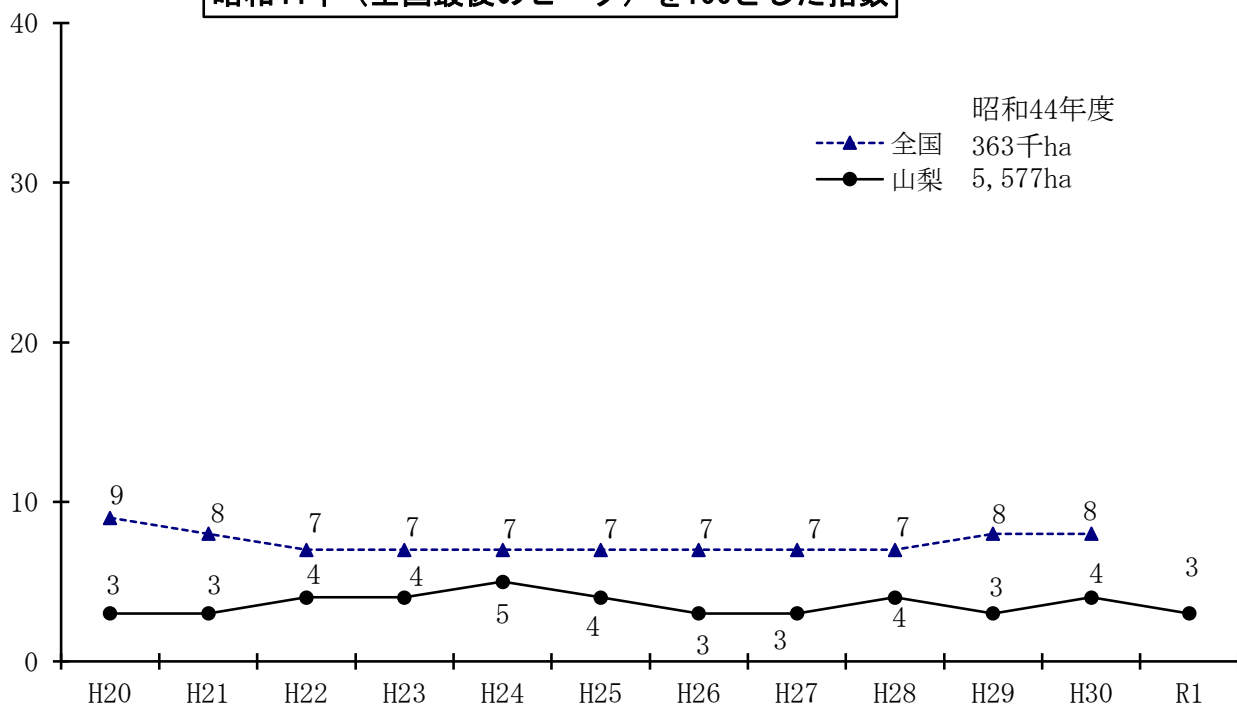
**林 家**

林家とは保有山林面積が一定規模以上の世帯  
 ・（昭和55年, 平成2年）・・・ 保有山林面積が10a以上の世帯  
 ・（平成12年, 平成17年, 平成22年, 平成27年）・・・ 保有山林面積が1ha以上の世帯

### 造林面積（単層林）の推移



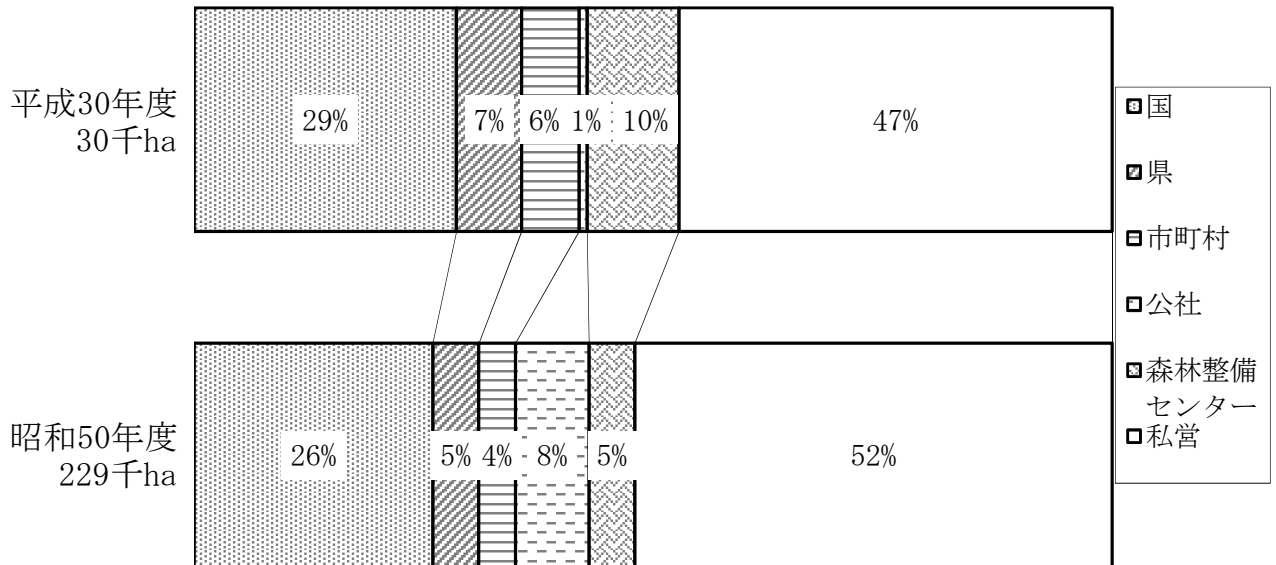
### 昭和44年（全国最後のピーク）を100とした指数



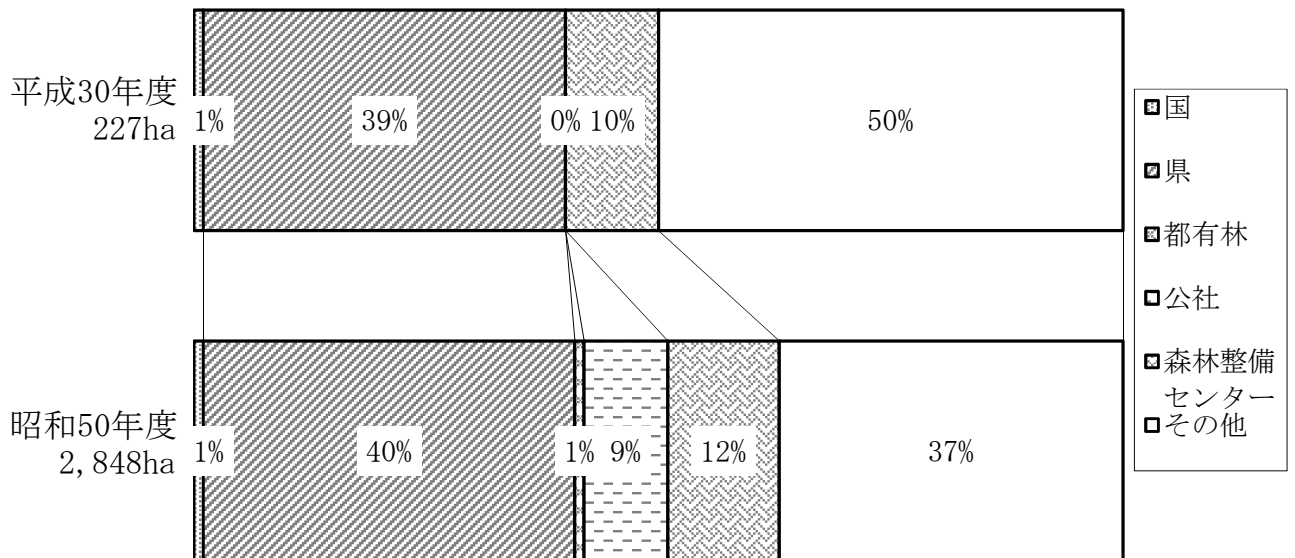
資料：全国のデータは、「森林・林業統計要覧（林野庁編）」より

## 施行主体別造林比率

### 全 国



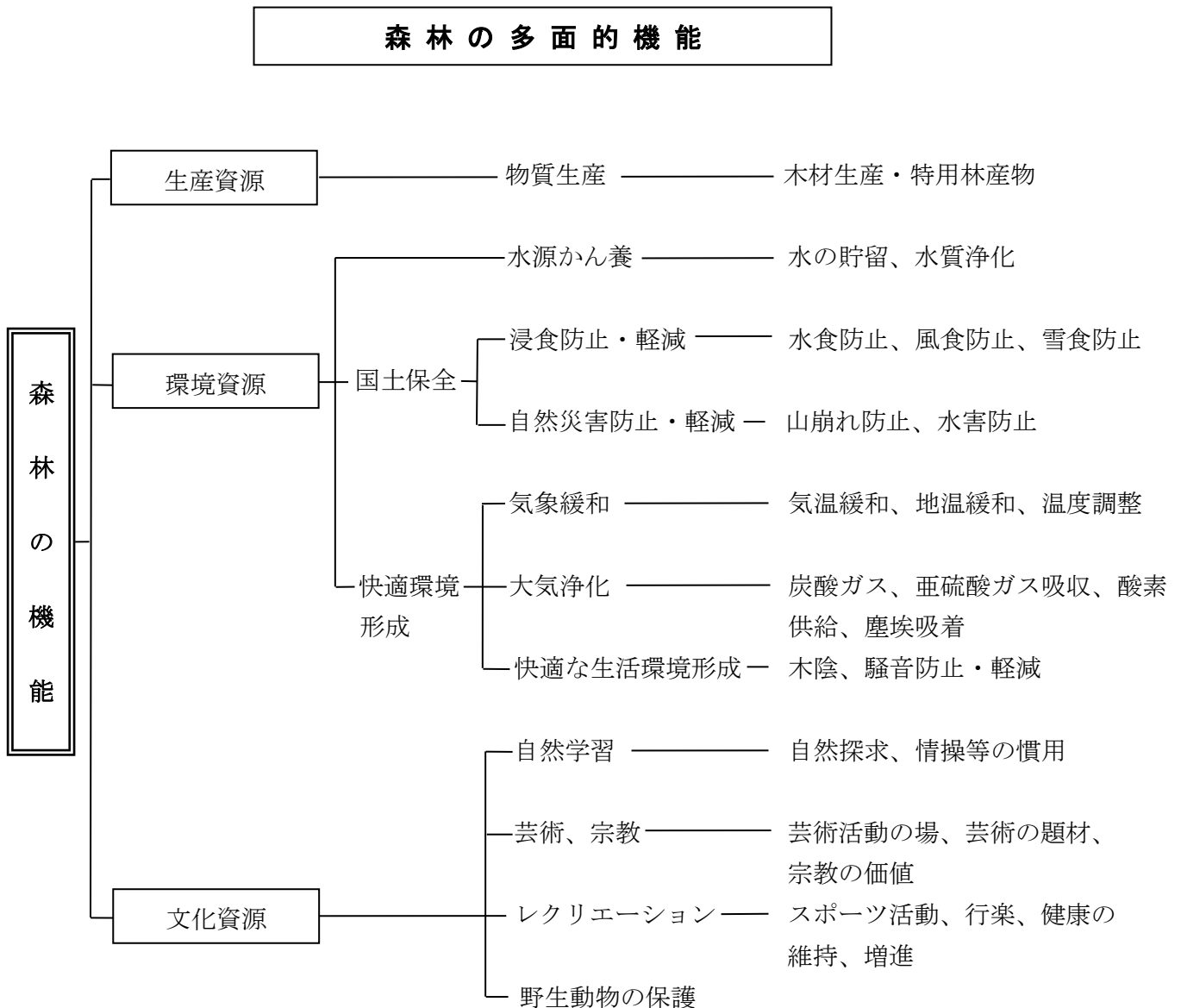
### 山梨県



資料：全国は、林野庁「森林・林業統計要覧」より

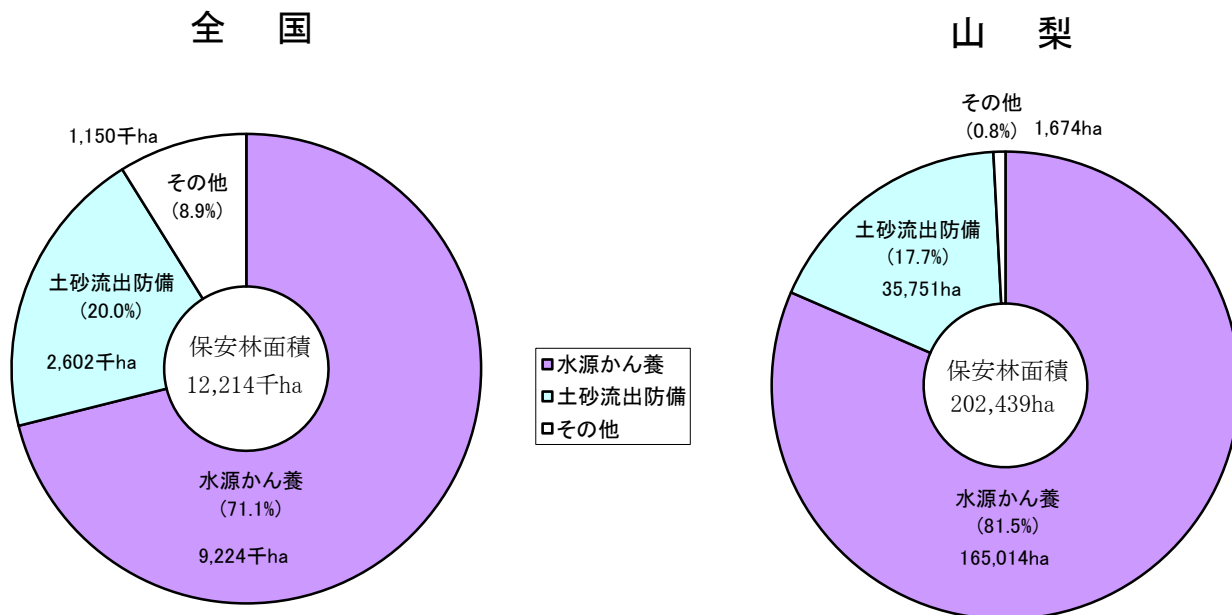
## 5 森林・林業の役割

- ◇ 国土の7割を占める森林は、水源かん養、国土保全等の公益的機能、木材生産等国民生活に極めて大きな貢献をしており、本県の森林は、首都圏の水源地としての役割も担っている。
  
- ◇ 保安林は、国民の暮らしを守るために、特に重要な森林について、国や都道府県が指定した森林のことで、その目的に応じて17の種類に分けて指定されている。
  
- ◇ 山梨県では、このうち10種類の保安林が指定され、保安林面積は約20万ha（全森林の58%）である。四方を山々に囲まれ、古くから洪水等の災害が多かったため、保安林の指定率では、全国3位である。



◇森林の公益的利用

保安林の種別構成割合



その他内訳

全国(単位:千ha)	山梨(単位:ha)	全国(単位:千ha)	山梨(単位:ha)	全国(単位:千ha)	山梨(単位:ha)
(0.5) 60	土崩 14 (0.0)	(1.0) 126	干害 56 (0.0)	(0.0) 0	防火 26 (0.0)
(0.1) 16	飛砂防備 -	(0.0) 0	防雪 -	(0.5) 60	魚つき -
(0.4) 56	防風 158 (0.1)	(0.5) 62	防霧 -	(0.0) 1	航行 -
(0.0) 1	水害 110 (0.1)	(0.1) 19	なだれ -	(5.4) 704	保健 1,071 (0.5)
(0.1) 14	潮害 -	(0.0) 3	落石 3 (0.0)	(0.2) 28	風致 237 (0.1)

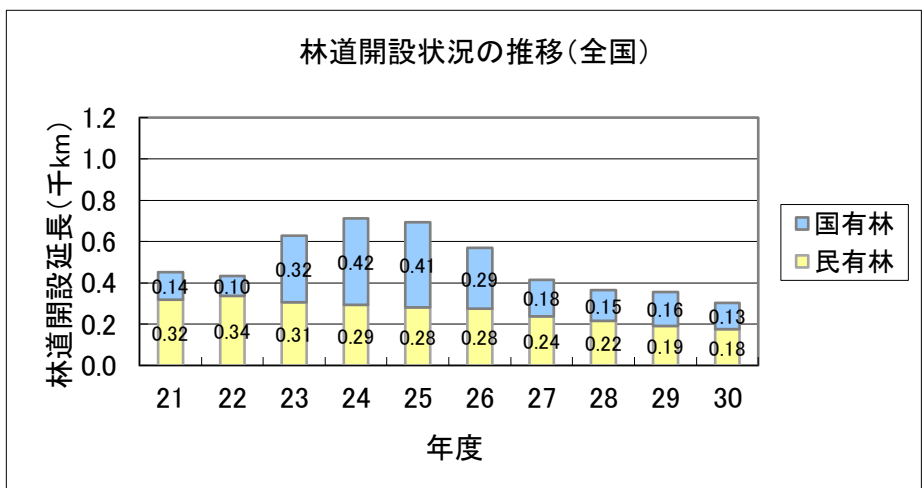
(注) 全国は平成31年3月31日現在(資料:2020「森林・林業統計要覧」(林野庁編))、  
 県は令和2年3月31日現在の数値である。  
 全国の内訳面積は延べ面積のため、合計面積とは一致しない。  
 県の内訳面積は端数処理の関係上、合計面積と一致しないことがある。  
 その他内訳の左側全国(単位:千ha)、右側山梨(単位:ha)

◇林道整備の目標と現況

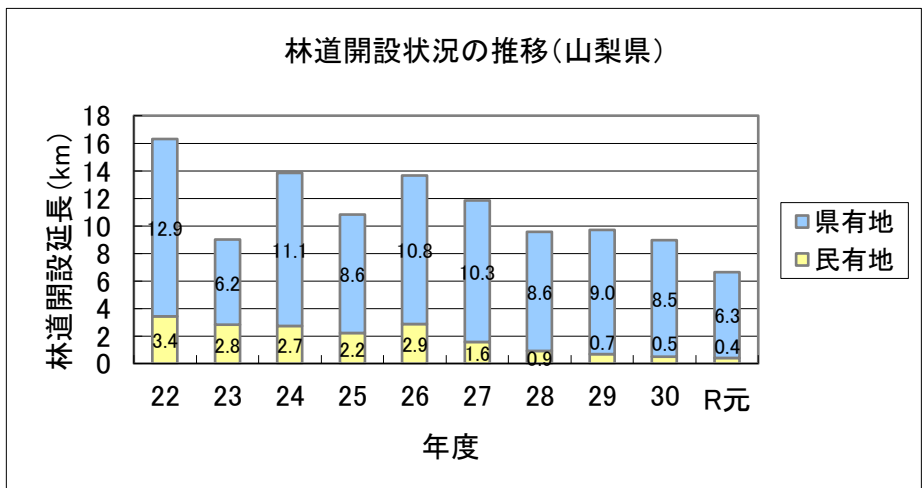
林道整備目標と現況

全 国		山 梨
240.0 千km	基本計画目標 [ 全国 令和7年度 山梨 令和11年度 ]	2,236 km
139.5 千km	現況延長 [ 全国 平成30年度末 山梨 令和元年度末 ]	2,136 km
5.6 m	現在林道密度 (ha当たり)	5.9 m

資料:全国は、2020「森林・林業統計要覧」(林野庁編)  
山梨県延長には、国有林内延長を含まない



資料:「平成30年度版森林・林業白書」参考付表(林野庁編)









# 1 管轄区域と管理面積

## (1) 県有林・民有林

単位：ha

林務環境 事務所	森 林 計画区	県 有 林		民 有 林		
		面 積	所轄区域	普及指導区	面 積	包 括 区 域
<b>総 計</b>		<b>154,047 (158,233)</b>			<b>188,808 (184,622)</b>	
中北	富士川 上 流	56,179 (57,810)	事業区全域	中北普及指導区	34,436 ( 32,806)	中北林務環境事務所 管内市町村
峡東	富士川 上 流	26,699 (27,131)	事業区全域	峡東普及指導区	29,730 ( 29,298)	峡東林務環境事務所 管内市町村
峡南	富士川 中 流	31,766 (32,213)	事業区全域	峡南普及指導区	56,670 ( 56,223)	峡南林務環境事務所 管内市町村
富士・東部	山 梨 東 部	39,403 (41,080)	事業区全域	富士・東部 普及指導区	67,972 ( 66,295)	富士・東部林務環境事務所 管内市町村

- (注) 1. 県有林面積は、県有林管理計画対象森林面積であるため、不要存置県有林野は含まない。  
 2. 県有林面積の( )は、県有林植樹用貸地を含んだ面積である。  
 3. 民有林面積の( )は、県有林植樹用貸地を含まない面積である。  
 4. 県行分収林面積は、民有林に含む。

## (2) 国 有 林

単位：ha

森 林 管 理 事 務 所	国 有 林			
	森林事務所	位 置	面 積	管 轄 区 域
山 梨	<b>総数 2</b>		(1,047) 3,595	山梨県下一円
	甲 府	甲府市	(716) 1,255	甲府市、山梨市、韮崎市 南アルプス市、北杜市、甲斐市 笛吹市、甲州市、中央市、中巨摩郡昭和町 南巨摩郡のうち富士川町
	南 部	南巨摩郡南部町	(331) 2,340	西八代郡市川三郷町のうち旧市川大門町 富士吉田市、都留市、大月市、上野原市 北都留郡一円、南都留郡一円 南巨摩郡のうち富士川町を除く全部 西八代郡市川三郷町のうち 旧市川大門町を除く全部

- (注) ( )は官行造林地面積で、外数である。

## 2 行政区画別森林面積

単位：標高m、面積ha

郡市町村	標高	総面積	森 林 面 積					
			総 数	国 有 林		県 有 林		民 有 林
<b>総 数</b>		<b>446,527</b>	<b>347,498</b>	<b>(1,047)</b>	<b>3,595</b>	<b>《 158,233》</b>	<b>154,047</b>	<b>188,808</b>
甲 府 市	261	21,247	13,633		1,169	《 4,367》	4,335	8,130
富 士 吉 田 市	757	12,174	8,517		14	《 6,123》	5,447	3,056
都 留 市	475	16,163	13,631	(112)		《 6,063》	5,952	7,566
山 梨 市	327	28,980	23,712	(23)	71	《 12,693》	12,598	11,019
大 月 市	360	28,025	24,276	(207)		《 11,456》	11,203	12,865
韮 崎 市	354	14,369	9,264			《 3,558》	3,452	5,811
南アルプス市	289	26,414	19,330			《 17,345》	16,893	2,437
北 杜 市	520	60,248	45,851			《 31,397》	30,362	15,490
甲 斐 市	285	7,195	3,154			《 921》	916	2,237
笛 吹 市	267	20,192	11,818	(114)		《 4,444》	4,327	7,377
上 野 原 市	263	17,057	13,980	(184)		《 1,299》	1,298	12,497
甲 州 市	403	26,411	21,108			《 9,993》	9,774	11,334
中 央 市	251	3,169	552			《 223》	222	331
<b>西 八 代 郡</b>		<b>7,518</b>	<b>4,776</b>	<b>(59)</b>		<b>《 633》</b>	<b>604</b>	<b>4,114</b>
市 川 三 郷 町	250	7,518	4,776	(59)		《 633》	604	4,114
<b>南 巨 摩 郡</b>		<b>98,482</b>	<b>86,407</b>	<b>(348)</b>	<b>2,340</b>	<b>《 31,581》</b>	<b>31,162</b>	<b>52,556</b>
早 川 町	322	36,996	35,264	(147)		《 16,624》	16,614	18,502
身 延 町	183	30,198	24,319		305	《 7,104》	7,082	16,932
南 部 町	150	20,087	17,629	(184)	2,035	《 2,591》	2,587	12,823
富 士 川 町	280	11,200	9,195	(17)		《 5,262》	4,879	4,299
<b>中 巨 摩 郡</b>		<b>908</b>						
昭 和 町	263	908						
<b>南 都 留 郡</b>		<b>42,099</b>	<b>32,668</b>			<b>《 16,139》</b>	<b>15,502</b>	<b>17,166</b>
道 志 村	410	7,968	7,473					7,473
西 桂 町	625	1,522	1,295			《 429》	417	878
忍 野 村	936	2,505	1,516					1,516
山 中 湖 村	1,000	5,305	3,148			《 1,430》	1,352	1,797
鳴 沢 村	980	8,958	7,746			《 6,869》	6,724	1,022
富 士 河 口 湖 町	868	15,840	11,490			《 7,411》	7,009	4,481
<b>北 都 留 郡</b>		<b>15,408</b>	<b>14,821</b>					<b>14,821</b>
小 菅 村	667	5,278	4,953					4,953
丹 波 山 村	670	10,130	9,868					9,868

- (注)
1. 総面積は、国土地理院「令和2年全国都道府県市区町村別面積調（R2.7.1時点）」一部境界未定のため、各市町村総面積の合計は総数と一致しない。
  2. 県有林《 》内面積は、管理計画面積で、植樹用貸地を含み不要存置県有林野は含まない。
  3. 民有林面積には、県有林植樹用貸地及び県行分収林を含む。
  4. 国有林（ ）は、官行造林面積で外数である。

### 3 林種別・所管別森林面積

単位：面積ha

所管別	総面積	林 地								除 地
		総 数	立 木 地			無 立 木 地				
			総 数	人工林	天然林	竹林	総 数	未立木地	伐跡地	
<b>総 数</b>	<b>347,498</b>	<b>327,230</b>	<b>325,931</b>	<b>153,343</b>	<b>171,768</b>	<b>820</b>	<b>1,299</b>	<b>557</b>	<b>742</b>	<b>20,268</b>
国有林	4,642	4,642	4,429	3,408	1,021	—	213	213	0	—
県有林	154,047	136,177	135,898	58,701	77,197	—	279	33	246	17,870
民有林	188,808	186,411	185,603	91,234	93,549	820	807	311	496	2,398

- (注) 1. 県有林面積は、不要存置県有林野は含まない。  
 2. 県有林の面積は植樹用貸地を除いた面積である。  
 3. 民有林面積は植樹用貸地及び県行分収林を含む。  
 4. 国有林面積は関東森林管理局の数値で、官行造林地を含む。



#### 4 行政区画別森林蓄積

郡市町村	総 数				国 有 林			
	面積	蓄 積			面積	蓄 積		
		総数	針葉樹	広葉樹		総数	針葉樹	広葉樹
<b>総 数</b>	<b>347,498</b>	<b>74,735,924</b>	<b>50,963,928</b>	<b>23,771,996</b>	<b>(1,047) 3,595</b>	<b>(216,212) 733,328</b>	<b>(197,330) 601,184</b>	<b>(18,882) 132,144</b>
甲 府 市	13,633	2,681,914	1,793,158	888,756	1,169	247,260	238,021	9,239
富 士 吉 田 市	8,517	1,935,618	1,745,275	190,343	14	4,195	4,195	
都 留 市	13,631	3,502,160	2,613,475	888,685	( 112)	( 23,661)	( 21,710)	( 1,951)
山 梨 市	23,712	4,874,516	3,651,604	1,222,912	( 23)	( 4,833)	( 4,656)	( 177)
大 月 市	24,276	5,521,893	3,601,715	1,920,178	71 ( 207)	17,636 ( 44,177)	16,464 ( 40,589)	1,172 ( 3,588)
韮 崎 市	9,264	1,729,006	1,114,672	614,334				
南アルプス市	19,330	3,557,404	2,627,653	929,751				
北 杜 市	45,851	8,091,456	5,285,760	2,805,696				
甲 斐 市	3,154	708,712	446,571	262,141				
笛 吹 市	11,818	2,624,839	1,738,648	886,191	( 114)	( 16,499)	( 14,053)	( 2,446)
上 野 原 市	13,980	3,922,536	2,917,638	1,004,898	( 184)	( 43,398)	( 41,918)	( 1,480)
甲 州 市	21,108	3,821,371	2,318,727	1,502,644				
中 央 市	552	122,996	64,970	58,026				
<b>西 八 代 郡</b>	<b>4,776</b>	<b>980,975</b>	<b>432,008</b>	<b>548,967</b>	<b>( 59)</b>	<b>( 11,498)</b>	<b>( 11,069)</b>	<b>( 429)</b>
市 川 三 郷 町	4,776	980,975	432,008	548,967	( 59)	( 11,498)	( 11,069)	( 429)
<b>南 巨 摩 郡</b>	<b>86,407</b>	<b>19,759,945</b>	<b>13,166,242</b>	<b>6,593,703</b>	<b>( 348) 2,340</b>	<b>( 72,146) 464,237</b>	<b>( 63,335) 342,504</b>	<b>( 8,811) 121,733</b>
早 川 町	35,264	6,838,678	3,804,975	3,033,703	( 147)	( 28,225)	( 23,406)	( 4,819)
身 延 町	24,319	5,584,886	3,294,741	2,290,145	305	55,400	35,445	19,955
南 部 町	17,629	5,294,426	4,444,398	850,028	( 184) 2,035	( 38,791) 408,837	( 35,056) 307,059	( 3,735) 101,778
富 士 川 町	9,195	2,041,955	1,622,128	419,827	( 17)	( 5,130)	( 4,873)	( 257)
<b>中 巨 摩 郡</b>								
昭 和 町								
<b>南 都 留 郡</b>	<b>32,668</b>	<b>7,263,014</b>	<b>5,806,235</b>	<b>1,456,779</b>				
道 志 村	7,473	2,002,196	1,348,558	653,638				
西 桂 町	1,295	379,594	338,002	41,592				
忍 野 村	1,516	505,683	492,278	13,405				
山 中 湖 村	3,148	610,350	452,052	158,298				
鳴 沢 村	7,746	1,423,558	1,287,671	135,887				
富 士 河 口 湖 町	11,490	2,341,633	1,887,674	453,959				
<b>北 都 留 郡</b>	<b>14,821</b>	<b>3,637,569</b>	<b>1,639,577</b>	<b>1,997,992</b>				
小 菅 村	4,953	1,292,733	774,396	518,337				
丹 波 山 村	9,868	2,344,836	865,181	1,479,655				

- (注) 1. 国有林《 》内面積は管理計画面積で、植樹用貸地を含み不要存置国有林野は含まない。  
また、国有林蓄積には、植樹用貸地は含まない。  
2. 民有林面積・蓄積には、国有林植樹用貸地及び県行分収林を含む。  
3. 国有林( )は官行造林地で外数である。  
4. 国有林の面積・蓄積は、関東森林管理局の数値による。  
5. 無立木地およびその他除地の蓄積は、広葉樹を含む。

単位：面積ha、蓄積m<sup>3</sup>

郡市町村	県有林				民有林			
	面積	蓄積			面積	蓄積		
		総数	針葉樹	広葉樹		総数	針葉樹	広葉樹
<b>総数</b>	<b>154,047</b> <b>(158,233)</b>	<b>24,846,941</b>	<b>17,096,326</b>	<b>7,750,615</b>	<b>188,808</b>	<b>48,939,443</b>	<b>33,069,088</b>	<b>15,870,355</b>
甲府市	4,335 《4,367》	763,521	486,056	277,465	8,130	1,671,133	1,069,081	602,052
富士吉田市	5,447 《6,123》	916,350	773,619	142,731	3,056	1,015,073	967,461	47,612
都留市	5,952 《6,063》	1,238,882	833,519	405,363	7,566	2,239,617	1,758,246	481,371
山梨市	12,598 《12,693》	2,021,425	1,604,361	417,064	11,019	2,830,622	2,026,123	804,499
大月市	11,203 《11,456》	1,944,293	1,115,920	828,373	12,865	3,533,423	2,445,206	1,088,217
韭崎市	3,452 《3,558》	459,864	288,083	171,781	5,811	1,269,142	826,589	442,553
南アルプス市	16,893 《17,345》	2,939,918	2,133,705	806,213	2,437	617,486	493,948	123,538
北杜市	30,362 《31,397》	4,391,005	2,864,125	1,526,880	15,490	3,700,451	2,421,635	1,278,816
甲斐市	916 《921》	173,104	121,922	51,182	2,237	535,608	324,649	210,959
笛吹市	4,327 《4,444》	773,659	503,723	269,936	7,377	1,834,681	1,220,872	613,809
上野原市	1,298 《1,299》	301,945	204,119	97,826	12,497	3,577,193	2,671,601	905,592
甲州市	9,774 《9,993》	1,598,109	1,090,341	507,768	11,334	2,223,262	1,228,386	994,876
中央市	222 《223》	54,345	19,702	34,643	331	68,651	45,268	23,383
<b>西八代郡</b>	<b>604</b> <b>(633)</b>	<b>112,287</b>	<b>76,790</b>	<b>35,497</b>	<b>4,114</b>	<b>857,190</b>	<b>344,149</b>	<b>513,041</b>
市川三郷町	604 《633》	112,287	76,790	35,497	4,114	857,190	344,149	513,041
<b>南巨摩郡</b>	<b>31,162</b> <b>(31,581)</b>	<b>4,914,279</b>	<b>3,184,773</b>	<b>1,729,506</b>	<b>52,556</b>	<b>14,309,283</b>	<b>9,575,630</b>	<b>4,733,653</b>
早川町	16,614 《16,624》	2,266,628	1,507,148	759,480	18,502	4,543,825	2,274,421	2,269,404
身延町	7,082 《7,104》	1,169,845	543,443	626,402	16,932	4,359,641	2,715,853	1,643,788
南部町	2,587 《2,591》	693,986	555,684	138,302	12,823	4,152,812	3,546,599	606,213
富士川町	4,879 《5,262》	783,820	578,498	205,322	4,299	1,253,005	1,038,757	214,248
<b>中巨摩郡</b>								
昭和町								
<b>南都留郡</b>	<b>15,502</b> <b>(16,139)</b>	<b>2,243,955</b>	<b>1,795,568</b>	<b>448,387</b>	<b>17,166</b>	<b>5,019,059</b>	<b>4,010,667</b>	<b>1,008,392</b>
道志村					7,473	2,002,196	1,348,558	653,638
西桂町	417 《429》	78,045	61,755	16,290	878	301,549	276,247	25,302
忍野村					1,516	505,683	492,278	13,405
山中湖村	1,352 《1,430》	124,402	45,877	78,525	1,797	485,948	406,175	79,773
鳴沢村	6,724 《6,869》	1,101,372	1,015,335	86,037	1,022	322,186	272,336	49,850
富士河口湖町	7,009 《7,411》	940,136	672,601	267,535	4,481	1,401,497	1,215,073	186,424
<b>北都留郡</b>					<b>14,821</b>	<b>3,637,569</b>	<b>1,639,577</b>	<b>1,997,992</b>
小菅村					4,953	1,292,733	774,396	518,337
丹波山村					9,868	2,344,836	865,181	1,479,655

## 5 林種別・所管別森林蓄積

単位：蓄積 m<sup>3</sup>、竹 束

区分	総 数			人 工 林			天 然 林			竹 林
	総 数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	
<b>総数</b>	<b>74,735,924</b>	<b>50,963,928</b>	<b>23,771,996</b>	<b>43,233,254</b>	<b>42,194,777</b>	<b>1,038,477</b>	<b>31,502,670</b>	<b>8,769,151</b>	<b>22,733,519</b>	126,298
国 有 林	949,540	798,514	151,026	817,328	764,296	53,032	132,212	34,218	97,994	0
県 有 林	24,846,941	17,096,326	7,750,615	12,298,261	11,470,249	828,012	12,548,680	5,626,077	6,922,603	0
民 有 林	48,939,443	33,069,088	15,870,355	30,117,665	29,960,232	157,433	18,821,778	3,108,856	15,712,922	126,298
中 北 県 有 林	8,781,757	5,913,593	2,868,164	3,486,605	3,184,240	302,365	5,295,152	2,729,353	2,565,799	0
民 有 林	7,862,471	5,181,170	2,681,301	3,451,511	3,435,018	16,493	4,410,960	1,746,152	2,664,808	21,842
峡 東 県 有 林	4,393,193	3,198,425	1,194,768	2,708,658	2,579,188	129,470	1,684,535	619,237	1,065,298	0
民 有 林	6,888,565	4,475,381	2,413,184	4,063,068	4,048,619	14,449	2,825,497	426,762	2,398,735	10,540
峡 南 県 有 林	5,026,566	3,261,563	1,765,003	2,398,368	2,191,581	206,787	2,628,198	1,069,982	1,558,216	0
民 有 林	15,166,473	9,919,779	5,246,694	9,615,187	9,580,871	34,316	5,551,286	338,908	5,212,378	83,051
富 士 東 部 県 有 林	6,645,425	4,722,745	1,922,680	3,704,630	3,515,240	189,390	2,940,795	1,207,505	1,733,290	0
民 有 林	19,021,934	13,492,758	5,529,176	12,987,899	12,895,724	92,175	6,034,035	597,034	5,437,001	10,865

(注) 国有林の蓄積は、官行造林地を含み、関東森林管理局の数値による。  
無立木地およびその他除地の蓄積は、天然林に含む。



## 6 樹種別面積・蓄積

単位：面積 ha、蓄積 m<sup>3</sup>、竹林 束

区 分	総 数		国 有 林		県 有 林		民 有 林	
	面 積	蓄 積	面 積	蓄 積	面 積	蓄 積	面 積	蓄 積
<b>総 数</b>	<b>347,498</b>	<b>74,735,924</b>	<b>4,642</b>	<b>949,540</b>	<b>《158,233》 154,047</b>	<b>24,846,941</b>	<b>188,808</b>	<b>48,939,443</b>
人工林総数	153,343	43,233,254	3,408	817,328	58,701	12,298,261	91,234	30,117,665
スギ	26,013	11,016,209	741	240,685	1,999	704,117	23,272	10,071,407
ヒノキ	44,842	11,905,322	1,172	296,194	11,679	2,701,547	31,992	8,907,581
アカマツ	26,746	7,467,397	694	152,185	8,441	1,492,805	17,611	5,822,407
カラマツ	43,450	10,204,224	302	72,233	26,658	5,069,216	16,490	5,062,775
その他 針葉樹	6,591	1,601,625	10	2,999	5,891	1,502,564	690	96,062
広葉樹	5,702	1,038,477	489	53,032	4,033	828,012	1,179	157,433
天然林総数	171,768	31,405,240	1,021	131,721	77,197	12,456,693	93,549	18,816,826
針葉樹	42,259	8,703,276	155	33,766	32,858	5,561,071	9,247	3,108,439
広葉樹	129,509	22,701,964	866	97,955	44,339	6,895,622	84,303	15,708,387
無立木地	1,299	491	213	491	279	-	807	-
竹 林	820	[126,297]	-	-	-	-	820	[126,297]
その他除地	20,268	96,939	-	-	17,870	91,987	2,398	4,952

- (注)
1. 県有林の面積は、不要存置県有林野は含まない。  
また、蓄積は点生木を含まない。
  2. 県有林の《》は植樹用貸地を含む面積である。
  3. 県行分収林は民有林に含む。
  4. 民有林の[]は竹林の束数は外数である。
  5. 国有林の面積、蓄積には官行造林地分を含む。また、数値は関東森林管理局の数値による。

(6 附表)

### 地域森林計画樹立の状況

面積：ha

森林計画区	林務環境事務所	地域森林計画 計画期間	計画面積
富士川上流	中北、峡東	平成29～令和8年度	147,047
富士川中流	峡南	令和2～11年度	88,436
山梨東部	富士・東部	平成31～令和10年度	107,374

(附表)

### 樹種別伐期齢

(地域森林計画)

樹種	標準伐期齢
	年
スギ	40
ヒノキ	45
アカマツ	40
カラマツ	40
モミ・シラベ	50
その他針葉樹	70
クヌギ・ナラ類(用材)	30
その他広葉樹	50

(県有林管理計画)

樹種	利用末口 径級(cm)	利用径級 (cm)	伐期齢 (主伐の時期)
スギ	18	20	30～
ヒノキ	18	20	40～
アカマツ	18	24	35～
カラマツ	18	24	35～
シラベ	20	24	45～
モミ外針葉樹	20	24	40～
広葉樹	30	36	60～

※制限林地一般用材林作業団、普通林地一般用材林作業団

※保安林については、標準伐期齢以上とする。

## 7 保安林面積

単位 面積:ha

林務 環境 事務所	所管別	保安林 総数	水源 かん養 保安林	土砂流 出防備 保安林	土砂崩 壊防備 保安林	防風 保安林	水害 防備 保安林	干害 防備 保安林	落石 防止 保安林	防火 保安林	保健 保安林	風致 保安林	備考
総数	総数	(12,033) 202,439	165,014	35,751	14	158	110	(174) 56	3	26	(11,859) 1,071	237	
	国有林	(561)						(74)			(486)		
	林野庁	4,164	4,137	11	9						8		
	その他	(10)									(10)		
	県有林	107 (11,248)		37			7	53				10	
中北	県民計	135,566 (214)	107,747	26,536	0	6	6	(30) 0	0	26	(11,218) 1,062	183	
	県有林	62,602	53,130	9,167	5	145	51	(70) 56	3	0	(144) 1	44	
	民有林	(6,798)									(6,798)		
	県民計	66,922 (6,744)	48,895	17,548	4	119	27	0	0	26	85 (6,744)	219	
	県有林	57,659 (54)	40,915	16,448	0	6	2	0	0	26	85 (54)	176	
民有林	9,264	7,980	1,099	4	113	25	0	0	0	0	43		
峡東	県民計	(1,320) 39,187	36,077	3,061	0	7	27	(30) 0	2	0	(1,290) 14	0	
	県有林	(1,310)						(30)			(1,280)		
	民有林	25,463 (10)	23,502	1,944	0	0	4	0	0	0	13 (10)	0	
峡南	県民計	13,725	12,575	1,116	0	7	23	0	2	0	1	0	
	県有林	(1,741)						(70)			(1,671)		
	民有林	44,744 (1,642)	39,516	5,176	0	0	0	52	0	0	0 (1,642)	0	
富士 東部	県民計	27,992 (99)	25,898	2,094	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県有林	16,752	13,618	3,082	0	0	0	(70) 52	0	0	(29) 0	0	
	民有林	(1,603)									(1,603)		
富士 東部	県民計	47,315 (1,552)	36,390	9,919	1	25	3	4	1	0	964 (1,552)	8	
	県有林	24,453 (51)	17,432	6,049	0	0	0	0	0	0	964 (51)	7	
	民有林	22,861	18,958	3,869	1	25	3	4	1	0	0	1	

(注) ( )は兼種保安林で外数  
内訳面積は端数処理の関係上、合計面積と一致しない。

## 8 保安林整備事業

### (1)保安林改良事業

年 度	総 数		
	箇 所	面 積	経 費
平成 27 年度	13	( 0.05 ) 88.35	68,789
平成 28 年度	28	( 0.08 ) 264.86	141,221
平成 29 年度	26	( 0.00 ) 221.97	111,680
平成 30 年度	26	( 0.00 ) 226.12	112,777
令和 元 年度	33	( 0.00 ) 234.99	121,220
《 令和元年度内訳》			
中 北	9	( 0.00 ) 76.86	28,361
峡 東	6	( 0.00 ) 35.90	24,598
峡 南	5	( 0.00 ) 32.49	22,728
富 士・東 部	13	( 0.00 ) 89.74	45,533

(注) ( )内は簡易施設、準備地拵箇所の面積で外数である。

面積は延べ面積である。

経費は工事雑費及び事務費を含まない。

平成27年度繰越分は平成28年度実績に含む。

### (2)保安林保育事業

年 度	総 数		
	箇 所	面 積	経 費
平成 27 年度	32	311.74	98,179
平成 28 年度	38	322.32	130,698
平成 29 年度	41	302.30	130,697
平成 30 年度	33	256.45	122,189
令和 元 年度	36	239.31	122,188
《 令和元年度内訳》			
中 北	12	71.30	33,246
峡 東	7	61.36	28,965
峡 南	6	45.80	31,826
富 士・東 部	11	60.85	28,151

(注) 面積は延べ面積である。

経費は工事雑費及び事務費を含まない。

単位 面積:ha 経費:千円

県 有 林			民 有 林		
箇所	面積	経費	箇所	面積	経費
7	( 0.05 ) 57.06	40,226	6	( 0.00 ) 31.29	28,563
18	( 0.04 ) 192.23	89,243	10	( 0.04 ) 72.63	51,978
15	( 0.00 ) 134.03	63,107	11	( 0.00 ) 87.94	48,573
16	( 0.00 ) 121.56	58,751	10	( 0.00 ) 104.56	54,026
19	( 0.00 ) 138.19	68,564	14	( 0.00 ) 96.80	52,655
7	( 0.00 ) 59.63	22,292	2	( 0.00 ) 17.23	6,069
3	( 0.00 ) 21.34	12,672	3	( 0.00 ) 14.56	11,926
3	( 0.00 ) 12.37	10,189	2	( 0.00 ) 20.12	12,538
6	( 0.00 ) 44.85	23,411	7	( 0.00 ) 44.89	22,122

単位 面積:ha 経費:千円

県 有 林			民 有 林		
箇所	面積	経費	箇所	面積	経費
17	162.32	54,830	15	149.42	43,349
20	174.1	66,917	18	148.22	63,781
21	154.89	66,956	20	147.41	63,741
16	137.55	59,282	17	118.90	62,907
20	132.13	64,631	16	107.18	57,557
8	38.19	16,472	4	33.11	16,774
4	34.06	15,290	3	27.30	13,675
4	26.56	18,208	2	19.24	13,617
4	33.32	14,661	7	27.53	13,491

## 9 県有林貸付地種類別面積

単位:ha

所属別 使用目的	令和元年度	中 北	峡 東	峡 南	富士・東部
総 数	6,653.0611	3,042.2922	576.2937	477.3635	2,557.1117
植樹用地	4,219.5419	1,637.0044	437.5212	457.7133	1,687.3030
農耕用地	349.0108	347.8651	1.1457	—	—
電気事業用地	346.0137	80.5848	117.8177	15.6698	131.9414
道路敷用地	67.7982	8.6366	1.0833	—	58.0783
水路用地	1.5670	1.2347	0.0267	0.0401	0.2655
建物敷用地	596.5244	131.7945	6.0674	2.3849	456.2776
牧場用地	354.5573	354.5573	—	—	—
鉱業用地	—	—	—	—	—
鉱泉用地	0.2388	0.0035	0.0894	0.1380	0.0079
林業付帯用地	—	—	—	—	—
雑用地	717.8090	480.6113	12.5423	1.4174	223.2380

# 10 国・県有林の部分林

単位:ha

調査時点 (各年3月31日)		平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和2年3月31日				
							中 北	峡東	峡南	富士・東部	
総数	件数	259	257	249	247	230	-	-	-	-	
	面積	9,365	9,340	9,214	9,136	9,050	-	-	-	-	
国有林	件数	4	4	4	4	4	3		1		
	面積	9	9	9	9	9	5		4		
県有林	県有林 総数	件数	255	253	245	243	226	99	54	15	58
		面積	9,356	9,331	9,205	9,127	9,041	3,611	717	326	4,387
	恩賜県 有財産 保護 組合	件数	67	67	66	66	62	21	13	6	22
		面積	4,937	4,937	4,930	4,918	4,896	1,070	113	240	3,473
	恩賜林 保護 財産区	件数	151	150	144	142	134	70	36	8	20
		面積	3,415	3,395	3,285	3,229	3,189	2,324	541	82	242
	市町村	件数	29	28	27	27	23	7	5		11
		面積	572	567	557	547	526	213	63		250
	その他	件数	8	8	8	8	7	1		1	5
		面積	432	432	433	433	430	4		4	422





造 林

# 1 1 苗畑面積

単位:面積(a)

年度	総数	国有林	県営		県森連	苗組	森林組合	その他	備考
			特別会計	一般会計					
平成27年度	465	—	—	—	—	294	171	0	
平成28年度	449	—	—	—	—	293	156	0	
平成29年度	476	—	—	—	—	365	111	0	
平成30年度	292	—	—	—	—	208	84	0	
令和元年度	274	—	—	—	—	162	112	0	
林務環境事務所 内訳									
中北	38	—	—	—	—	38	0		
峡東	40	—	—	—	—	36	4		
峡南	103	—	—	—	—	30	73		
富士・東部	93	—	—	—	—	58	35		

## 12 種 苗 生 産

平成 年度	種 子(kg)		まき付(kg)	挿し木(千本)	養苗(千本)
	購入	採取	数量	数量	数量
<b>平成27年度</b>	—	<b>83.1</b>	<b>17.0</b>	<b>0.0</b>	<b>1,249</b>
<b>平成28年度</b>	—	<b>106.0</b>	<b>38.5</b>	<b>0.0</b>	<b>720</b>
<b>平成29年度</b>	—	<b>131.1</b>	<b>81.8</b>	<b>0.0</b>	<b>693</b>
<b>平成30年度</b>	—	<b>132.0</b>	<b>100.5</b>	<b>0.0</b>	<b>681</b>
<b>令和元年度</b>	—	<b>155.2</b>	<b>141.5</b>	<b>0.0</b>	<b>581</b>
針葉樹計	—	25.2	11.5	0.0	356
花粉の少ないスギ	—	1.2	1.4	0	4
ヒノキ	—	19.0	1.5	0	112
花粉の少ないヒノキ	—	3.1	4.3	0	4
アカマツ	—	0.0	0.0	0	5
カラマツ	—	0.0	2.4	0	210
その他	—	1.9	1.9	0.0	21
広葉樹計	—	130.0	130.0	0	225
(所管別内訳)					
国営	—	0.0	0.0	0.0	0
県営	—	155.2	0.0	0.0	0
民営	—	0.0	141.5	0.0	581

## (2) 国有林需給

本数単位:千本

年度 樹種	国 有 林					
	供 給 量			需 要 量		
	総 数	生産量	移入量	総 数	県内需要	移出量
平成27年度	0	-	0	0	0	-
平成28年度	0	-	0	2	2	-
平成29年度	0	-	0	2	2	-
平成30年度	0	-	0	5	5	-
令和元年度	0	-	0	0	0	-
(樹種別内訳)						
<b>針葉樹計</b>	0	-	-	0	0	-
スギ	-	-	-	-	-	-
ヒノキ	-	-	-	-	-	-
アカマツ	-	-	-	-	-	-
カラマツ	-	-	-	-	-	-
シラベ	-	-	-	-	-	-
ウラジロモミ	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
<b>広葉樹計</b>	0	-	-	0	0	-
ク	-	-	-	-	-	-
ハンノキ	-	-	-	-	-	-
ケヤキ	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-

### 13 山行苗木需給状況

(1) 県有林・民有林需給

本数単位：千本

年度 樹種	供給量				
	総数(A) (B)+(C)	県内生産量(B) (B1)+(B2)	県営 (B1)	民営 (B2)	移入量 (C)
平成27年度	1,332	1,249	0	1,249	83
平成28年度	766	720	0	720	46
平成29年度	691	640	0	640	51
平成30年度	729	681	0	681	48
令和元年度	706	581	0	581	125
(樹種別内訳)					
<b>針葉樹計</b>	<b>443</b>	<b>356</b>	<b>0</b>	<b>356</b>	<b>87</b>
スギ	14	4	0	4	10
ヒノキ	132	116	0	116	16
アカマツ	5	5	0	5	0
カラマツ	271	210	0	210	61
シラハ	3	3	0	3	0
ウラジロモミ	4	4	0	4	0
その他	14	14	0	14	0
<b>広葉樹計</b>	<b>263</b>	<b>225</b>	<b>0</b>	<b>225</b>	<b>38</b>
ク	20	19	0	19	1
ハンノキ	10	10	0	10	0
ケヤキ	17	17	0	17	0
その他	216	179	0	179	37

本数单位:千本

需 要 量				需給状況	
総 数(D)	保安林整備	県有造林	民有林等		
(E) + (F) + (G)	(E)	(F)	(G)	(A) - (D)	
<b>463</b>	<b>11</b>	<b>228</b>	<b>224</b>	残	<b>869</b>
<b>474</b>	<b>4</b>	<b>229</b>	<b>241</b>	残	<b>292</b>
<b>411</b>	<b>1</b>	<b>164</b>	<b>246</b>	残	<b>280</b>
<b>435</b>	<b>0</b>	<b>212</b>	<b>223</b>	残	<b>294</b>
<b>468</b>	<b>4</b>	<b>278</b>	<b>186</b>	残	<b>238</b>
<b>400</b>	<b>0</b>	<b>268</b>	<b>132</b>		<b>43</b>
14	0	9	5		0
96	0	74	22		36
0	0	0	0		5
269	0	185	84		2
3	0	0	3		0
4	0	0	4		0
14	0	0	14		0
<b>68</b>	<b>4</b>	<b>10</b>	<b>54</b>		<b>195</b>
3	0	0	3		17
2	1	1	0		8
1	0	1	0		16
62	3	8	51		154



## 15 造林実行面積

### (1) 育成単層林整備

年度	樹種	民有林 総数			県有林 (含保改)			民有林合計 (含保改)			民有林 補助造林		
		県有林			再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計
		再	拡	計									
平成27年度		120	21	141	59	3	62	61	18	79	46	8	54
平成28年度		172	31	203	98	0	98	74	31	105	44	27	71
平成29年度		166	13	179	92	0	92	74	13	87	64	5	69
平成30年度		205	20	226	89	0	89	116	20	136	56	0	56
令和元年度	スギ	3	0	3	2	0	2	1	0	1	0	0	0
	ヒノキ	24	2	26	14	0	14	10	2	12	3	0	3
	アカマツ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カラマツ	68	1	69	52	0	52	16	1	17	13	0	13
	その他	40	6	46	3	0	3	37	6	43	31	0	31
	<b>計</b>	<b>135</b>	<b>9</b>	<b>144</b>	<b>71</b>	<b>0</b>	<b>71</b>	<b>64</b>	<b>9</b>	<b>73</b>	<b>47</b>	<b>0</b>	<b>47</b>

(注) 民有林補助造林面積には、被害跡地造林面積は含まない。

### (2) 育成複層林整備

単位：ha

年度	樹種	合計	県有林	民有林
平成27年度		27	11	16
平成28年度		28	6	22
平成29年度		25	4	21
平成30年度		33	2	31
令和元年度		15	2	13
	(内訳)			
	スギ	0	0	0
	ヒノキ	6	0	6
	カラマツ	1	1	0
	ウラジロモミ	0	0	0
	シラベ	1	1	0
	ケヤキ	0	0	0
	その他	7	0	7

(注) 1. 事業は昭和62年度から着手。  
2. 実績には受光伐を含めない。



単位：ha

年 度																国有林 (含官行造林)		
	林業公社			森林整備センター (旧緑資源機構)			融資造林			都有林			自力等造林 (含保改)			再	拡	計
	再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計			
平成27年度	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	15	6	21	0	0	0
平成28年度	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	30	0	30	0	0	0
平成29年度	0	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0	0	0
平成30年度	0	0	0	12	11	23	0	0	0	0	0	0	48	9	57	2	0	2
令和元年度	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	5	2	7	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	12	0	0	0
	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>9</b>	<b>7</b>	<b>16</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

(注) 民有林

(15附表)

## 令和元年度国有林・県有林造林種別内訳

単位:ha

造林種別	国有林	県有林				
		総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
<b>総数</b>	-	64	39	10	10	5
育成単層林(新植)	-	58	39	7	9	4
育成単層林(改植)	-	4	-	3	1	-
育成複層林	-	1	-	-	-	1
<b>造林樹種内訳</b>						
スギ	総数	-	-	-	-	-
	育成単層林(新植)	-	-	-	-	-
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
ヒノキ	総数	-	13	2	3	7
	育成単層林(新植)	-	8	2	-	6
	育成単層林(改植)	-	5	-	3	1
	育成複層林	-	-	-	-	-
アカマツ	総数	-	-	-	-	-
	育成単層林(新植)	-	-	-	-	-
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
カラマツ	総数	-	48	34	7	2
	育成単層林(新植)	-	47	34	7	2
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	1	-	-	-
シラベ	総数	-	-	-	-	-
	育成単層林(新植)	-	-	-	-	-
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
その他 針葉樹	総数	-	-	-	-	-
	育成単層林(新植)	-	-	-	-	-
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
広葉樹	総数	-	3	3	0	0
	育成単層林(新植)	-	3	3	0	0
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-

(注)1.ゼロは、小数点第1位を四捨五入した場合に1未満となる面積を表す。

## 16 苗木価格

単位:1本当たり・円

年度	樹種名	春植秋植別	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ
平成27年度		春植	114.00	116.00	66.00	78.00
		秋植	114.00	116.00	66.00	78.00
平成28年度		春植	116.00	118.00	68.00	96.00
		秋植	116.00	118.00	68.00	96.00
平成29年度		春植	120.00	121.00	68.00	96.00
		秋植	120.00	121.00	68.00	96.00
平成30年度		春植	124.00	125.00	73.00	100.00
		秋植	124.00	125.00	73.00	100.00
令和元年度		春植	124.00	128.00	75.00	103.00
		秋植	124.00	128.00	75.00	103.00

## 17 採種園設定状況

単位:ha

所属	名称	所在位置	総数	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	シラベ
森林総合研究所			<b>26.4</b>	<b>2.6</b>	<b>5.8</b>	<b>7.0</b>	<b>10.0</b>	<b>1.0</b>
	切久保採種園	南巨摩郡南部町切久保字久保原25569-2外20	2.3	2.0	0.3	-	-	-
	八木沢採種園	南巨摩郡南部町井出2265外31	4.6	-	4.6	-	-	-
	富士山採種園	富士吉田市上吉田字鳥居木前5598(県有林15林班)	11.0	-	-	-	10.0	1.0
	八ヶ岳採種園	北杜市小淵沢町字棒道下10060-3(県有林72林班)	7.0	-	-	7.0	-	-
	徳間採種園	南巨摩郡南部町徳間17356の45	1.5	0.6	0.9	-	-	-

## 18 精英樹選出状況

単位:本

調査時点 樹種名	総数		スギ		ヒノキ		アカマツ		カラマツ		シラベ	
	指定	現存	指定	現存	指定	現存	指定	現存	指定	現存	指定	現存
平成28年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
平成29年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
平成30年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
平成31年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
令和2年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
(林務環境事務所内訳)												
中北	36	30	1	1	-	-	26	22	9	7	-	-
峡東	9	8	-	-	-	-	2	2	7	6	-	-
峡南	24	24	16	16	8	8	-	-	-	-	-	-
富士・東部	87	72	13	13	4	4	30	23	25	17	15	15

精英樹：ある林において一定の基準を満たし優れた生長、形質を示す樹木(個体)を精英樹という。  
 選抜された精英樹は、クローンとして接ぎ木増殖され、精英樹クローンで採種園が造成され、造林に供する優良な種子が生産される。

収

穫

## 19 国・県・民有林別、針・広別伐採量

年 度	総 数				国 有 林			
	面積	材 積			面積	材 積		
		総材積	針	広		総材積	針	広
平成27年度	2,629	304,564	290,249	14,315	114	14,602	14,453	149
平成28年度	2,677	263,258	255,820	7,438	86	7,129	7,089	40
平成29年度	2,102	245,835	239,246	6,589	73	10,667	10,648	20
平成30年度	1,911	243,622	235,659	7,963	65	14,182	14,105	77
令和元年度	1,707	236,603	231,231	5,372	33	4,861	4,791	70

- (注) 1. 県有林、民有林の伐採量は森林法第10条の8、同法第15条に基づく届出及び保安林内伐採に係る許可、届出実績の集計結果による。  
2. 国有林に官行造林を含む。

## 20 成 長 量 ・ 標 準 年 伐 量

年 度	成 長 量			
	総 数	国 有 林	県 有 林	一般民有林
平成27年度	988,028	15,312	340,441	632,275
平成28年度	963,621	13,917	334,118	615,586
平成29年度	945,846	13,611	328,241	603,994
平成30年度	915,228	13,185	313,281	588,763
令和元年度	894,406	12,552	306,679	575,175

単位 面積：ha、材積：m<sup>3</sup>

県有林				民有林			
面積	材積			面積	材積		
	総材積	針	広		総材積	針	広
949	134,724	133,905	819	1,566	155,238	141,891	13,347
1,070	91,073	89,717	1,356	1,521	165,056	159,014	6,042
785	104,894	104,282	612	1,244	130,273	124,316	5,957
784	107,227	105,592	1,635	1,062	122,213	115,962	6,251
822	129,579	128,724	855	853	102,163	97,716	4,447

単位：m<sup>3</sup>

標準年伐量			
総数	国有林	県有林	一般民有林
-	38,207	55,000	-
-	41,191	75,000	-
-	41,191	75,000	-
-	34,949	75,000	-
-	43,840	75,000	-

## 2 1 県有林主・間伐別立木処分量

単位 面積:ha, 材積:m3

年度	処分別	総 数				主 伐				間 伐				そ の 他			
		面積	材 積			面積	材 積			面積	材 積			面積	材 積		
			総 数	用 材	薪材		総 数	用 材	薪材		総 数	用 材	薪材		総 数	用 材	薪材
平成 27 年度	<b>総 数</b>	<b>379</b>	<b>57,741</b>	<b>57,645</b>	<b>96</b>	<b>174</b>	<b>47,858</b>	<b>47,762</b>	<b>96</b>	<b>205</b>	<b>9,883</b>	<b>9,883</b>	—	—	—	—	—
	立木処分	379	57,741	57,645	96	174	47,858	47,762	96	205	9,883	9,883	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務使用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 28 年度	<b>総 数</b>	<b>366</b>	<b>64,571</b>	<b>64,479</b>	<b>92</b>	<b>161</b>	<b>49,611</b>	<b>49,519</b>	<b>92</b>	<b>205</b>	<b>14,960</b>	<b>14,960</b>	—	—	—	—	—
	立木処分	366	64,571	64,479	92	161	49,611	49,519	92	205	14,960	14,960	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務使用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 29 年度	<b>総 数</b>	<b>407</b>	<b>68,299</b>	<b>68,227</b>	<b>72</b>	<b>147</b>	<b>56,640</b>	<b>56,568</b>	<b>72</b>	<b>260</b>	<b>11,659</b>	<b>11,659</b>	—	—	—	—	—
	立木処分	407	68,299	68,227	72	147	56,640	56,568	72	260	11,659	11,659	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務使用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 30 年度	<b>総 数</b>	<b>459</b>	<b>69,673</b>	<b>69,594</b>	<b>79</b>	<b>150</b>	<b>52,630</b>	<b>52,550</b>	<b>79</b>	<b>309</b>	<b>17,043</b>	<b>17,043</b>	—	—	—	—	—
	立木処分	459	69,673	69,594	79	150	52,630	52,550	79	309	17,043	17,043	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務使用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
令 和 元 年 度	<b>総 数</b>	<b>592</b>	<b>74,986</b>	<b>74,945</b>	<b>42</b>	<b>179</b>	<b>54,825</b>	<b>54,784</b>	<b>42</b>	<b>414</b>	<b>20,161</b>	<b>20,161</b>	—	—	—	—	—
	立木処分	592	74,986	74,945	42	179	54,825	54,784	42	414	20,161	20,161	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務使用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)1. 総数欄の面積は主伐面積、材積は総材積、その他の欄は横線主伐である。

出典: 実行総括表



(21 附表)

## 令和元年度の事務所別内訳

単位 面積:ha、材積:m3

所別	内訳 処分別	総 数			主 伐			間 伐			そ の 他						
		面積	材 積		面積	材 積		面積	材 積		面積	材 積					
			総 数	用 材		薪 材	総 数		用 材	薪 材		総 数	用 材	薪 材			
中 北	総 数	234	19,751	19,751	—	61	14,480	14,480	—	173	5,271	5,271	—	—	—	—	—
	立木処分	234	19,751	19,751	—	61	14,480	14,480	—	173	5,271	5,271	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務用資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
峡 東	総 数	131	12,708	12,708	—	28	8,768	8,768	—	103	3,940	3,940	—	—	—	—	—
	立木処分	131	12,708	12,708	—	28	8,768	8,768	—	103	3,940	3,940	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務用資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
峡 南	総 数	38	10,321	10,321	—	13	6,211	6,211	—	26	4,110	4,110	—	—	—	—	—
	立木処分	38	10,321	10,321	—	13	6,211	6,211	—	26	4,110	4,110	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務用資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富士・ 東部	総 数	189	32,207	32,165	42	78	25,367	25,325	42	112	6,840	6,840	—	—	—	—	—
	立木処分	189	32,207	32,165	42	78	25,367	25,325	42	112	6,840	6,840	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務用資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
森林 総合 研究所	総 数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	立木処分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務用資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	総 数	592	74,986	74,945	42	179	54,825	54,784	42	414	20,161	20,161	—	—	—	—	—
	立木処分	592	74,986	74,945	42	179	54,825	54,784	42	414	20,161	20,161	—	—	—	—	—
	製品資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務用資材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 総数欄の面積は主伐面積、材積は総材積、その他の欄は横線主伐である。

出典: 実行総括表

## 22 県有林主産物契約方法別処分量

単位:m3

年度 林務環境 事務所	総数	立 木 処 分							森 総 研 究 資	林 合 所 材	委託販売
		総数	公 売			特 売					
			総数	システム販売	一般公売	指名公売	管理条 例43条	管理条 例44条			
平成27年度	57,741	57,741	49,432	18,870	27,917	2,645	96	8,213	-	-	
平成28年度	64,571	60,445	49,057	9,043	40,014	-	92	11,296	-	4,126	
平成29年度	68,299	63,499	57,263	21,960	35,303	-	72	6,164	-	4,800	
平成30年度	69,673	58,285	46,632	19,938	26,694	-	79	11,574	-	11,388	
令和元年度	74,986	63,618	51,445	15,857	35,588	-	42	12,131	-	11,369	
((元年度内訳))											
中北	19,751	18,417	13,960	8,562	5,398	-	-	4,457	-	1,334	
峡東	12,708	9,968	7,356	2,253	5,103	-	-	2,612	-	2,740	
峡南	10,321	6,952	6,215	1,002	5,214	-	-	736	-	3,369	
富士・東部	32,207	28,281	23,913	4,040	19,873	-	42	4,327	-	3,925	

出典:実行総括表

## 23 県有林主産物用途別処分量

単位:m3

年度 林務環境 事務所	総数	用材								薪材	森林 総合 研究所 資材	業務 使用
		総数	一般用材	パルプ 用材	チップ 用材	公共用 材	災害復 旧資材	付帯 用材	その他			
平成27年度	57,741	57,645	49,433	-	-	69	-	3,215	4,928	96	-	-
平成28年度	64,571	64,479	53,184	-	-	790	-	889	9,616	92	-	-
平成29年度	68,299	68,227	62,063	-	-	27	-	525	5,613	72	-	-
平成30年度	69,673	69,594	58,019	-	-	22	-	3,067	8,486	79	-	-
令和元年度	74,986	74,945	62,813	-	-	-	-	4,481	7,650	42	-	-
((令和元年度内訳))												
中北	19,751	19,751	15,294	-	-	-	-	173	4,284	-	-	-
峡東	12,708	12,708	10,096	-	-	-	-	1,415	1,197	-	-	-
峡南	10,321	10,321	9,584	-	-	-	-	626	110	-	-	-
富士・東部	32,207	32,165	27,839	-	-	-	-	2,267	2,060	42	-	-

出典:実行総括表

## 24 県有林副産物処分量

単位 しば草:束,きのこ:kg,土石:m3,金額(税込):円

年 度 林 務 環 境 事 務 所	総 金 額	し ば 草		き の こ		土 石		そ の 他		
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	種 別	数 量	金 額
平成27年度	458,460	-	-	260	73,440	-	-	-	-	385,020
平成28年度	502,870	-	-	260	84,996	25	5,314	-	-	412,560
平成29年度	493,020	-	-	520	80,460	-	-	-	-	412,560
平成30年度	507,060	-	-	260	86,940	-	6,480	-	-	413,640
令和元年度	310,324	-	-	260	88,134	-	-	-	-	222,190
((令和元年度内訳))										
中北	88,134	-	-	260	88,134	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	222,190	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								ナナカマ ト枝条	100束	70,200
								クワジロモミ 間伐木枝 条	100束	63,800
								オニク	100kg	12,441
								コケモ モ	400L	32,379
								スズ竹	100束	18,530
								シラベ 幼苗	1,000本	24,840

出典:実行総括表

# 木材需給と木材産業

## 25 県内木材価格の推移

単位：円／m<sup>3</sup>

年度	樹種	スギ 中丸太	ヒノキ 中丸太	ヒノキ 中丸太	アカマツ 中丸太	カラマツ 中丸太
	形状	径14～22cm 長3.65～4.0m	径14～22cm 長3.0m	径14～22cm 長3.65～4.0m	径16～28cm 長3.65～4.0m	径16～28cm 長3.65～4.0m
平成27年度		9,100	13,900	13,100	8,900	11,700
平成28年度		9,400	14,800	14,700	10,400	11,600
平成29年度		9,400	14,300	14,300	8,200	12,400
平成30年度		9,100	16,300	15,000	8,000	13,100
令和元年度		9,900	15,500	14,300	9,400	13,600

単位：円／m<sup>3</sup>

年度	樹種	針葉樹 チップ材	広葉樹 チップ材	米ツガ (カスケード)	米マツ (コースト)	スギ丸太 (合板適材)
	形状	径 込 長 込	径 込 長 込	30cm上 6.0m上	30cm上 6.0m上	径18cm上 長4.0m上
平成27年度		5,200	8,800	24,800	32,100	10,700
平成28年度		5,600	9,000	25,000	31,000	10,700
平成29年度		5,700	9,100	23,000	32,600	10,800
平成30年度		6,100	9,200	26,800	40,200	11,000
令和元年度		6,300	9,300	26,900	25,600	11,300

資料：山梨県木材協会、農林水産省「木材価格」

注：北洋材カラマツは、農林水産省が実施する木材価格統計調査の調査対象品目見直しにより、平成25年1月より調査対象外となっていたことから、平成29年度より対象品目をスギ丸太（合板適材）に変更する。

## 26 用材（原木）需給の状況

単位：千m<sup>3</sup>

区分 年度	需 要 量					
	総 量	製 材	パルプ	木材 チップ	その他	県 外 移出量
平成27年度	245	24	—	195	—	26
平成28年度	253	23	—	191	10	29
平成29年度	246	20	—	190	12	24
平成30年度	230	×	—	×	13	23
令和元年度	291	×	—	×	11	16

単位：千m<sup>3</sup>

区分 年度	供 給 量				外材比率	製材用に 占める 外材比率
	総 量	県産材	県外材	外 材		
平成27年度	245	202	41	2	1	8
平成28年度	253	209	42	2	1	9
平成29年度	246	214	31	1	0.4	5
平成30年度	230	201	×	×	×	×
令和元年度	291	223	×	×	×	×

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計情報部

「県製材工場等調査等」（平成27年度～）

※平成30年度～は一部（山梨県を含む）県別の外材輸入量が未公表

## 27 製 材

### (1) 製材工場数・動力の出力数及び従業者数

区分 年次	計	出力階層別			動力の出力数		従業者数		素材消費量	
		7.5KW以上 37.5KW未満	37.5~ 150.0	150.0 以上	(KW)	一工場 当たり	(人)	一工場 当たり	(千m <sup>3</sup> )	一工場 当たり
平成27年	(100) 28	(21) 6	(61) 17	(18) 5	2,991	106.8	113	4.0	23	0.8
平成28年	(100) 28	(21) 6	(61) 17	(18) 5	2,993	106.9	121	4.3	23	0.8

区分 年次	計	出力階層別			動力の出力数		従業者数		素材消費量	
		7.5~75.0 KW未満	75.0~ 300.0	300.0 以上	(KW)	一工場 当たり	(人)	一工場 当たり	(千m <sup>3</sup> )	一工場 当たり
平成29年	(100) 27	(56) 15	(33) 9	(11) 3	2,960	109.6	-	-	20	0.7
平成30年	(100) 24	(54) 13	(33) 8	(13) 3	2,864	119.3	-	-	20	0.8
令和元年	(100) 23	(52) 12	(35) 8	(13) 3	2,978	129.5	-	-	21	0.9

(注) ( ) は構成比

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部 ※平成29年調査から出力階層区分変更、従業者数削除

### (2) 製材用素材の入荷量

単位：千m<sup>3</sup>

区分 年次	合計	国産材			外 材					外 材 依存率 (%)	
		計	針葉樹	広葉樹	計	南洋材	米材	北洋材	ニュージ- ランド材		その他
平成27年	24	22	22	0	2	-	×	-	×	-	8
平成28年	23	21	×	×	2	-	2	-	-	-	9
平成29年	20	19	19	0	1	-	1	-	-	-	5
平成30年	×	×	×	×	×	-	×	-	-	-	-
令和元年	×	×	×	×	×	-	×	-	-	-	-

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部



(3) 国産材・外材別の工場数及び原木入荷量

単位：千m<sup>3</sup>

区分 年次	計		国産材のみ		国産材と外材		外材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
平成27年	28	24	18	×	8	×	2	×
平成28年	28	23	20	×	6	×	2	×
平成29年	27	20	22	18	4	×	1	×
平成30年	24	×	22	×	1	×	1	×
令和元年	23	×	22	×	-	-	1	×

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部

(4) 製材品の用途別出荷量

単位：千m<sup>3</sup>

区分 年次	総数	建築用	土木用	木箱・梱包	家具・建具	その他
平成27年	18	6	10	×	0	×
平成28年	14	6	×	×	-	-
平成29年	15	6	×	×	-	-
平成30年	15	4	8	×	×	×
令和元年	16	4	9	×	-	×

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部

## 28 チップ

### (1) 木材チップ工場数及び従業者数

区分 年次	工場数			従業者数 (人)	一工場当たり 従業者数 (人)
	計	製材工場を 兼営している	兼営なし		
平成27年	14	11	3	24	1.7
平成28年	15	12	3	20	1.3
平成29年	11	8	3	-	-
平成30年	10	7	3	-	-
令和元年	10	7	3	-	-

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部

### (2) 原材料入手区分別木材チップ生産量

単位：千 t

区分 年次	入手区分					樹種別	
	計	素材 (原木)	工場 残材	林地 残材	解体材 ・廃材	針葉樹	広葉樹
平成27年	76	73	3	-	-	44	32
平成28年	80	78	2	-	-	45	35
平成29年	78	76	2	-	-	39	39
平成30年	63	62	1	-	-	38	25
令和元年	59	58	1	-	-	34	25

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部

# 特 用 林 産

### 3 1 管内別薪生産量

単位：束

管内別 年次	総数	中北	峡東	峡南	富士東部
平成27年	86,265	66,150	—	900	19,215
平成28年	110,025	84,060	—	—	25,965
平成29年	100,755	89,505	—	—	11,250
平成30年	100,575	89,325	—	—	11,250
令和元年	63,450	47,880	—	—	15,570

(参考) 1 m<sup>3</sup>=45 束

### 3 2 管内別木炭生産量

単位：t

管内別 年次	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
平成27年	6	1	1	1	4
平成28年	8	1	2	1	4
平成29年	8	1	2	1	4
平成30年	8	1	2	1	4
令和元年	6	1	1	1	3

### 3 4 特用林産物生産量

単位：t

年次 管内	くり t	生しい たけ t	乾しい たけ t	ひらたけ t	なめこ t	まいたけ t	えりんぎ t	わさび t	たけのこ t	木炭 t
平成27年	20.8	134.5	3.1	31.2	48.7	19.7	22.4	4.5	27.8	6.2
平成28年	17.0	156.8	3.4	27.4	46.1	21.0	20.4	3.8	52.0	7.7
平成29年	14.5	176.4	3.2	27.2	43.8	16.4	20.0	3.9	22.5	7.0
平成30年	8.2	159.9	2.6	21.5	37.4	14.1	20.0	3.8	37.9	6.8
令和元年	7.0	162.4	1.7	25.3	48.7	3.8	20.0	3.1	17.9	5.8
(元年次内訳)										
中北	3.6	115.9	0.7	4.1	1.6	—	—	—	—	0.6
峡東	—	25.6	—	—	—	2.5	—	0.8	—	1.1
峡南	3.4	18.5	0.8	20.2	46.8	0.2	20.0	—	17.7	0.7
富士・東部	—	2.4	0.2	1.0	0.3	1.1	—	2.3	0.2	3.4

注) 少数第二位以降は四捨五入のため、合計数字と内訳数字とが一致しない場合があります。

### 35 管内別しいたけ生産量

#### (1) 生しいたけ

単位：t

管内別 年次	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
平成27年	134.5	84.4	27.2	10.6	12.4
平成28年	156.8	110.3	25.7	9.2	11.5
平成29年	176.4	124.9	27.6	18.1	5.9
平成30年	159.9	112.8	26.7	16.9	3.5
令和元年	162.4	115.9	25.6	18.5	2.4

注) 少数第二位以降は四捨五入のため、合計数字と内訳数字とが一致しない場合があります。

#### (2) 乾しいたけ

単位：t

管内別 年次	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
平成27年	3.1	0.3	—	2.3	0.5
平成28年	3.4	0.3	—	2.5	0.6
平成29年	3.2	0.4	—	2.2	0.4
平成30年	2.6	0.3	—	1.9	0.3
令和元年	1.7	0.7	—	0.8	0.2

注) 少数第二位以降は四捨五入のため、合計数字と内訳数字とが一致しない場合があります。

林 道

### 36 県営林道の現況

単位 延長:m

林務環境事務所	総 数		自 動 車 道		軽 車 道	
	路線数	延 長	路線数	延 長	路線数	延 長
総 数	219(207)	1,154,093	219(207)	1,154,093	—	—
中 北	89(85)	405,417	89(85)	405,417	—	—
峡 東	48(46)	278,399	48(46)	278,399	—	—
峡 南	28(25)	171,686	28(25)	171,686	—	—
富士・東部	54(51)	298,591	54(51)	298,591	—	—

( )実路線数

### 37 県営林道5ヶ年実績(開設)

単位 延長:m, 経費:千円

年 度 林務環境事務所	総 数			自 動 車 道			
	路線数	延 長	事業費	路線数	延 長	事業費	
平成27年度	23	10,252	1,690,360	23	10,252	1,690,360	
平成28年度	22	0	1,201,803	22	0	1,201,803	
平成29年度	23	9,011	1,599,864	23	9,011	1,599,864	
平成30年度	21	8,489	1,589,610	21	8,489	1,589,610	
令和元年度	21	6,253	1,007,135	21	6,253	1,007,135	
元 年 度 内 訳	中北	4	2,187	162,786	4	2,187	162,786
	峡東	8	1,296	413,002	8	1,296	413,002
	峡南	5	1,616	260,557	5	1,616	260,557
	富士・東部	4	1,154	170,790	4	1,154	170,790



### 38 補助林道の現況

単位 延長:m

林務環境事務所	総 数		自 動 車 道		軽 車 道	
	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長
総 数	423(411)	925,779	418(406)	920,363	5	5,416
中 北	117(117)	278,900	115(115)	276,105	2	2,795
峡 東	59(57)	118,913	59(57)	118,913		
峡 南	113(108)	286,751	110(105)	284,130	3	2,621
富士・東部	134(129)	241,215	134(129)	241,215		

( )実路線数  
※市町村営林道の現況

### 39 補助林道5ヶ年実績(開設)

単位 延長:m, 経費:千円

年 度 林務環境事務所	総 数			自 動 車 道			
	路線数	延長	事業費	路線数	延長	事業費	
平成27年度	6	1,572	641,700	6	1,572	641,700	
平成28年度	5	1,237	512,757	5	1,237	512,757	
平成29年度	5	696	394,151	5	696	394,151	
平成30年度	3	484	311,789	3	484	311,789	
令和元年度	3	404	203,020	3	404	203,020	
元 年 度 内 訳	中北	0	0	0	0	0	
	峡東	0	0	0	0	0	
	峡南	1	117	46,000	1	117	46,000
	富士・東部	2	287	157,020	2	287	157,020

※市町村営林道の実績



治 山

## 40 治山事業の現況（その1-1）

年 度	総経費	本工事費計		山 地 治 山								
				復旧治山		山地災害重点地域総合対策		流木防止総合対策		緊急予防治山		
		面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	
平成27年度	3,639,011	35.93	3,389,341	10.53	1,628,122	-	-	-	-	-	-	-
平成28年度	3,732,007	38.84	3,454,498	9.26	1,908,147	-	-	-	-	-	-	64,002
平成29年度	3,705,797	100.06	3,705,797	10.67	1,906,494	-	-	-	-	0.09	88,001	
平成30年度	4,525,584	13.43	4,218,042	7.46	2,529,168	0.00	51,509	-	-	0.45	149,227	
令和元年度	5,324,362	41.13	4,933,751	6.93	2,854,151	0.60	156,455	0.19	85,296	0.61	315,850	
(元年度内訳)												
中北	1,447,544	3.46	1,342,079	2.76	997,092	-	36,082	0.19	61,210	-	-	
峡東	1,018,946	3.82	944,730	0.91	491,932	0.20	50,597	-	24,086	0.12	67,709	
峡南	1,368,069	4.80	1,266,510	2.26	634,733	0.40	69,776	-	-	0.15	121,521	
富士・東部	1,489,803	29.05	1,380,432	1.00	730,394	-	-	-	-	0.34	126,620	

- (注) 1. 総経費は、事務費を含む。  
 2. その1-1は補助治山事業、その1-2は交付金事業  
 3. 保安林関係は別項  
 4. 北富士演習場障害防止対策は防衛省補助事業

単位 面積:ha, 経費:千円

水源地域等保安林整備				地すべり防止		災害関連 緊急治山		林地荒廃 防止施設 災害復旧
水源森林 再生対策		奥地保安林 保全緊急対策						
面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	経費
3.50	210,504	0.19	114,196	17.80	221,019	-	-	-
0.92	85,001	8.16	181,654	10.43	232,466	-	-	-
58.80	159,790	15.55	217,516	4.37	181,504	-	42,882	40,160
2.28	169,237	0.45	265,877	1.16	158,400	0.31	57,942	42,057
26.47	123,756	1.22	93,289	1.27	136,612	0.00	89,509	17,450
0.07	34,213	0.17	50,287	-	-	-	-	17,450
0	34,540	-	-	-	-	-	43,583	-
-	-	-	-	1.27	136,612	-	-	-
26.40	55,003	1.05	43,002	-	-	-	45,926	-

## 40 治山事業の現況（その1-2）

年度	予防治山		山地災害総合 減災対策治山		地域防災対策 総合治山	
	面積	経費	面積	経費	面積	経費
平成27年度	1.62	402,209	1.14	351,054	0.26	145,379
平成28年度	7.93	347,561	0.61	224,701	0.94	125,775
平成29年度	0.70	479,262	0.19	189,001	0.15	115,616
平成30年度	0.68	357,674	0.09	84,001	0.37	66,674
令和元年度	1.37	582,815	0.12	45,142	0.08	60,003
(元年度内訳)						
中北	0.15	94,256	0.12	45,142	-	-
峡東	0.32	131,529	-	-	-	-
峡南	0.72	247,476	-	-	-	-
富士・東部	0.18	109,554	-	-	0.08	60,003

単位 面積:ha, 経費:千円

治山施設機能強化		奥地保安林保全 緊急対策		北富士 演習場障害 防止対策
面積	経費	面積	経費	経費
0.37	42,000	0.52	146,001	128,857
0.45	120,116	0.00	0	165,075
7.27	85,402	1.96	45,000	155,169
0.00	97,936	0.18	50,001	138,339
0.00	102,628	2.27	67,005	203,790
-	6,347	-	-	-
-	33,749	2.27	67,005	-
-	56,392	-	-	-
-	6,140	-	-	203,790

## 40 治山事業の現況

### (その2)

年度 林務環境事務所	総経費	本工事費計		林業施設 景観形成 経費	県単独治山事業			
					小規模治山			
					危険地		災害緩衝機能強化	
		面積	経費		面積	経費	面積	経費
平成27年度	396,230	0.85	377,388	127,241	0.66	123,286	-	-
平成28年度	386,997	0.83	368,571	84,377	0.73	136,767	0.06	38,578
平成29年度	366,954	0.49	366,954	8,177	0.39	181,409	0.09	55,092
平成30年度	375,787	0.59	358,704	15,228	0.54	203,676	0.00	61,441
令和元年度	381,479	2.44	364,960	7,701	1.84	172,861	0.00	36,912
(元年度内訳)								
中北	92,369	0.07	88,404	-	0.07	47,455	-	10,988
峡東	82,949	1.88	79,315	-	1.28	48,134	-	7,174
峡南	83,860	0.06	80,226	-	0.06	28,612	-	10,780
富士・東部	122,301	0.43	117,015	7,701	0.43	48,660	-	7,970

- (注) 1. 総経費は、事務費を含む。  
 2. 小規模治山流木等発生源対策は、市町村への補助事業(H30～)。



単位 面積:ha, 経費:千円

県 単 独 治 山 事 業							
小 規 模 治 山							
治山施設維持	治山施設機能強化	災害復旧	流木等発生源対策	孤立集落周辺整備		県有林	
経 費	経 費	経 費	経 費	面積	経 費	面積	経 費
73,549	-	-	-	0.19	52,329	-	983
82,838	-	-	-	0.04	24,947	-	1,064
106,713	-	-	-	0.01	15,563	-	-
56,656	-	-	13,808	0.05	7,895	-	-
73,119	22,517	13,203	34,069	0.60	4,578	-	-
20,520	-	440	9,001	-	-	-	-
10,429	-	-	9,000	0.60	4,578	-	-
18,271	8,210	9,907	4,446	-	-	-	-
23,899	14,307	2,856	11,622	-	-	-	-

## 4 1 民有林直轄治山事業（山梨森林管理事務所）

単位 面積:ha、経費:千円

年 度	地区名	総経費	事業費			
			復旧治山		予防治山	
			面積	経費	面積	経費
平成27年度	総 数	380,358	4	380,358	-	-
	野呂川	307,390	3	307,390	-	-
	補正	72,968	0	72,968	-	-
平成28年度	総 数	329,775	4	329,775	-	-
	野呂川	216,429	4	216,429	-	-
	補正	113,346	1	113,346	-	-
平成29年度	総 数	336,333	1	336,333	-	-
	野呂川	224,746	1	224,746	-	-
	補正	111,588	0	111,588	-	-
平成30年度	総 数	465,320	2	465,320	-	-
	野呂川	220,941	1	220,941	-	-
	補正	244,379	1	244,379	-	-
令和元年度	総 数	212,270	1	212,270	-	-
	野呂川	133,451	1	133,451	-	-
	補正	78,819	0	78,819	-	-

# 林 野 被 害

## 4 2 林 野 被 害

単位 面積:ha、被害額:千円

年 度	総 数		風 水 害		凍・雪・寒・干害		病虫獣害	
	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額
平 成 27 年 度	5,458.10	479,072	0.50	500	7.49	2,740	5,448.00	473,660
平 成 28 年 度	5,780.68	577,648	-	-	-	-	5,778.85	577,535
平 成 29 年 度	5,479.83	366,054	7.05	15,033	11.72	10,089	5,445.99	339,191
平 成 30 年 度	5,544.80	253,744	44.73	14,717	4.53	1,071	-	-
令 和 元 年 度	4,676.40	226,524	21.98	8,282	1.24	315	-	-
(令和元年度内訳)								
国 有 林	-	-	-	-	-	-	-	-
県 有 林	586.15	108,444	21.65	7,807	1.24	315	-	-
民 有 林	4,090.25	118,080	0.33	475	-	-	-	-
(林務環境事務所別内訳)								
中 北	2,089.14	36,761	-	-	-	-	-	-
峡 東	590.27	46,211	0.01	7	-	-	-	-
峡 南	32.94	31,588	21.65	7,807	1.24	315	-	-
富士・東部	1,964.05	113,767	0.32	468	-	-	-	-

(注) 林務環境事務所別内訳は県有林・民有林のみ

(注) 「風水害」「凍・雪・寒・干害」「火災」については暦年

(注) 平成30年度以降は、病虫獣害を被害別で記載

単位 面積:ha、被害額:千円

松くい虫被害		クマ被害		シカ被害		その他獣害		火 災		その他	
面 積	被害額	面 積	被害額	面 積	被害額	面 積	被害額	面 積	被害額	面 積	被害額
-	-	-	-	-	-	-	-	2.11	2,172	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1.83	113	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	15.07	1,741	-	-
4,641.39	38,142	276.36	91,494	555.84	103,716	4.27	989	17.68	3,615	-	-
3,906.94	34,581	449.41	78,354	283.53	105,938	1.23	778	12.07	78	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
419.63	1,806	73.83	49,845	68.47	50,475	-	-	1.33	-	-	-
3,487.31	32,776	375.58	28,510	215.06	55,463	1.23	778	10.74	78	-	-
2,045.41	25,417	-	-	34.13	11,344	-	-	9.60	-	-	-
367.81	3,616	136.20	2,794	83.79	39,718	-	-	2.46	76	-	-
3.05	869	-	-	7.00	22,597	-	-	-	-	-	-
1,490.67	4,679	313.21	75,561	158.61	32,279	1.23	778	0.01	2	-	-

### 4 3 森林保険契約及び損害てん補状況

単位 面積:ha、保険金額・保険料:千円

区 分	契 約			損			
	面 積	保険金額	保険料	火 災		風 害	
				面 積	保険金額	面 積	保険金額
平成 27 年度	2,316	2,835,675	18,368	-	-	-	-
平成 28 年度	2,032	2,082,124	8,700	-	-	-	-
平成 29 年度	2,120	2,216,409	10,770	0.25	415	-	-
平成 30 年度	2,158	2,132,982	9,976	1.08	2,063	0.31	440
令和元年度	2,140	2,242,866	14,328	-	-	0.61	901
(令和元年度内訳)							
県 有 林	9	20,158	449	-	-	-	-
民 有 林	2,131	2,222,708	13,879	-	-	-	-

害 て ん 補							
水 害		雪 害		干 害		凍 害	
面 積	保険金額	面 積	保険金額	面 積	保険金額	面 積	保険金額
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	0.36	932	-	-	-	-
-	-	-	-	1.61	1,397	-	-
0.38	581	-	-	5.08	3,715	0.02	24
0.31	476	-	-	0.82	403	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

## 森林組合及び林業金融

## 4 4 森 林 組 合 の 状 況

単位 人数：人，金額：千円，面積：ha

年 次 林務環境事務所	組 合 数 組 合 名	組 合 員 数			出 資 金 払 込 済 額	組 合 員 所 有 森 林 面 積
		総 数	正 組 合 員	准 組 合 員		
平成27年	11	22,385	22,041	344	489,150	129,098
平成28年	11	22,358	22,018	340	491,038	129,088
平成29年	11	22,334	21,997	337	496,841	128,004
平成30年	11	22,298	21,964	334	498,447	127,861
令和元年	11	22,335	22,003	332	498,429	127,728
(元年次内訳)						
中 北		6,523	6,415	108	75,973	26,674
	中 央	2,341	2,263	78	41,800	16,004
	峡 北	4,182	4,152	30	34,173	10,670
峡 東	峡 東	2,323	2,319	4	44,110	12,599
峡 南		5,791	5,653	138	240,306	45,740
	峡 南	2,836	2,836	0	57,354	14,818
	早 川 町	680	672	8	22,025	12,896
	身 延 町	644	644	0	11,591	6,273
	南 部 町	1,631	1,501	130	149,336	11,753
富 士 ・ 東 部		7,698	7,616	82	138,040	42,715
	南 都 留	2,221	2,214	7	35,151	14,526
	大 月 市	1,774	1,774	0	25,050	10,726
	北 都 留	1,908	1,861	47	41,341	8,833
	富 士 北 麓	1,795	1,767	28	36,498	8,630

[注] 各年次のデータは各年12月末日のもの（森林組合一斉調査）  
 北都留森林組合については、平成21年度から決算期変更のため  
 3月末日のもの  
 峡南森林組合については、平成22年度から決算期変更のため  
 3月末日のもの



単位 人数：人，金額：千円，面積：ha

年次 林務環境事務所	組合 数	役員				職員総数 (専任)
		総数	理事		監事	
			常勤	非常勤		
平成27年	11	254	1	217	36	78 (78)
平成28年	11	248	1	211	36	77 (77)
平成29年	11	247	1	210	36	74 (74)
平成30年	11	246	1	210	35	78 (78)
令和元年	11	238	2	201	35	71 (71)
(元年次内訳)						
中北		56	0	50	6	15 (15)
	中央	30	0	27	3	7 (7)
	峡北	26	0	23	3	8 (8)
峡東	峡東	23	0	20	3	4 (4)
峡南		66	1	52	13	14 (14)
	峡南	21	0	18	3	5 (5)
	早川町	15	0	12	3	4 (4)
	身延町	12	0	9	3	2 (2)
	南部町	18	1	13	4	3 (3)
富士・東部		93	1	79	13	38 (38)
	南都留	23	1	19	3	8 (8)
	大月市	26	0	22	4	5 (5)
	北都留	15	0	12	3	21 (21)
	富士北麓	29	0	26	3	4 (4)

[注] 各年次のデータは各年12月末日のもの（森林組合一斉調査）  
北都留森林組合については、平成21年度から決算期変更のため  
3月末日のもの  
峡南森林組合については、平成22年度から決算期変更のため  
3月末日のもの

## 46 日本政策金融公庫資金借入状況

単位：千円

年 度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	件 数	3	5	2	—	1
	金 額	12,100	75,700	1,100	—	8,600
造 林	件 数	2	2	2	—	—
	金 額	2,100	2,100	1,100	—	—
主 務 大 臣 指 定 施 設 資 金	件 数	1	3	—	—	1
	金 額	10,000	73,600	—	—	8,600
林 道	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—
振 興 山 村 ・ 過 疎 地 域 経 営 改 善	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—
林 業 経 営 育 成	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—
林 地 取 得	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—
共 同 利 用 施 設 等	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—

(注) 共同利用施設には、林業構造改善事業資金を含む。

## 4 7 林業関係資金貸付状況

### (1) 林業・木材産業改善資金貸付状況

単位：千円

年 度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
林業・木材産業改善資金	件数	1	1	2	2	2
	金額	12,000	4,000	47,900	24,750	22,200

### (2) 木材産業高度化推進資金貸付状況

例年、年度末時点の貸付残高としている。よって、タイミングによっては「0」となる。

単位：千円

年 度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	件数	0	1	0	0	1
	金額	0	587	0	0	4,160
素材生産 合理化 資金	素材生産資金	件数	—	—	—	—
		金額	—	—	—	—
	素材引取資金	件数	—	—	—	—
		金額	—	—	—	—
	木材加工資金	件数	—	—	—	—
		金額	—	—	—	—
コスト低減促進資金	件数	—	—	—	—	
	金額	—	—	—	—	
製品流通合理化資金	件数	0	0	0	0	
	金額	0	0	0	0	
構造改革促進資金	件数	—	—	—	—	
	金額	—	—	—	—	
間伐等促進資金	件数	0	1	0	0	
	金額	0	587	0	0	



普 及

## 48 林業普及指導員配置状況

単位 人数：人 面積：ha

区分 \ 地域	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部	本庁	森林総合研究所
林業普及指導員	10	1	1	1	1	1	5
民有林指導森林面積	188,808	34,436	29,730	56,670	67,972		—
普及指導員1人当たり平均指導森林面積	18,881						

(注) 面積は県有林植樹用貸地を含む。

## 49 林業普及指導の協力員・団体の状況

令和2年3月31日現在

区分 \ 地域	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部	備考
指導林家	3		2	1		
青年林業士	3			1	2	
みどりのインストラクター	52	26	9	8	9	
林業研究グループ	12	4		3	5	

## 50 林業機械器具の現況

令和2年3月31日現在

番号	機械種名	備考	単位	所有区分別数量										
				地方公共団体	学校	会社	森林組合	支援センター	その他組合	集落	研究機関	個人	合計	
1-1	索道	索道重力式	セット			4	2							6
1-2		索道動力式	セット			13								13
2-1	集材機	小型集材機	動力10ps未満	台			17	6				1		24
2-2		大型集材機	動力10ps以上	台			36	7				1		44
3	モノケーブル	ジグザク集材施設	台			6	1				1		8	
4	リモコンウインチ	リモコン、ラジコンによる可搬式木寄せ機	台			7	2			1			10	
5	自走式搬器		台			2	2				1		5	
6	モノレール	懸垂式含む	台								1		1	
7-1	運材車	動力20ps未満のもの	台			9	6				1		16	
7-2		動力20ps以上のもの	台			15	1	1					17	
8-1	ホイールタイプトラクタ	林内で集材等の作業を行うホイールタイプのトラクタ	台			3							3	
8-2	クローラタイプトラクタ	上記でクローラタイプのもの	台			3							3	
9	育林用トラクタ	主として地寄せ等の育林作業用	台			1							1	
10	フォークリフト		台			8	17			1	1		27	
11	フォークローダ		台			3							3	
12-1	クレーン	運材機能なし	トラッククレーン、ホイールクレーン等	台										
12-2		運材機能あり	クレーン付きトラック	台			21	9		4	1		35	
13-1	グラブプル	運材機能なし	グラブプルローダ作業車	台		85	4			1			90	
13-2		運材機能あり	グラブプルローダ付きトラック	台		3							3	
14	トラクタショベル	搬出、育林用等に係わる土工用	台			7					1		8	
15	ショベル系掘削機械	搬出、育林用等に係わる土工用	台			33	2			8	1		44	
16	チェーンソー		台	22		595	114			30	16		777	
17	チェーンソーリモコン装置	リモコンチェーンソー架台	台											
18	刈払機	携帯式刈払機	台	53	27	455	92			19	16		662	
19	植穴堀機		台			9	3						12	
20	動力枝打機	自動木登り式	台			8	3			1	2		14	
21		背負い式等の上記以外のもの	台			36	4			3			43	
22	苗畑用トラクタ		台			7	1			2			10	
23	樹木粉碎機	伐倒木、伐根、枝条等を粉碎する機械	台			6				2			8	
24	フェラーパンチャ	立木を伐倒、集積する自走式機械	台											
25	スキッド	牽引式集材専用のトラクタ	台								1		1	
26	プロセッサ	枝払い・玉切りする自走式機械	台			5	3						8	
27	ハーベスタ	伐倒・枝払い・玉切りする自走機械	台			19				1	1		21	
28	フォワーダ	積載式集材専用車両	台			14	2						16	
29	タワーヤーダ	元柱を具備した自走式機械	台				1				1		2	
30	スイングヤーダ	簡易索張方式に対応し、かつ旋回可能なブームを装備する集材機械	台			13							13	
31	その他の高性能林業機械①	フォーク取納型グラブルハット (フェリシングヘッド付きを含む)	台			4	2			1			7	
32	その他の高性能林業機械②	グラブルハット以外	台			7							7	
33	グラブプルソー	巻立・玉切り自走式機械	台			1							1	





## 試験研究及び研修

## 5 1 令和元年度試験研究実績表

部門	新 継	研究課題	補助区分	研究期間	概 要
生産科	新	希少植物等の生息域外保全研究	県単	R1～R4	レッドデータブックに記載されている本県に固有な希少植物種、観光資源として有用な種などホザキツキヌキノソウのような個体数が著しく少ない種の場合は、植物体からの増殖も検討する必要がある。そこで、希少植物の個体から増殖材料の採取する際に、できる限り個体の損傷を軽減する必要性から、新芽を採取して増殖させるバイテク技術による増殖を目指す研究を行う。
	継	さし木によるカラマツ苗の増殖技術の開発	県単	H30～R3	カラマツ材は強度等が優れるため、その需要が急増し、カラマツ種苗が慢性的に不足している。さし木増殖は種子の豊凶に影響を受けずに苗木生産できるため、安定的な増殖技術として、カラマツさし木苗の育苗手法についての技術開発を行う。
	継	低コスト更新技術の開発に関する研究	県単	H30～R3	人工林資源の成熟化に伴う主伐の進行により、伐採跡地等の確実かつ低コストでの更新が求められている。また、ニホンジカの個体数増加に伴い、その摂食や剥皮に対して忌避性または耐性のある樹種の更新が必要となる。そのため、植栽によらず、播種および挿し木による広葉樹を中心とした更新技術に関する研究を行う。
	新	育林省力化のための低コスト下刈り方法の開発	県単	H27～R1	育林経費に大きな割合を占める下刈りの省力に関する試験研究事例は少ない。そこで、造林木の成長を大きく損なわず、低コストで実施可能な下刈りの省力指針を提供することを目的として本試験研究を実施する。
環境科	継	施業林の追跡調査と広葉樹の種特性解明に基づく広葉樹林施業技術指針の作成	県単	H27～R1	森林環境税創設等により、広葉樹林化推進への要望が高まっている。そこで、施業地のモニタリング調査、技術指針の基礎となる種特性の検証等に基づき、より精度の高い技術指針作成を目的として本試験研究を実施する。
	継	混交・複層状態の人工林における間伐指針の検討	県単	H29～R2	県内の人工林における林分密度管理は、主に収量比数を判断材料として実施されている。混交・複層状態の人工林の間伐においては収量比数の適用が困難であるため、その対応が求められている。そこで、混交・複層状態の人工林において適用しうる林分密度の混み方の指標を明らかにし、それをを用いた間伐指針を検討する。
	新	山梨県におけるコウヨウザンの植栽可能性に関する研究	県単	R1～R3	国の方針として早生樹造林を進める方向にあるため、先行的な研究を進める観点から、対象を姉妹県省関係にある中国四川省が原産地のコウヨウザンに絞り、早生樹造林の植栽に関して検討すべき課題等の抽出も含めた研究を行う。
	継	造林地侵入防止柵を活用したニホンジカ捕獲の効率化に関する研究	県単	H29～R2	近年個体数が増加しているニホンジカを効率的に捕獲するため、造林地に多数設置されている既存の防鹿柵を活用してニホンジカを捕獲する方法を開発する。柵内に誘引し閉じ込める方法と柵の周縁部で捕獲する方法について、柵の資材の違い（鋼鉄製またはネット製）も考慮して開発する。
資源利用科	継	一貫作業システム導入に向けた段階的試験研究 -ヒノキコンテナ苗植栽試験-	県単	H29～R1	ヒノキコンテナ苗を利用した一貫作業システムの構築には、ヒノキコンテナ苗の特徴、植栽地各地での活着・成長特性を考慮する必要があるが、本県ではヒノキコンテナ苗を植栽した事例がない。そこで、県各管内の中傾斜地に20m×20mの小プロット4つを1セットとした大プロットを設置、実際にヒノキコンテナ苗を植栽して活着条件およびその成長について調査を行う。

部門	新 継	研究課題	補助区分	研究期間	概要
資源利用科	新	山梨県産ヒノキの強度性能の解明	県単	R1～R3	山梨県産ヒノキの強度データが無い場合、集成材ラミナ、CLTラミナ、平角材の強度(ヤング係数、曲げ強度)の測定を行い、県産ヒノキの強度性能を明らかにして価値の向上を図る。
	新	スギ大径丸太の簡易強度選別手法の開発	県単	R1～R3	地域の実情に合わせた安価で簡易な方法により、スギ大径丸太を強度選別する技術の開発を行う。これにより選別した丸太からどの程度の強度の2×8、2×10材が生産できるか検証する。
	継	木材乾燥における高温処理条件の検討	県単	H29～R1	本県の南西部に位置する富士川地域は温暖で雨が多くスギの生育に適している。スギは生材の含水率が高く、乾燥が難しい材料である。そこで①内部割れがあっても材面割れが少ない場合の乾燥方法②材面割れがあっても内部割れが少ない場合の乾燥方法を検討し、目的に応じた乾燥条件の設定を行いやすくする。
	継	未利用材の安定供給化によるバイオマスエネルギーの利用促進	県単	H29～R1	伐採等で発生した林地未利用材のバイオマスエネルギー源としての利用があまり増加していない。その原因として具体的な収集・搬出、チップ化や乾燥法など、伐採地から需要先までの一貫したシステムの不明確さが挙げられる。そこで、伐採時に生じた未利用材の保管から搬出に至る方法、ボイラに適したチップ化法や乾燥法、製造チップの保管等を実証し、未利用材チップの適正な生産・流通・利用体制の整備と高品質化に向けた検討を行う。
生産科	継	薬用植物の種苗生産方法の確立	県単(総理研)	H29～R1	薬用植物は種苗が入手が困難な場合が多く、薬用植物栽培の障害となっている。そこで薬用植物の種苗を効率的に生産できるように、種苗生産の方法の確立を目指す。なお、本研究は、県総合農業技術センター及び衛生環境研究所と共同で行う。
	継	竹林を利用したきのこ栽培技術の確立	県単(最重点化)	H30～R2	竹林を利用したキヌガサタケの栽培方法について検討する。キヌガサタケの温度特性、種菌および埋設用として用いる菌床の基材(オガ粉、タケチップ等)、栄養剤(米ぬか、ふすま等)の検討を行い、最適な菌床培地の構成について検討する。 次に、子実体発生をさせる手法(菌床の埋設等)について検討する。また、竹林での栽培方法を検討するため、竹林での菌床の埋設等の検討を行う。また、きのこの発生に適した竹林管理方法を検討する。
環境科	継	カラマツ人工林における水源涵養機能を強化するための森林管理手法の確立	県単(重点化)	H30～R2	やまなし「水」ブランド戦略では、森林の水源涵養機能を強化することが目標の一つとなっている。カラマツ人工林における水源涵養機能を強化するために、ニホンジカによる影響と下層植生に着目し、どのような森林管理が必要かを明らかにする。
	新	森林下層植生が土砂流出防止に及ぼす影響と植生回復に関する研究	県単(重点化)	R1～R3	県内の森林の下層植生の代表であるスズタケを中心に、①過去の資料に基づいたスズタケ衰退状況の把握、②下層植生量と土壌流出量の関係の定量化、③土壌流出リスクの地図化、④下層植生回復策提示、を実施する。
資源利用科	新	カラマツ材によるCLT(直交集成板)の優位性の提示	県単(最重点化)	R1～R3	地域材であるカラマツについて、丸太、ラミナ、CLTの樹種強度特性を把握し、カラマツCLTの優位性を提示する。また、事前に山土場等で簡易打音法による強度把握を行い、効率的なラミナ製造を行う方法を検討する。
生産科	継	松くい虫発生予察事業	研委	S61～	県内における松くい虫被害の原因となるマツノマダラカミキリの発生消長を調査し、マツノマダラカミキリに対する防除適期を年ごとに把握する。
	継	カシノナガキクイムシ生息状況モニタリング	研委	H24～	カシノナガキクイムシの県内における潜在的な生息状況と、周辺県等からの飛び込みの状況について調査する。

部門	新 継	研究課題	補助区分	研究期間	概要
環境科	継	県有林モニタリング事業	研委	H19～R8	全県下に調査地4地点を設け、昆虫多様性、菌類多様性、植物多様性、水質状況、炭素固定量の可能な項目について、伐採が周辺林分に及ぼす影響を中心にモニタリングする。
	継	森林環境税モニタリング調査	研委	H25～	山梨県では、平成24年4月から「森林環境税」を導入し、公益的機能が発揮される森づくりを進めている。森林環境税により実施される事業の中で、荒廃した民有林の間伐を進め、針葉樹と広葉樹の混じり合った森林に再生する荒廃森林再生事業が実施された箇所について、その効果を検証することを目的に調査を行う。
	継	富士スバルライン沿線緑化試験	研委	S43～	富士山という特別な地域の中を通る道路である富士スバルラインの沿線の植生の遷移、修景緑化の方法、更新の状況等を調査する。
	新	高標高域等の奥地森林におけるニホンジカの影響評価	研委	R1～R2	ニホンジカの個体数は、山梨県においても近年ようやく減少傾向となってきたが、人間に対して警戒心の強い「スレジカ」の出現やシカの高標高（奥地）への移動が指摘されている。そこで、高標高域等の奥地森林におけるニホンジカの影響を評価し、今後のニホンジカ管理に必要な情報を収集するとともに、それらの内容等をパンフレットにまとめ、周知する。
資源利用科	継	運搬用トラックへの原木グラップル積込みに係る工期調査	研委	H29～	グラップルを用いた搬出用トラックへの積み込み工期を調査し、作業時間、生産性に関するデータの収集、解析を行う。解析結果は県有林、出先事務所に提供し、事業見積り等の参考資料として活用することを目的とする。
	継	やまなし次世代林業推進実証事業	研委	H30～R2	「一貫作業システム」を導入した森林整備におけるICT活用などの新技術による作業の省力化及び技術を活用できる事業者への普及及び人材育成。
環境科	継	気候変動下での樹木分布移動に及ぼす人工林とニホンジカの影響の解明	外部資金	H28～R1	気候変動の適応策の考案するために、人工林の植栽樹種の拡大、人工林の植栽樹種やニホンジカの摂食による樹木の分布移動の制限を明らかにし、気候変動適応策としての人工林とニホンジカの管理への提案を行う。
生産科	継	高級菌根性きのこ栽培技術の開発	外部資金	H29～R1	経済的価値の高い特用林産物のトリュフの人工栽培技術は森林域に新たな経済的な価値を生むため、その開発に向けた取り組みを行う。
環境科資源利用科	新	水源涵養機能の確保に向けたニホンジカと森林下層植生の管理に関する研究	外部資金	R1～R5	森林の水源涵養機能を確保するために、効率的なニホンジカ捕獲に関する技術開発とその効果評価のための研究を実施する。



## 5 2 令和元年度森林総合研究所及び部内研修実績表

### (1) 基礎研修(対象者:教職員等)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
教員指導者養成研修	2	23	「身近な自然の指導法研修会」、「環境とものづくり研修会」
計	2	23	

### (2) 専門研修(対象者:県及び市町村林業技術者、森林組合職員等)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
専門研修	42	320	林業経営・森林整備、造林・育林、森林保護・環境保全、林業機械、森林土木、木材の利用・加工・流通、労働安全
計	42	320	

### (3) 技能者養成研修(対象者:林業従事者等)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
林業就業者養成研修	15	6	林業架線作業主任者免許規程に係る講習
「緑の雇用」 現場技能者育成研修	20	96	林業機械、森林整備、森林調査、素材生産、路網開設、現場管理
若手指導者 伐倒技術向上研修	3	6	新規就労者等を指導する立場の中堅職員と経営者を対象とした現場指導能力向上研修
計	38	108	

- (注) 1. 平成22年度までは、林業技能者の養成を図るために、森林総合研究所の技能者養成研修の中で「林業就業者リーダー養成研修」を実施し、修了者を林業技能作業士(グリーンワーカー)として、県が認定していた。
2. 平成23年度からは、「林業就業者リーダー養成研修」の内容の大半が「緑の雇用」現場技能者育成対策事業(全国森林組合連合会委託事業)の対象となったため、「林業就業者リーダー養成研修」及び林業技能作業士の認定を廃止した。
3. 「緑の雇用」現場技能者育成研修については、森林総合研究所実施分のみを記載している。

### (4) 森の教室(対象者:一般県民)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
体験学習	9	387	植物観察、昆虫教室、キノコ鑑定、枝打ち・間伐・炭焼き・キノコ植菌体験、山菜教室
木工・ クラフト教室	10	189	押し花、モビール、クリスマスリース、小枝細工等の製作
夏休み工作教室	注1	404	小枝細工、踏み台作成
計	19	980	

### (5) 植物園研修(対象者:農林家、一般県民)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
山の幸教室	9	159	山菜教室、ハーブ料理教室、野草茶、木工教室、野生キノコ教室、かご作り、ハーブクラフト教室、飾り炭作り
季節事業	注2	6	
計	9	165	

注1：7～11月に開催

注2：7～8月に開催

※(2)専門研修の内訳

名 称	対 象	内 容	受講者数
森林GISの効率的な活用に必要な基礎知識	森林環境部 職員等	G P Sによる位置測量技術、衛星画像等との連携手法の基礎知識	5人
UAVを用いた地上観測技術	森林環境部 職員等	UAVの概要と応用分野に関する知識	11人
市町村森林整備計画及び森林経営計画の基礎知識	森林環境部 職員等	伐採・造林、更新完了判断に関する基礎知識	12人
林内路網の基礎知識	森林環境部 職員等	森林作業道の計画・作設指針概要、路網配置の基礎知識	6人
森林作業道の計画・施工	森林環境部 職員等	森林作業道の計画・施工の基礎知識	5人
森林経営管理制度の実務	森林環境部 職員等	森林経営管理制度の概要、森林管理移行調査の実施方法と経営管理権集積計画の作成方法についてのワーキング	59人
保安林・林地開発制度の概要	森林環境部 職員等	制度・事務処理等の解説	20人
森林土木測量入門	森林環境部 職員等	土木工学の基礎、測量機器の基本的な使用方法	14人
公共土木施設点検のポイント	森林環境部 職員等	構造物点検の基礎知識	2人
森林施業プランナー研修	森林環境部 職員等	森林施業提案書の作成演習	6人
労働災害の防止対策	森林環境部 職員等	林業及び建設工事現場における労働災害防止対策に関する知識	8人
技術職員の安全管理 (現場で被災しないために)	森林環境部 職員等	現場における安全対策、普通救命講習	18人
林業経営の基礎知識	森林環境部 職員等	大規模工場に対し高く売りやすい丸太を生産するための基礎知識	6人

名 称	対 象	内 容	受講者数
森林施業技術の基礎知識	森林環境部 職員等	針広混交林・広葉樹林の造成、大径材生産の基礎知識	4人
カラマツコンテナ苗の特徴及びその植栽と管理	森林環境部 職員等	カラマツコンテナ苗の特徴、植栽方法、植栽後の成長・管理に関する基礎知識	24人
県有林の適切な森林管理において求められるもの（F S C 関連研修）	森林環境部 職員等	希少動物、森林管理認証規格に関する基礎知識	33人
ナラ枯れ被害の実態と対策	森林環境部 職員等	県内の森林被害の現状と対策、重要病虫害に関する基礎知識	17人
山梨県野生鳥獣保護管理事業計画と獣害対策の基礎知識	森林環境部 職員等	第12次鳥獣保護管理計画の概要、獣害対策の現状・課題、被害軽減策に関する基礎知識	9人
森林の多面的機能の基礎知識	森林環境部 職員等	森林の多面的機能発揮のメカニズム等に関する基礎知識	3人
県産材利用に関する基礎知識	森林環境部 職員等	木材流通の実態、木材価格決定プロセス、川上対策に関する基礎知識	11人
木材の用途と品質	森林環境部 職員等	木材の新用途・品質、木質材料に関する基礎知識	5人
機械集材装置の運転の業務に係る基礎知識	森林環境部 職員等	機械集材装置の運転に係る特別教育	2人
林業安全作業指導Ⅰ	森林環境部 職員等	チェーンソー、刈払機の取扱いに係る特別及び安全衛生教育	24人
林業安全作業指導Ⅱ	森林環境部 職員等	チェーンソー、刈払機の取扱いに係る特別及び安全衛生教育	45人
		計	320人

(注) 専門研修「林業架線免許講習」は技能者養成研修との併催であるため控除。



## 林業・木材産業構造改革

## 5 3 林業・木材産業構造改革事業実績

### (1) 林業構造改善事業等市町村別実績

	市町村名等 (旧市町村名)	第1次 第2次 新林構 S40~58 計 A	新林構、 実験林構 S54~H6 計 B	林業山村活性化林業構造改善事業 H2~H13						計 C	経営基盤強化林構 H10~H13		計 D
				地域活 性化型	総合型	産地形成 型	資源活用型	美しい むらモ デル	活力増 進モデ ル		中山間 モデル	事業体 育成型	
峡中	楯形町	210,000											
	甲府林業地域		236,070										
	甲府市		277,750		164,348					164,348			
	芦安村		450,000				229,326			229,326			
	甲斐市 中央拠点											1,378,641	1,378,641
計	210,000	963,820		164,348		229,326			393,674		1,378,641	1,378,641	
峡東	御坂町	104,020											
	牧丘町	63,800	132,250										
	三富村	65,500		46,000	59,278					105,278		192,000	192,000
	山梨市 大和村	228,000											
	甲州市 峡東森林組合			43,000						43,000			
計	461,320	132,250	89,000	59,278					148,278		192,000	192,000	
峡南	増穂町	75,211	419,445										
	蘇沢町	146,000	78,000		396,213					396,213			
	中富町		161,000										
	早川町	190,019	579,300		360,484			201,200		561,684			
	身延町	216,946	138,000										
	南部町	100,392	199,408						100,176	100,176			
	富沢町	213,706	248,000										
	下部町	331,000	225,620										
	富士川地域 峡南地域	585,408	97,000		616,200					616,200			
計	1,858,682	2,145,773		1,372,897			201,200		100,176	1,674,273			
峡北	韮崎市		403,600										
	明野村	70,000											
	須玉町	77,940	394,608		1,522					1,522			
	大泉村	86,100	274,000										
	白州町	297,990	469,970										
	武川村		193,200										
	小淵沢町		154,660										
	高根町				166,861				100,000	266,861		45,750	45,750
	白州小淵沢地区 峡北森林組合				162,074					162,074		24,670	24,670
計	532,030	1,890,038		330,457				100,000	430,457		70,420	70,420	
大月	大月市	462,226	435,400										
	都留市	284,500	271,594										
	上野原町	304,006	505,000	53,190						53,190			
	小菅村	241,973	425,310				350,000			350,000			
	丹波山村	290,000	327,184										
	秋山村	245,000	184,700										
	道志村	406,367	353,768		158,874		505,500			664,374			
	甲斐東部地域 都留地域					1,550,000				1,550,000			
	北都留地域		149,660							363,100	477,700		477,700
計	2,234,072	2,652,616	53,190	521,974	1,550,000	855,500			2,980,664	477,700		477,700	
吉田	河口湖町		48,000										
合計	5,296,104	7,832,497	142,190	2,448,954	1,550,000	1,084,826	201,200	100,000	100,176	5,627,346	477,700	1,641,061	2,118,761

単位：千円

臨時緊急特別林構 H10 E	経済新生緊急特別林構 H11 F	地域林業経営確立林構 H12~15		計 G	地域材利用促進施設緊急整備事業 H13 H	森林吸収源対策等関連施設緊急整備事業 H14 I	林業経営構造対策事業 H14~16 J	竹材利用促進緊急対策事業 H16 K	強い林業・木材産業づくり交付金 H18 L	森林・林業・木材産業づくり交付金 H20 M	森林・林業再生基盤づくり交付金 H25 N	合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策交付金 H29 O	林業・木材産業成長促進対策交付金 H29 P	合計 A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L+M+N+O+P
		地域林業経営集約化型	資源循環利用推進型											
	36,771										35,020	12,528		210,000 236,070 526,417 679,326 207,384 1,978,175
379,208	208,215				12,111					184,614			22,770	3,837,372
379,208	244,986				12,111					184,614	35,020	12,528	22,770	3,837,372
	50,000													104,020 196,050 412,778 31,040 228,000 56,300 23,100
	50,000						23,100							23,100
	50,000						23,100			24,360	19,980			1,051,288
18,000					59,500									494,656 679,713 161,000 1,483,880 5,919,175 490,512 471,706 556,620 1,298,608 728,517
18,000			728,517	728,517	59,500		14,200	3,000		26,292	64,244	134,877	5,547,029	12,284,387
18,000			728,517	728,517	59,500		24,200	3,000	26,292	64,244	134,877	5,547,029		12,284,387
										60,007	19,440		129,133	612,180 70,000 474,070 377,596 767,960 193,200 154,660 312,611 162,074 24,670
										60,007	36,936		129,133	3,149,021
	30,000					14,700					494,359		52,380	1,459,065 556,094 862,196 1,126,583 714,184 464,700 1,861,509 1,550,000 575,954 840,800
	50,000	214,000		214,000	100,000	35,000		79,300						10,011,085
			426,294	426,294			42,000	97,000						10,011,085
	80,000	214,000	426,294	640,294	135,000	56,700	207,300				494,359		52,380	10,011,085
											66,538			114,538
397,208	374,986	214,000	1,154,811	1,368,811	206,611	56,700	254,600	3,000	26,292	333,225	787,710	5,559,557	204,283	30,447,691

(2) 令和元年度 林業・木材産業構造改革事業等実績

単位：千円

事業名	事業種目	実施市町村	事業主体	工種又は施設区分	事業費	負担区分			
						国費	県費	市町村費	その他
林業・木材産業成長産業化促進対策交付金	高性能林業機械等の整備	甲斐市	(有)藤原造林	グラップルソー	22,770	9,850	0	0	12,920
林業・木材産業成長産業化促進対策交付金	木造公共施設整備	韮崎市	韮崎市	中田屋内運動場	129,133	60,237	0	68,896	0
計					151,903	70,087	0	68,896	12,920
合計					151,903	70,087	0	68,896	12,920

環境緑化及び森林の保健・文化・教育的利用

## 5 4 緑 の 募 金

### (1)「緑の募金」実績額の推移

単位：円

年	家庭募金	職場募金	企業募金	団体募金	学校募金	その他(街頭・一般・自販機募金等)	合計
平成27年	43,320,963	2,373,078	4,227,647	2,272,656	40,460	1,127,130	53,361,934
平成28年	43,552,464	2,230,706	3,518,535	2,217,184	40,000	1,044,648	52,603,537
平成29年	43,400,278	2,059,489	3,950,782	2,223,151	7,514	820,017	52,461,231
平成30年	43,060,057	2,045,633	3,667,619	1,678,518	0	972,658	51,424,485
令和元年	42,583,676	2,278,986	3,903,362	2,402,538	0	730,666	51,899,228

※ (公財) 山梨県緑化推進機構の会計年度は暦年  
 ※ 平成30年から学校募金は「その他」に集計

### (2)「緑の募金」の主な使途

単位：円

事業項目	森林整備事業	緑化推進事業	国際緑化事業等	市町村の緑化活動交付金	募金活動推進費
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源林、学校林などの森林整備に交付金を交付</li> <li>・地球温暖化防止のための森づくり活動に交付金を交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、街路、公園などの緑化に交付金を交付</li> <li>・緑の少年隊の育成に交付金を交付</li> <li>・地区で行う植樹祭などの緑化普及啓発事業に交付金を交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土緑化推進機構が実施する「林業専攻高校生・海外研修」に参加する者に助成するため交付金を交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の緑化推進組織が行う森林整備や緑化推進に助成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の募金活動に対する啓発活動など</li> </ul>
平成27年	8,823,000	8,169,000	400,000	17,344,000	3,519,268
平成28年	10,699,000	10,816,000	400,000	17,070,000	3,447,293
平成29年	9,465,000	9,140,000	400,000	16,750,310	3,032,705
平成30年	11,145,643	9,551,841	400,000	16,469,454	2,712,434
令和元年	8,047,393	7,804,822	300,000	14,165,439	2,859,570

※ (公財) 山梨県緑化推進機構の会計年度は暦年

## 5 5 緑 化 樹 生 産

県では、「山梨県直営生産緑化樹利用要領」に基づき、緑化樹を各緑化園で養成し、県及び市町村の公共施設に配付している。

### (1) 公共用緑化樹養成数

単位：本

緑化園名 年度	日野春	小淵沢	大泉	計
平成27年度	2,674	843	4,658	8,175
平成28年度	2,485	-	4,458	6,943
平成29年度	2,098	-	4,316	6,414
平成30年度	2,615	-	3,873	6,488
令和元年度	2,451	-	3,917	6,368

### (2) 施設別緑化樹配付状況

単位：本

区分 年度	国・県施設		市町村施設		計		備考
	施設数	本数	施設数	本数	施設数	本数	
昭和49年度から平成26年度までの累計	2,211	391,875	3,544	287,646	5,755	679,521	
平成27年度	2	27	11	197	13	224	
平成28年度	5	85	13	253	18	338	
平成29年度	7	131	14	203	21	334	
平成30年度	3	157	6	199	9	356	
令和元年度	4	150	4	157	8	307	
計	2,232	392,425	3,592	288,655	5,824	681,080	

## 56 緑の少年隊

緑の少年隊は、次代を担う子どもたちが緑化推進活動をはじめ、森林での学習活動、地域の社会奉仕活動、キャンプなどのレクリエーション活動を通して、自然を愛し、人を愛し、自ら社会を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした、子どもたちの自主的な団体である。

本県では、昭和49年に山中湖緑の少年隊が結成されて以来、毎年1～3隊が設立され、昭和63年9月には「緑の少年隊山梨県連盟」が結成された。

令和元年4月現在の隊数・隊員は、65隊、6,858人(指導者除く)となっている。

緑の少年隊一覧 (令和元年4月現在)

地区	市町村	隊名	設立	地区	市町村	隊名	設立		
中	甲府市	健康の森 緑の少年隊	S53	市川三郷町	上野小学校 緑の少年少女隊	H4	計		
		北東中 緑の少年少女隊	H5		市川東小 緑の少年少女隊	H8			
		子どもの森みどりの少年隊	H28		六郷小 緑の少年少女隊	H9			
		中道南小学校 緑の少年少女隊	H11		富士川町	増穂中学校 緑の少年少女隊		H3	
	韮崎市	穂坂小 緑の少年少女隊	H2			鹹沢町 緑の少年少女隊		H8	
		南アルプス市	八田小 緑の少年少女隊		H12	早川町		早川中 緑の少年少女隊	S61
			白根百田小学校 緑の少年隊		H1			早川北小学校 緑の少年少女隊	H29
			芦安小 緑の少年少女隊		H11	身延町		下山小 緑の少年少女隊	H7
			若草 緑の少年隊		H12	南部町		南部中学校 緑の少年隊	H5
	櫛形西小 緑の少年少女隊		S62	5町	9隊				
	北	甲斐市	甲西 緑の少年隊	H11	富士吉田市	富士見台中学校 緑の少年少女隊		S63	
			明野小 緑の少年少女隊	H6		ガールスカウト富士吉田 緑の少女隊		H13	
		北杜市	須玉小 緑の少年少女隊	H11	都留市	都留文大附属小 緑の少年少女隊		H4	
			高根中 緑の少年隊	S55		ガールスカウト都留 緑の少女隊		H13	
			長坂小学校 緑の少年少女隊	H5	大月市	初狩小 緑の少年少女隊		H5	
			泉小 緑の少年少女隊	S61		島田小 緑の少年隊		H6	
			武川小 緑の少年少女隊	H9	上野原市	秋山小 緑の少年隊		H29	
			白州小 緑の少年少女隊	H4	道志村	道志小 緑の少年少女隊		H13	
		小淵沢小 緑の少年隊	H8	西桂町	西桂小 緑の少年少女隊	H10			
		甲斐市	竜王北小 緑の少年少女隊	H11	忍野村	忍野小 緑の少年少女隊		H10	
			敷島北小 緑の少年少女隊	H5	山中湖村	山中小学校 緑の少年少女隊		S49	
		中央市	双葉中 緑の少年隊	S58	鳴沢村	鳴沢村 緑の少年隊		H2	
			田富中学校 緑の少年少女隊	H12	富士河口湖町	河口湖 緑の少年隊		H1	
			豊富 緑の少年少女隊	H12		勝山 緑の少年隊		S50	
		昭和町	玉徳南小 緑の少年少女隊	H12		西浜小 緑の少年少女隊		H3	
	昭和町 緑の少年少女隊		H12		勝山中 緑の少年少女隊	S60			
	7市町	26隊		小菅村	小菅小 緑の少年少女隊	H3			
峡東	山梨市	八幡小 緑の少年少女隊	H19	丹波山村	丹波小 緑の少年少女隊	H11			
		笛川小 緑の少年少女隊	H5	12市町村	18隊				
	笛吹市	春日居小 緑の少年少女隊	H7	65隊・6,858人					
		石和町 緑の少年少女隊	H11						
		黒駒 緑の少年隊	H4						
		一宮町 緑の少年少女隊	H7						
		八代小 緑の少年少女隊	H25						
	甲州市	境川小 緑の少年少女隊	H10						
		芦川 緑の少年少女隊	H4						
		神金小 緑の少年少女隊	S63						
		菱山小 緑の少年少女隊	H5						
	3市	12隊							



## 57 森林公園

### (1) 県民の森

所在地	南アルプス市上市之瀬字中尾山1760番地外				
面積 ( ha )	953ha				
供用開始	昭和50年4月1日(当初開設 S43年) *H29.4.1に南アルプス市に施設譲渡				
主な施設	森林科学館周辺(森林科学館、林間広場、展望台、休憩舎、第一駐車場、散策路) 南伊奈ヶ湖周辺(菖蒲池四阿、自由広場、水生植物園、木製デッキ、第二駐車場) 森林科学館分室・登山道等(森林科学館分室、アヤマ平避難小屋、見晴し平四阿、見晴し平駐車場、登山道等) ※登山道以外は、南アルプス市に施設譲渡 南アルプス市既設施設(グリーンロッジ、キャンプ場、ウッドビレッジ、北伊奈ヶ湖水辺公園)				
	H27	H28	H29	H30	R元
管理費(千円)	14,492	14,392	-	-	-
利用者数(人)	49,676	45,588	-	45,657	49,375

(注)H28までの利用者数は、県民の森森林科学館が実施する「入園者入込調査」による。  
H29は集計データなし。H30以降は市が管理する施設利用者数から算出。

### (2) 武田の杜

所在地	甲府市山宮町片山3371外				
面積 ( ha )	2,500ha				
供用開始	昭和54年5月1日(当初開設 健康の森S48年) *H18より指定管理者導入				
主な施設	健康の森195ha(サービスセンター、森林学習展示館、展望休憩室、キャンプ場、デイキャンプ場、遊歩道、癒しの小径、林間広場、野鳥観察小屋、四阿、展望台、自由広場、岩石園、水飲み場、手洗い場、トイレ、駐車場等) 鳥獣センター1ha(第1展示館、第2展示館、野鳥園) 幹線遊歩道23.6km(休憩舎、水飲み場、トイレ)				
	H27	H28	H29	H30	R元
管理費(千円)	41,509	41,508	41,508	41,508	42,360
利用者数(人)	99,326	100,412	100,612	96,997	93,927

(注)利用者数は、健康の森、鳥獣センター、幹線遊歩道の合計値。武田の杜管理事務所が実施する「入園者入込調査」による。

### (3) 金川の森

所在地	笛吹市一宮町国分1162-1外				
面積 ( ha )	36ha				
供用開始	平成8年5月30日 *H18より指定管理者導入				
主な施設	どんぐりの森10.9ha(管理事務所、トイレ、遊具施設、経塚古墳、ターゲットバードゴルフ場(ミニコース)、森のせせらぎ、峯望池、バーベキュー場、サイクルステーション等) スポーツの森11.3ha(サイクルステーション、乗物広場、遊具施設、ターゲットバードゴルフ場、マウンテンバイクコース等) さくらの森2.7ha(さくら堤、花見台、トイレ等) ふれあいの森3.7ha(芝生広場、トイレ等) かぶと虫の森5.3ha(バードデッキ、遊具施設、野鳥のせせらぎ、ゲートボール場、トイレ、いさもの観察施設、空中観察施設等) こもれびの森2.3ha(ドッグラン、水飲み場等)				
	H27	H28	H29	H30	R元
管理費(千円)	69,942	69,840	69,737	69,737	73,603
利用者数(人)	322,850	304,600	275,050	265,050	266,812

(注)利用者数は、森林公園金川の森管理事務所が実施する「入園者入込調査」による。

## 58 森林文化の森

県有林を核とした豊かな森林と地域の歴史・文化、産業、風習などを関連づけ、山梨ならではの新しい森林文化を発信し、地域振興にも寄与するため、平成10年度に「森林文化の森」の整備計画を策定した。既にある3つの森林公園のほか、県内各地の12箇所の森を整備し、各種森林体験プログラムが実施されている。

### 「森林文化の森」

番号	箇所名	所在市町村	面積 (ha)	テーマ
①	釜無水源の森	北杜市白州町	400	豊かな溪流と山の幸に出会う森づくり
②	八ヶ岳の森	北杜市長坂町、大泉町、小淵沢町	2,300	鹿や蝶と共生し、星空を楽しむ森づくり
③	瑞牆の森	北杜市須玉町	1,600	瑞牆山とシラカバ林に人が集う森づくり
④	乙女高原の森	山梨市牧丘町	760	レンゲツツジと山野草とふれあう高原の森づくり
⑤	兜山の森	笛吹市春日居町	120	ヤマナシの森再生とふるさとの眺望を楽しむ森づくり
⑥	大菩薩の森	甲州市塩山	1,200	日川源流とブナ・モミ原生林に親しむ森づくり
⑦	小金沢シオジの森	大月市七保町	500	シオジの純林と富士のパノラマに出会える森づくり
⑧	稲山ケヤキの森	笛吹市八代町	120	ケヤキの巨木林に憩う森づくり
⑨	河口の森	富士河口湖町	340	富士の眺望と文学にふれあえる森づくり
⑩	十谷の森	富士川町	1,600	渓谷散策とヒノキの美林を体験する森づくり
⑪	本栖の森	身延町、富士河口湖町	700	本栖湖の悠久の自然と峠道文化をたどる森づくり
⑫	思親山の森	南部町	470	駿河湾の眺望と山の幸に出会う森づくり

### 「森林公園」

番号	箇所名	所在市町村	面積 (ha)	主な施設
①	県民の森	南アルプス市	953	森林科学館、森林科学館分室、遊歩道、休憩展望施設、菖蒲池園地等 *H29.4.1に南アルプス市に施設譲渡
②	武田の杜	甲府市	2,500	森林学習展示館、サービスセンター、遊歩道、自由広場、展望休憩舎、キャンプ場、ログキャビン等
③	金川の森	笛吹市	36	管理事務所、冒険遊び場、サイクルステーション、乗り物広場、ターゲットパードゴルフ場、芝生広場等

## 林地開発許可等の現況

## 59 林地開発許可状況

目的 年度	工場・事業場 用地の設置		住宅団地の造成		別荘地の造成		宿泊施設、レ ジャー施設の設置	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成27年度	7	30	0	0	0	0	0	0
平成28年度	4	9	0	0	0	0	0	0
平成29年度	6	41	0	0	0	0	0	0
平成30年度	6	15	0	0	0	0	0	0
令和元年度	3	20	0	0	0	0	0	0

※林地開発協議(連絡調整)は含まない

## 60 採石、山・陸砂利、土採取認可状況

単位 面積:m<sup>2</sup>、数量:m<sup>3</sup>

区分 年度	採石認可			山・陸砂利採取認可			土採取認可		
	件数	掘削面積	数量	件数	掘削面積	数量	件数	掘削面積	数量
平成27年度	3	74,043	1,768,591	1	6,813	35,218	2	10,986	15,636
平成28年度	8	599,570	10,473,778	2	19,696	82,115	1	4,597	8,381
平成29年度	2	34,687	274,519	3	12,455	63,108	1	4,708	8,299
平成30年度	2	6,664	49,927	2	8,219	44,594	1	4,708	8,299
令和元年度	6	255,652	5,326,339	2	10,959	54,899	1	4,708	8,299

面積の単位:ha

区分 年度	土石等の採掘		道路の新設又は改築		その他		計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成27年度	0	0	0	0	1	4	8	34
平成28年度	0	0	0	0	0	0	4	9
平成29年度	0	0	0	0	1	3	7	44
平成30年度	0	0	0	0	1	7	7	22
令和元年度	0	0	1	3	0	0	4	23

## 6 1 土砂の埋立て等許可等の状況

面積の単位:ha

区分 年度	許可		届出		計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成27年度	3	4.2	4	6.2	7	10.4
平成28年度	2	1.7	7	8.7	9	10.4
平成29年度	2	4.5	10	10.5	12	15.0
平成30年度	1	1.1	8	8.9	9	10.0
令和元年度	2	9.2	8	29.5	10	38.7

※届出は法令又は他の条例の規定による許可を受けたもの  
(条例第6条第5項)

## 6 2 ゴルフ場の現況

面積の単位:ha

区分	施設数	面積	ホール数	備考
ゴルフ場数	41	4,722	819	
設計確認済	1	94	18	
計	42	4,816	837	

# 恩賜県有財産

### 6 3 県有林の地籍移動

調査時点	面積
令和2年 3月31日	158,281ha

※不要存置含む

資料:「森林GIS集計表」

(附表)

#### 令和元年度地籍移動表

単位:ha

区分	契約年月日	面積	摘要
売払	R2.2.14	1.8844	富士山火山防災ステーション用地として、国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所長へ売却
計	1件	1.8844	



## 6 4 県有林以外の土地及び建物一覧表

単位: m<sup>2</sup>

名 称	所 在 地	土 地	建物等	備 考
南アルプス林道駐在所跡地	南アルプス市芦安芦倉字野呂川入東方		284.75	
葦崎(林)職員宿舍跡地	葦崎市水神二丁目5053-3	311.29		恩特買収
吉田(林)水源用地	南都留郡富士河口湖町船津字東横塚6076-2	844.00		恩特買収
林業技術センター跡地	南アルプス市上今諏訪字中河原850-1外	62,758.87		一般と交換
岩殿貯木場跡地	大月市賑岡町岩殿字子神森104-1外	8,554.00		恩特買収
神金石材事業所石材土場跡地	甲州市塩山赤尾字相之田453-1外	3,302.43		恩特買収
松里貯木場跡地	甲州市塩山小屋敷巳の起1866外	27,699.15		恩特買収
遅能戸林道先作業道	大月市賑岡町奥山字中村430-5,435-2	652.00		恩特寄附
高根営林区事務所跡地	北杜市高根町清里字念場原3545-1934,3545-1997	1,320.13		恩特買収
<b>計</b>		<b>105,441.87</b>	<b>284.75</b>	

\*R2.3.31現在「山林資産等の現在高」による

## 6 5 境界保全管理事業実績

所属	種別							
		27	28	29	30	1		
						委託	自力	計
中 北	巡視	106.68 km	72.97 km	86.58 km	190.84 km	172.29 km	0.00 km	172.29 km
	伐開	57.82	0.00	21.90	136.11	78.14	0.00	78.14
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	検測	1.13	1.18	0.32	5.95	0.00	0.00	0.00
	標柱	19 本	15 本	12 本	28 本	17 本	0 本	17 本
峡 東	巡視	55.48 km	69.01 km	64.82 km	64.51 km	65.95 km	0.00 km	65.95 km
	伐開	27.09	33.07	41.70	39.58	25.51	0.00	25.51
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	検測	0.00	0.00	0.00	1.13	2.34	0.00	2.34
	標柱	7 本	17 本	27 本	27 本	23 本	0 本	23 本
峡 南	巡視	63.29 km	82.92 km	74.21 km	82.62 km	70.83 km	0.00 km	70.83 km
	伐開	42.43	55.09	48.48	56.95	48.84	0.00	48.84
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	検測	0.33	0.88	0.33	0.45	0.30	0.00	0.30
	標柱	9 本	9 本	0 本	13 本	14 本	0 本	14 本
富士・東部	巡視	177.78 km	207.14 km	160.52 km	170.77 km	193.47 km	0.00 km	193.47 km
	伐開	54.09	61.65	48.48	49.56	63.99	0.00	63.99
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	検測	0.00	0.00	17.33	1.70	0.00	0.00	0.00
	標柱	0 本	0 本	56 本	55 本	20 本	0 本	20 本
合 計	巡視	403.23 km	432.04 km	386.13 km	508.74 km	502.55 km	0.00 km	502.55 km
	伐開	181.43	149.81	160.56	282.20	216.48	0.00	216.48
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	検測	1.46	2.06	17.98	9.23	2.64	0.00	2.64
	標柱	35 本	41 本	95 本	123 本	74 本	0 本	74 本

(注) 境界保全管理事業は、昭和63年度から実施。

林

政

## 6 6 林政関係予算及び決算

### (1) 一般会計

歳 出

単位:円

年 度	予 算 額	決 算 額	差 引 額
平成27年度	( 2,346,111,016 ) 14,219,610,016	( 2,334,884,438 ) 11,798,574,637	( 1,579,909,040 ) 2,421,035,379
平成28年度	( 1,579,909,040 ) 19,235,967,040	( 1,532,664,074 ) 17,313,097,861	( 1,195,874,534 ) 1,922,869,179
平成29年度	( 1,195,874,534 ) 15,117,250,534	( 1,195,341,997 ) 10,072,164,218	( 4,559,291,100 ) 5,045,086,316
平成30年度	( 4,559,291,100 ) 16,847,664,100	( 4,553,731,368 ) 13,544,454,651	( 2,787,328,524 ) 3,303,209,449
令和元年度	( 2,787,328,524 ) 16,490,463,524	( 2,766,238,978 ) 12,107,922,090	( 3,845,301,911 ) 4,382,541,434

令和元年度内訳

単位:円

科目 (款)(項)(目)	予 算 額	決 算 額	差 引 額
農林水産業費	( 2,724,079,524 ) 15,435,910,524	( 2,706,047,978 ) 11,779,649,605	( 3,308,463,911 ) 3,656,260,919
林業費	( 2,724,079,524 ) 15,435,910,524	( 2,706,047,978 ) 11,779,649,605	( 3,308,463,911 ) 3,656,260,919
林業総務費	( 0 ) 1,738,197,872	( 0 ) 1,694,073,485	( 11,940,000 ) 44,124,387
緑のふるさと推進事業費	( 0 ) 335,608,100	( 0 ) 304,193,804	( 28,384,125 ) 31,414,296
林業振興指導費	( 0 ) 631,905,928	( 0 ) 526,035,795	( 45,653,000 ) 105,870,133
造林費	( 223,333,610 ) 1,279,129,610	( 219,205,064 ) 819,973,154	( 454,988,386 ) 459,156,456
林道費	( 520,765,160 ) 3,114,923,160	( 506,862,160 ) 2,117,421,157	( 997,438,000 ) 997,502,003
治山費	( 1,979,980,754 ) 8,013,076,754	( 1,979,980,754 ) 6,021,177,175	( 1,770,060,400 ) 1,991,899,579
鳥獣管理費	( 0 ) 229,585,000	( 0 ) 212,721,671	( 0 ) 16,863,329
林業試験費	( 0 ) 93,484,100	( 0 ) 84,053,364	( 0 ) 9,430,736
災害復旧費	( 63,249,000 ) 1,054,503,000	( 60,191,000 ) 328,260,000	( 536,838,000 ) 726,243,000
農林水産施設災害復旧費	( 63,249,000 ) 1,054,503,000	( 60,191,000 ) 328,260,000	( 536,838,000 ) 726,243,000
林道災害復旧費	( 63,249,000 ) 954,503,000	( 60,191,000 ) 309,938,000	( 507,682,000 ) 644,565,000
治山施設災害復旧費	( 0 ) 100,000,000	( 0 ) 18,322,000	( 29,156,000 ) 81,678,000
諸支出金	( 0 ) 50,000	( 0 ) 12,485	( 0 ) 37,515
自然保護基金積立金	( 0 ) 50,000	( 0 ) 12,485	( 0 ) 37,515
自然保護基金積立金	( 0 ) 50,000	( 0 ) 12,485	( 0 ) 37,515
<b>計</b>	( 2,787,328,524 ) 16,490,463,524	( 2,766,238,978 ) 12,107,922,090	( 3,845,301,911 ) 4,382,541,434

注:( )は繰越額で内数であり、予算額及び決算額は前年度からの、差引額は翌年度への繰越額をいう。

## (2) 林業改善資金特別会計

### 歳 入

単位:円

年 度	予算額	決算額	差引額
平成27年度	104,768,000	167,441,641	62,673,641
平成28年度	84,025,000	154,095,279	70,070,279
平成29年度	83,997,000	167,023,961	83,026,961
平成30年度	83,969,000	136,076,795	52,107,795
令和元年度	83,997,000	124,437,052	40,440,052

#### 令和元年度内訳

科 目	予算額	決算額	差引額
国庫支出金	0	0	0
繰 入 金	1,453,000	488,572	△ 964,428
繰 越 金	57,406,000	99,229,300	41,823,300
諸 収 入	25,138,000	24,719,180	△ 418,820
県 債	0	0	0
計	83,997,000	124,437,052	40,440,052

### 歳 出

単位:円

年 度	予算額	決算額	差引額
平成27年度	104,768,000	44,598,560	60,169,440
平成28年度	84,025,000	15,759,828	68,265,172
平成29年度	83,997,000	60,338,961	23,658,039
平成30年度	83,969,000	36,847,495	47,121,505
令和元年度	83,997,000	34,199,052	49,797,948

#### 令和元年度内訳

科 目	予算額	決算額	差引額
林業・木材産業改善資金貸付金	72,495,000	22,697,782	49,797,218
資金貸付金	71,000,000	22,200,000	48,800,000
資金運営費	1,495,000	497,782	997,218
木材産業等高度化推進資金貸付金	11,502,000	11,501,270	730
資金貸付金	11,502,000	11,501,270	730
資金運営費	0	0	0
林業就業促進資金貸付金	0	0	0
資金貸付金	0	0	0
資金運営費	0	0	0
計	83,997,000	34,199,052	49,797,948

## (3) 恩賜県有財産特別会計

## 歳 入

単位:円

年 度	予 算 額	決 算 額	差 引 額
平成27年度	6,890,323,000	10,086,227,794	3,195,904,794
平成28年度	7,822,979,880	10,101,614,571	2,278,634,691
平成29年度	7,384,467,000	10,112,290,353	2,727,823,353
平成30年度	8,333,640,500	9,952,105,078	1,618,464,578
令和元年度	8,439,650,000	9,844,571,079	1,404,921,079

令和元年度内訳

単位:円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
<b>分担金及び負担金</b>	5,000,000	4,923,200	△ 76,800
造林費負担金	5,000,000	4,923,200	△ 76,800
<b>使用料及び手数料</b>	1,966,705,000	1,973,196,776	6,491,776
行政財産使用料	1,966,705,000	1,973,196,776	6,491,776
<b>県 支 出 金</b>	2,030,850,000	1,514,105,455	△ 516,744,545
管理費県補助金	1,516,000	1,256,247	△ 259,753
事業費県補助金	2,029,334,000	1,512,849,208	△ 516,484,792
公共事業特例法 精算費県補助金	0	0	0
<b>財 産 収 入</b>	2,720,903,000	2,645,321,235	△ 75,581,765
財産貸付収入	2,309,559,000	2,298,938,018	△ 10,620,982
利子及び配当金	2,643,000	2,930,985	287,985
生産物売払収入	328,679,000	262,425,010	△ 66,253,990
不動産売払収入	80,020,000	81,027,222	1,007,222
物品売払収入	1,000	0	△ 1,000
有価証券等売払収入	1,000	0	△ 1,000

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
<b>寄 附 金</b>	7,001,000	4,000,000	△ 3,001,000
一般寄附金	7,001,000	4,000,000	△ 3,001,000
<b>繰 越 金</b>	418,826,000	2,578,266,330	2,159,440,330
繰越金	418,826,000	2,578,266,330	2,159,440,330
<b>諸 収 入</b>	3,528,000	43,921,083	40,393,083
受託事業収入	560,000	560,000	0
延滞金、加算金及び過料	1,000	0	△ 1,000
補償金	1,000	2,674,794	2,673,794
弁償金	1,000	515,150	514,150
違約金及び延納利息	1,000	540,957	539,957
雑入	2,964,000	39,630,182	36,666,182
<b>県 債</b>	1,286,837,000	1,080,837,000	△ 206,000,000
造林債	0	0	0
林道債	750,000,000	583,000,000	△ 167,000,000
林道災害復旧債	50,000,000	11,000,000	△ 39,000,000
借換債	486,837,000	486,837,000	0
<b>繰 入 金</b>	0	0	0
県有林基金繰入金	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0
<b>計</b>	<b>8,439,650,000</b>	<b>9,844,571,079</b>	<b>1,404,921,079</b>

歳 出

単位:円

年 度	予 算 額	決 算 額	差 引 額
平成27年度	( 1,084,897,790 ) 7,975,220,790	( 1,081,802,670 ) 6,913,335,116	( 767,248,880 ) 1,061,885,674
平成28年度	( 767,248,880 ) 7,822,979,880	( 707,379,120 ) 6,897,741,704	( 635,520,182 ) 925,238,176
平成29年度	( 635,520,182 ) 8,019,987,182	( 635,115,000 ) 7,233,078,671	( 577,845,080 ) 786,908,511
平成30年度	( 577,845,080 ) 8,400,777,080	( 570,552,311 ) 7,373,838,748	( 840,503,080 ) 1,026,938,332
令和元年度	( 840,503,080 ) 9,280,153,080	( 802,414,869 ) 7,582,811,551	( 1,420,332,352 ) 1,697,341,529

令和元年度内訳

単位:円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
<b>管理費</b>	( 48,172,000 )	( 48,168,000 )	( 39,725,312 )
総務費	999,570,000	909,433,173	90,136,827
[職員給与費等]	( 0 )	( 0 )	( 0 )
[管理指導費]	629,699,793	600,928,914	28,770,879
[労務対策費]	599,806,818	578,231,289	21,575,529
[管理指導費]	28,226,975	21,498,975	6,728,000
[労務対策費]	1,666,000	1,198,650	467,350
保護管理費	( 48,172,000 )	( 48,168,000 )	( 39,725,312 )
[森林保護費]	369,870,207	308,504,259	61,365,948
[県有林基金積立金]	11,594,000	8,327,728	3,266,272
[境界管理費]	82,658,000	82,656,273	1,727
[財産管理費]	31,820,000	31,342,170	477,830
[清里の森管理費]	( 0 )	( 0 )	( 5,610,000 )
[清里の森再整備事業費]	33,958,592	25,650,037	8,308,555
[分収林管理費]	( 0 )	( 0 )	( 1,146,200 )
[調査処分費]	7,935,615	3,837,068	4,098,547
[造林費]	( 48,172,000 )	( 48,168,000 )	( 32,969,112 )
[調査処分費]	145,324,000	108,473,728	36,850,272
[造林費]	56,580,000	48,217,255	8,362,745
<b>事業費</b>	( 792,331,080 )	( 754,246,869 )	( 1,380,607,040 )
計画調査費	4,735,061,080	3,172,470,956	1,562,590,124
[県有林管理計画編成費]	( 42,797,715 )	( 37,064,880 )	( 12,396,054 )
[調査処分費]	191,726,715	159,804,905	31,921,810
[造林費]	( 0 )	( 0 )	( 0 )
[調査処分費]	3,739,000	2,943,340	795,660
[造林費]	( 42,797,715 )	( 37,064,880 )	( 12,396,054 )
[調査処分費]	187,987,715	156,861,565	31,126,150
[造林費]	( 144,189,765 )	( 139,187,889 )	( 149,686,286 )
[造林費]	862,140,765	704,849,555	157,291,210



科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
[県造林費]	( 28,876,285 ) 710,071,285	( 26,026,504 ) 564,831,550	( 140,186,286 ) 145,239,735
[森林整備支援事業費]	5,000,000	4,923,200	76,800
[県造林費(合板・製材・ 集成材)]	( 112,380,000 ) 112,380,000	( 110,269,145 ) 110,269,145	( 0 ) 2,110,855
[分収林造林費]	( 2,933,480 ) 34,689,480	( 2,892,240 ) 24,825,660	( 9,500,000 ) 9,863,820
林 道 費	( 553,221,600 ) 3,103,281,600	( 529,041,500 ) 2,105,034,853	( 949,451,300 ) 998,246,747
[県営林道改良費]	( 0 ) 666,618,000	( 0 ) 255,475,800	( 411,142,200 ) 411,142,200
[県営林道維持修繕費]	( ) 631,776,000	( ) 571,040,553	( 11,940,000 ) 60,735,447
[県営森林管理道 開設費]	( 339,712,520 ) 1,061,855,520	( 339,712,520 ) 794,193,020	( 267,662,500 ) 267,662,500
[県営森林居住環境 整備事業費]	( 213,509,080 ) 743,032,080	( 189,328,980 ) 484,325,480	( 258,706,600 ) 258,706,600
林道災害復旧費	( 52,122,000 ) 577,058,000	( 48,952,600 ) 202,107,600	( 269,073,400 ) 374,950,400
[平成30年 林道災害復旧費]	( 52,122,000 ) 112,518,000	( 48,952,600 ) 106,352,600	( 3,169,400 ) 6,165,400
[令和元年 林道災害復旧費]	( 0 ) 464,540,000	( 0 ) 95,755,000	( 265,904,000 ) 368,785,000
県有林野開発費	854,000	674,043	179,957
[スバルライン沿線管理費]	560,000	560,000	0
[県有林総合利用調査費]	294,000	114,043	179,957
<b>交 付 金</b>	2,056,329,000	2,026,547,325	29,781,675
交 付 金	2,056,329,000	2,026,547,325	29,781,675
<b>公 債 費</b>	1,178,193,000	1,164,360,097	13,832,903
元利償還金	1,178,193,000	1,164,360,097	13,832,903
<b>繰 出 金</b>	310,000,000	310,000,000	0
一般会計繰出金	310,000,000	310,000,000	0
<b>予 備 費</b>	1,000,000	0	1,000,000
予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
<b>計</b>	( 840,503,080 ) <b>9,280,153,080</b>	( 802,414,869 ) <b>7,582,811,551</b>	( 1,420,332,352 ) <b>1,697,341,529</b>

注:( )は繰越額で内数であり、予算額及び決算額は前年度からの、差引額は翌年度への繰越額をいう。  
[ ]は事業名を示す。

## 6 7 恩賜林の交付金交付状況

単位 面積:ha、金額:円

区分 年度	保護団体				保護面積	交付金				
	総数	内訳				総額	内訳			
		市町村	保護組合	財産区			事業割交付金	面積割交付金	その他交付金	
平成27年度	160	6	43	111	122,195.5	2,003,353,728	1,428,075	2,153,301	1,999,772,352	
平成28年度	160	6	43	111	122,195.5	2,024,894,867	1,832,296	1,428,075	2,021,634,496	
平成29年度	160	6	43	111	122,339.9	2,026,832,197	1,600,542	1,832,296	2,023,399,359	
平成30年度	160	6	43	111	122,452.8	2,042,423,779	1,196,562	1,600,542	2,039,626,675	
令和元年度	160	6	43	111	122,557.8	2,026,742,876	1,444,096	1,196,562	2,024,102,218	
所属別内訳	中北	77	1	18	58	44,508.1	116,374,577	552,507	403,834	115,418,236
	峡東	26	0	11	15	19,513.5	5,328,936	164,426	226,115	4,938,395
	峡南	26	0	6	20	23,331.6	7,362,137	79,458	216,371	7,066,308
	富士・東部	32	5	9	18	35,204.6	1,897,677,226	647,705	350,242	1,896,679,279

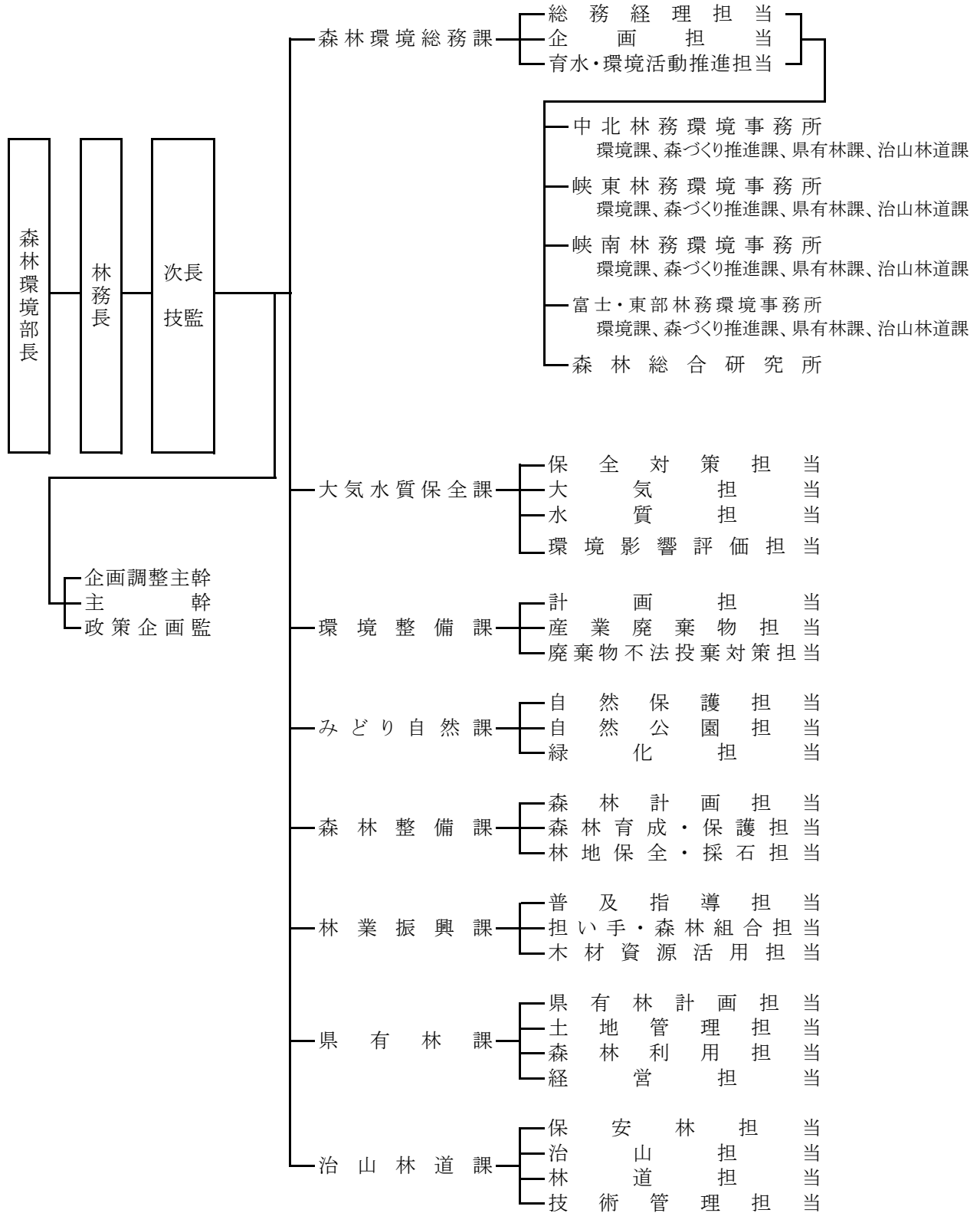
※ 保護組合数については、甲府市(上帯那町)と山梨市(牧丘町)で構成される北奥仙丈外二山恩賜県有財産保護組合を中北・峡東の両所属で計上。

その他交付金の内訳

部分林分収交付金	32,555,777
土地利用条例交付金	73,889,530
県有資産所在市町村交付金	121,236,400
演習場交付金	1,796,420,511
<b>計</b>	<b>2,024,102,218</b>

## 6 8 森林環境行政組織図（平成31年4月1日）

### 【森林環境部】



## 69 森林環境行政職員数

平成31年4月1日現在 単位：人

区 分	総 数	事務吏員	技術吏員	その他	非常勤嘱託	臨時職員
<b>総 数</b>	<b>413</b>	<b>87</b>	<b>261</b>	<b>2</b>	<b>45</b>	<b>17</b>
本庁総数	145	60	78	0	4	2
部 長	1	1				
林 務 長	1		1			
次 長	2	2				
技 監	2		2			
企画調整主幹	1	1				
主 幹	5	2	3			
政策企画監	1	1				
森林環境総務課	22	16	4			2
大気水質保全課	15	4	11			
環境整備課	21	12	7		2	
みどり自然課	15	10	4		1	
森林整備課	14	3	9		2	
林業振興課	13	3	10			
県有林課	16	3	13			
治山林道課	16	2	14			
出先総数	268	27	183	2	41	15
中北林務環境事務所	70	7	51		10	2
峡東林務環境事務所	50	5	35		7	3
峡南林務環境事務所	50	6	36		5	3
富士・東部林務環境事務所	66	6	49		6	5
森林総合研究所	32	3	12	2	13	2

総務経理担当(総務L)が管理する業務資料「所属別・職種別職員数」より作成

- ・事務吏員：行政事務、再任用(常勤)
- ・技術吏員：林業職、土木一括、総合土木、土木、農業土木、農業技術、化学、薬剤師などの技術職と研究職、再任用(常勤)
- ・その他：森林総研の技能員(H26版(H250401現在)までは、旧環境科学研究所の教員2名を含む)
- ・非常勤：非常勤嘱託、再任用(短時間)、森林総研の客員研究員

- ※育休取得中の職員を含む。臨時職員に欠員補充(退職者補充代替)を含むが、育休代替・傷病代替は含まない
- ※交流等による他部局からの職員数を含み、交流等による他部局への職員数は含まない(ただし、福島県への災害派遣は、在席所属に含む)
- ※公益法人(林業公社、緑化推進機構、環整事業団)への派遣職員を在席所属に含む)
- ※事務取扱、兼務による重複カウントは行っていない。
- ※併任の公安職(森林環境総務課、環境整備課)は含まない。

林 業 公 社  
(H 2 8 年 度 廃 止)

## 70 造林実行面積

単位：h a

樹種 年度	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	計
平成26年度 までの累計	1,219	5,455	1,255	377	8,306
平成27年度	—	—	—	—	0
平成28年度	—	—	—	—	0
平成29年度	—	—	—	—	0
平成30年度	—	—	—	—	0
令和元年度	—	—	—	—	0

## 71 保育事業実績

単位：h a、m

区分 年度	下刈	つる切	除伐	獣害防除	枝打	間伐	その他	作業道開設
平成26年度 までの累計	73,390	10,885	12,483	4,237	8,698	8,239	9,929	8,850
平成27年度	0	0	0	63	0	128	0	531
平成28年度	0	0	0	6	7	31	0	0
平成29年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成30年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度	0	0	0	0	0	0	0	0

注)その他:倒木起、クズ枯殺等

そ の 他

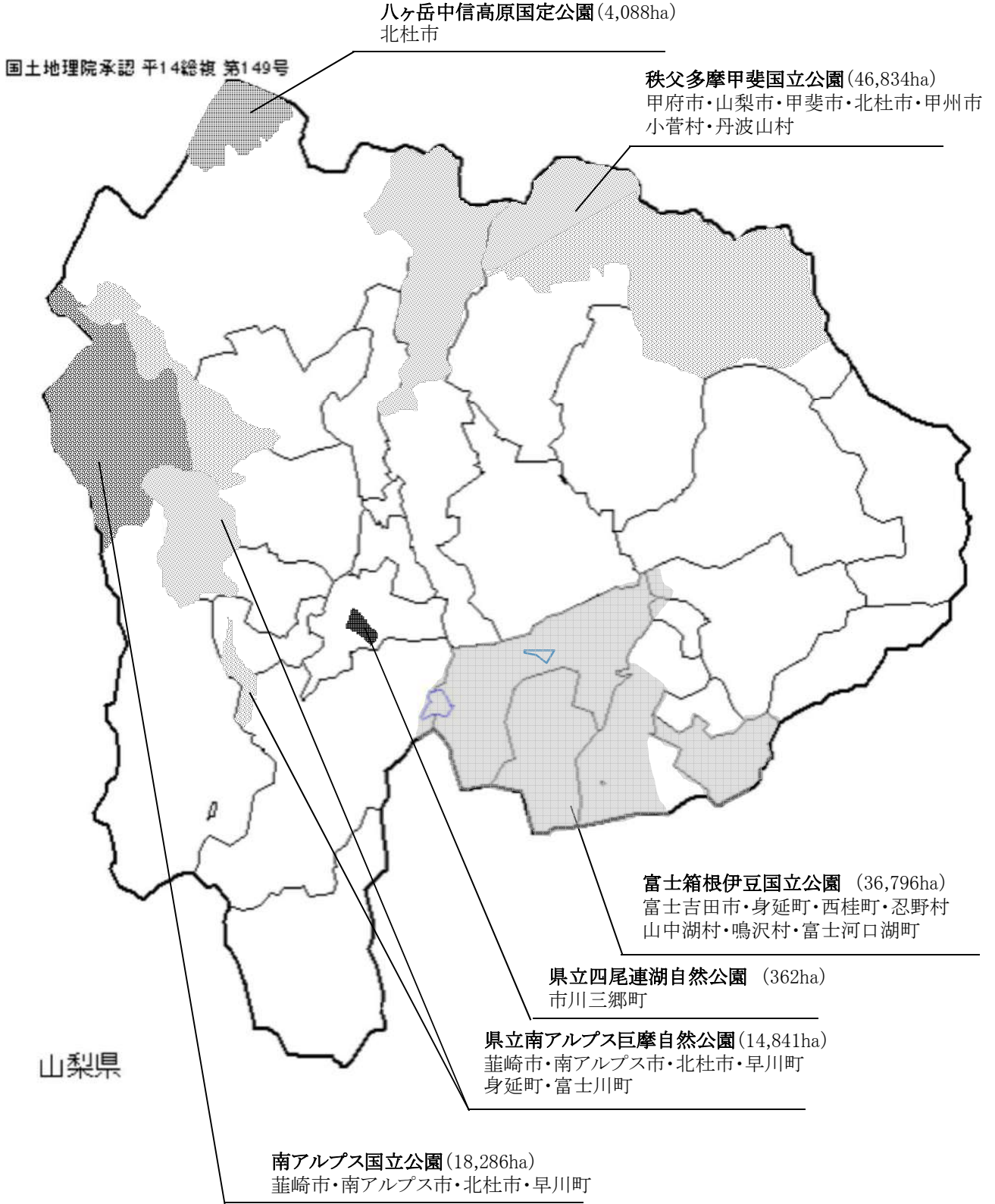
## 72 自然公園

公園名	関係市町村 (都、県)	指定年月日 追 加 山梨県分のみ	公 園 全面積 (ha)	特 徴
富士箱根伊豆 国立公園	<p style="text-align: center;">〔 東 京 都 神 奈 川 県 山 梨 県 静 岡 県 〕</p> <p>富士吉田市 南巨摩郡 身延町 南都留郡 西桂町 忍野村 山中湖村 鳴沢村 富士河口湖町</p>	<p>昭和11年2月1日 昭和50年2月21日 北富士地域追加 平成3年7月20日 乗り入れ規制地域 の指定(北麓地域)</p> <p>平成8年7月16日 変 更</p> <p>平成18年3月22日 変 更</p> <p>乗り入れ規制地域 の指定(本栖湖水面)</p> <p>平成30年3月27日 変 更</p> <p>小富士東側追加 乗り入れ規制地域 の指定(西湖水面・ 小富士東側)</p>	121,749	<p>富士山は、海拔高3,776mの狐峰の壮大さと単式コニーデの典型的なもので、その裾野には明媚な五湖をたたえ、北方には、三ツ峠、御坂山地、パノラマ台などの好展望地を備え、富士山の山腹を被う植生には顕著な垂直分布が観測され、北西部の青木ヶ原樹海、山中のハリモミ純林、つつじが原のレンゲツツジの群落、富士カラ松などが特徴のある植生を示している。また、山腹には、随所に火山現象による樹型溶岩、溶岩風穴など学術的にも貴重な資料が多い。</p>
秩父多摩甲斐 国立公園	<p style="text-align: center;">〔 埼 玉 県 東 京 都 山 梨 県 長 野 県 〕</p> <p>甲府市 山梨市 北杜市 甲斐市 甲州市 北都留郡 小菅村 丹波山村</p>	<p>昭和25年7月10日 平成12年8月10日 変更と同時に秩父 多摩甲斐国立公園 に名称変更</p>	126,259	<p>この公園は、北奥千丈岳2,601mを最高峰とし、標高2,000mを超える山々が10座以上におよぶ奥秩父連峰がほぼ東西に屏風状に並び、甲武信岳(2,475m)で三方に分水して、笛吹川、荒川、千曲川となり、それぞれ、駿河湾、東京湾、日本海に注ぐ水源地帯である。この地域は、構造山地特有の古生層と相まって、すばらしいV字型渓谷をつくり、壮年期の地ぼうを呈し、花崗岩からなる金峰山、瑞牆山、昇仙峡などの奇勝が特異なランドマークを形成し、傑出した景観を備えている。また、山地を被う森林植生は暖帯林から亜寒帯林の垂直分布が観測でき、貴重な高山植物や野生動物の生息地としても適した地域である。</p>
南アルプス 国立公園	<p style="text-align: center;">〔 山 梨 県 長 野 県 静 岡 県 〕</p> <p>韮崎市 南アルプス市 北杜市 南巨摩郡 早川町</p>	昭和39年6月1日	35,752 (35,751)	<p>本地域は、富士山に次ぐ第2の高峰北岳(3,193m)をはじめとする、3,000m級の高峰を有する赤石山地、駒ヶ岳、鳳凰三山により構成されており、垂直的地殻隆起の壮大雄偉な重量感ある山々と、山稜・山腹には高山植物群落、原生林があり、原始的景観がよく保たれている。また、間ノ岳、北岳、大樺沢、白根御池付近には氷河地形がある。</p>



公園名	関係市町村 (都、県)	指定年月日 〔追加 山梨県分のみ〕	公園 全面積 (ha)	特徴
八ヶ岳中信高原 国定公園	〔山梨県 長野県〕 北杜市	昭和39年6月1日	39,857	八ヶ岳は、最高峰の赤岳で標高2,899mにおよび、日本列島を地質学上東西に二分する大地溝帯に沿って噴出した、南北25km標高2,000mを超える一連の見事な火山列を形成し、この火山列の頂部は並走する断層群によって地形が複雑化し、さらに著しい浸食作用により荒々しく削り出され、きわめて変化に富んでいる。また、山壁からは千尋の渓谷が流下し、中腹以下は優美な裾野が展開して、山岳と森林が形成する自然景観が特徴である。
県立四尾連湖 自然公園	西八代郡 市川三郷町	昭和34年4月2日	362	本地帯は、山上湖として有名な四尾連湖を中心として、これをとりまく大畠山、蛾ヶ岳の諸峰と山麓にわたる地域である。四尾連湖は、周囲1.2kmの小湖であるが、山上にあって静かなたたずまいである。蛾ヶ岳はこの地域で最も高く、富士山、南アルプス、秩父の各連峰の展望地として格好の位置にある。
県立南アルプス 巨摩自然公園	韮崎市 南アルプス市 北杜市 南巨摩郡 早川町 身延町 富士川町	昭和41年4月1日	14,841	本地域は、南アルプス国立公園の前衛一帯からなり、御所山、燕頭山・千頭星山・大崖頭山・櫛形山・富士見山と連続している巨摩山地で、赤石山地との境は一大断層線に相当していて、断層の裂け目に沿って西山温泉をはじめとする温泉や鉱泉に恵まれている。巨摩山地には小規模ながら準平原が残存するほか、白鳳渓谷、湯川不動庵などの渓谷美に恵まれた山岳景勝地である。また、亜高山植物の群落、天然記念物のカモンカあるいは野猿、鳥類の生息地である。

面積（山梨県分）				備 考 (関係都県公園面積)
(公園名)				
総数 (ha)	国有地 (ha)	公有地 (ha)	私有地 (ha)	
〔富士箱根伊豆 国立公園〕 36,796	2,167	22,325	12,304	東京都 27,499 神奈川県 10,356 静岡県 46,693 合計 121,344  ※静岡県との境界未定 405
〔秩父多摩甲斐 国立公園〕 46,834	197	35,403	11,234	埼玉県 34,411 東京都 35,298 長野県 9,716 合計 126,259
〔南アルプス 国立公園〕 18,286	—	(17,692)	593	長野県 14,079 静岡県 3,387 合計 35,752  ※公園計画の再検討が終了して いないため、県別合計と公園面 積は一致しない。 ( )内は県の再測定値による。
〔八ヶ岳中信高原 国定公園〕 4,088	—	4,088	—	長野県 35,769 合計 39,857
〔県立四尾連湖 自然公園〕 362	—	60	302	
〔県立南アルプス 巨摩自然公園〕 14,841	—	11,740	3,101	



(令和2年3月)

## 73 名勝および天然記念物

### (1)文化財保護法による指定

名称	地域	指定年月日	解説
<b>名勝</b>			
特別名勝富士山	富士吉田市外4町村	昭27. 11. 22	日本最高の高さとして火山活動によって生まれた円錐形の山容は筆舌しがたい美しさがある。
特別名勝御岳昇仙峡	甲府市、甲斐市	昭28. 3. 31	荒川上流に展開する奇石怪石と青松のコントラストは絶景である。
猿橋	大月市	昭7. 3. 25 昭55. 2. 19(追加指定)	卓抜な構架は日本三奇橋の一つとして有名である。
恵林寺庭園	甲州市	昭19. 6. 26	心字池を中心とした築山、滝、洞穴などの岩石を多用した石組みは、剛健な趣がある。山号の乾徳山を垣間見ることが出来る。
向嶽寺庭園	甲州市	平6. 6. 6	本堂の裏、塩山の斜面に石組みを配し、滝を落とし、龍池には東から西に水を通した池泉鑑賞式庭園。
富士五湖	身延町、山中湖村、富士河口湖町	平23. 9. 21	山中湖・河口湖・西湖・精進湖・本栖湖からなり、富士山信仰とも関わりがあり、浮世絵「甲州三坂水面」等に代表される富士山と湖の一体感のある多くの芸術作品の題材となっている。
<b>天然記念物</b>			
特別天然記念物ライチョウ	地域を定めず	昭30. 2. 15	キジ目、キジ科、ライチョウ属で、氷河期の大陸と陸続の時に、生息域を拡大したが、その後高山帯にとりのこされた。
特別天然記念物カモシカ	地域を定めず	昭30. 2. 15	名前からはシカの仲間のようなだが、偶蹄目、ウシ科、カモシカ属である。北海道、沖縄を除く日本全土の低山地から高山帯にかけて分布している。
特別天然記念物鳴沢熔岩樹型	鳴沢村	昭27. 3. 29	溶岩樹型とは、溶岩が森林地を流れる時、樹木を包囲し、樹木は燃え尽きて樹幹の形となった堅穴あるいは横穴のことである。
富士山原始林及び青木ヶ原樹海	鳴沢村・富士河口湖町	大15. 2. 24 平22. 3. 8(追加指定・名称変更)	富士北麓青木ヶ原樹海から5合目に向かって一大原始林が続いている。この原始林は富士山の熔岩流の量により、森林の様相も異なっており、学術上からもまた植物垂直分布を見る上からも重要であり、また景観のうえからも価値が高い。
燕岩岩脈	甲府市	昭9. 12. 28	柱状節理の代標的岩脈。
躑躅原レンゲツツジおよびフジザクラ群落	富士吉田市	昭3. 3. 3	レンゲツツジは背が低く、多数の枝を出して株立ちとなり大きな花をつける。フジザクラの正名はマメザクラで、サクラとしては低木である。県花となっている。
山ノ神のフジ	富士吉田市	昭3. 1. 31	樹種はマメ科のフジ2株からなっていて、甲樹は幹囲2.40m、乙樹は2.20m。
吉田胎内樹型	富士吉田市	昭4. 12. 17	剣丸尾熔岩流の東縁にあり、1本の横臥樹型と3本の井型樹型、小円筒型横臥樹型からなる全長61mの熔岩樹型。
雁ノ穴	富士吉田市	昭7. 10. 19	雁ノ穴丸尾にあり、崩れ穴(全長57m)、流れ穴(全長150m)の2つの熔岩洞穴と16個の熔岩樹型からなる。
三恵の大ケヤキ	南アルプス市	昭3. 11. 30	指定当時日本一の巨樹ともいわれ目通り幹囲14.35m、高さ20m、幹の中心部が朽ちて2本に別れたような形になっている。
古長禅寺のビャクシン	南アルプス市	昭29. 6. 21	約650年前の開山当時前庭の四隅に夢窓疎石によって植えられたと伝える古木、4本のうち最大のものは株立ちとなっている。北西の木で根回り6.95m、高さ約16mである。
山高神代ザクラ	北杜市	大11. 10. 12	樹種はシロヒガンで開花期は4月20日ころである。伝説によれば日本武尊のお手植えて、樹勢が衰えを憂慮した日蓮上人が念じたところ、不思議にも快復したといわれる。
美森の大ヤマツツジ	北杜市	昭10. 6. 7	ツツジ類は高木樹などが失われた場所に2次的に生えるもので、この付近山ツツジは赤色、赤紫色の花をつけるものが多く、指定樹は赤色である。群落をなす。
根古屋神社の大ケヤキ	北杜市	昭33. 5. 15	根古屋神社の拝殿前にある巨木に向かって左を田木、右を畑木と称して、芽吹きで豊作を占ったという。田木幹囲13.19m、畑木幹囲12.23mである。
上野原の大ケヤキ	上野原市	昭19. 11. 13	もと御岳神社の境内にあったもので、神社移転後、埋め立てて校庭となった。基部の約3mは盛土の中であるが、幹囲8.64m、高さ28mの巨木である。

名称	地域	指定年月日	解説
新倉の糸魚川―静岡構造線	早川町	平13. 8. 13	本州を東西に分かつ構造線である糸魚川静岡地質構造線の中で最大規模の断層路頭であり、フォッサ・マグナ構造発達史研究上極めて貴重な路頭。
本国寺のおハツキイチョウ	身延町	昭 4. 4. 2	雌株で、葉の上に種子を結ぶ。幹囲5.30m、高さ29.0m。日蓮上人お手植えの伝説がある。
上沢寺のおハツキイチョウ	身延町	昭 4. 4. 2	雌株で、葉の上に実をつける珍しい種であることが白井博士により紹介された逆さイチョウ、毒消しイチョウの名で親しまれている伝説の木である。平成30年10月の台風24号の強風により倒伏し、現在は斜めの状態となっており、支柱で支えている。
身延町ブッポウソウ繁殖地	身延町	昭12. 12. 21	ブッポウソウは、仏法僧目、仏法僧科、仏法僧属に入り、一科一属である。東南アジアやインド等に分布し、5月ころ日本には飛来する。ハトよりやや大きく、頭部は黒、嘴と足が赤、他は青紫色である。本県唯一の生息地。
八木沢のおハツキイチョウ	身延町	昭15. 7. 12	雄株で、葉の上に雄花がつくものである。おハツキイチョウの雄株は県下では2本しか見つかっていない。目通り幹囲約2.8m、高さ25mである。
忍野八海	忍野村	昭 9. 5. 1 平24. 9. 19 (追加指定・一部指定解除)	出口池、お釜池、底抜池、銚子池、湧池、濁池、鏡池、菖蒲池の八湧水からなる。このほかにも小湧水はあるが、仏教思想に基づき八海とした。
山中のハリモミ純林	山中湖村	昭38. 1. 18	鷹丸尾という熔岩流の上(72.34ha)に発達したハリモミの純林である。世界的に有名。近年植生の変化が見られる。
鳴沢氷穴	鳴沢村	昭 4. 12. 17	長さ約81.6mの熔岩洞穴で、2つの広間を持ち、天井には熔岩鐘乳石面が保存され、トンネルに並行して熔岩樹型が見られる。また富士山の覆流水が氷った氷塊があるので、名称のもととなった。
神座風穴 附 蒲鉾穴及び眼鏡穴	鳴沢村	昭 4. 12. 17	総延長約440mの規模の大きな風穴で、風穴内の空気は外温とほとんど変わらず、氷がない。蒲鉾穴は28mの長さで、ガスが表層を走った表層洞穴、眼鏡穴は円形のガス噴気孔とガスによって形成されたものである。
大室洞穴	鳴沢村	昭 4. 12. 17	大室山の北麓にあり、標高1190mである。現在入り口部が塞がれ入洞することができない。
精進の大スギ	富士河口湖町	昭 3. 1. 31	諏訪神社社殿南側にあり、目通り幹囲10m、樹高40mの巨木。
富士風穴	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	総延長230m、幅5～10m、高さ5m前後で、多量の氷を有している。
富岳風穴	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	総延長258.7m、熔岩棚がよく発達しているほか、熔岩鐘乳石は落下しており、洞穴形成後あとから流入した熔岩が縄状熔岩を形成している。
本栖風穴	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	長さ約494mで、洞穴中央部に2つのガス噴気孔と一部に熔岩葡萄状鐘乳石が発達している。
龍宮洞穴	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	標高940m、長さ約60mで、洞穴入り口付近に南北性の熔岩溝が発達する。崩壊が激しい危険な洞穴である。
船津胎内樹型	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	複雑に雑交叉した溶岩樹型で、特に広場と呼ばれる部分の熔岩は肋骨状をなし、鉄分のため赤味を帯びる。
西湖蝙蝠穴及びコウモリ	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	標高925mで洞穴の総延長が約350mにも及ぶ。熔岩鐘乳石面、縄状熔岩床が発達している。夏季でも冷気を覚えず、冬季も比較的温暖であることから、コウモリの冬眠場所となった。
甲斐犬	地域を定めず	昭 9. 1. 22	体高32～51cm、体重12～24kg、耳はやや長く、四肢は強健で飛節が発達し、尾は差尾または巻尾、毛は虎模様で粗剛である。
ヤマネ	地域を定めず	昭50. 6. 26	ネズミ目ヤマネ科の小動物。高山の森林地帯に棲み、果実や昆虫を食する。

## (2)山梨県文化財保護条例による指定

名 称	所在地	指定年月日	特 徴
<b>名勝</b>			
棲雲寺庭園	甲州市	昭54. 3.31	急斜面にある庭園は、規模雄大で他に例がなく、その中に磨崖仏二軀がある。
東光寺庭園	甲府市	昭54. 3.31	池泉鑑賞式庭園で再興開山蘭溪道隆作と伝える。枯滝を中心に豪快な石組で、大変迫力に富む。
三光寺庭園	甲州市	昭54. 3.31	寺の草創は推古天皇の三年と伝える。流水式庭園、二つの鶴、亀の出島を持つ。
大善寺庭園	甲州市	昭54. 3.31	池泉鑑賞式庭園で、江戸時代初期の三枝守全の作庭。豪華な景趣、洗練された造形美を特つ。
永安寺庭園	山梨市	昭58.12.26	斜面を利用した2段構成の石組み構成は見事で、右手奥の斜立石手法の巨石が王石で、あるいは蓬莱石組の主峰ともみられる。
<b>天然記念物</b>			
富士浅間神社の大スギ	富士吉田市	昭33. 6.19	神社の御神木、目通り幹囲8.23m、高さ45m、富士太郎と呼ばれる。
福士金山神社のイチョウ	南部町	昭33. 6.19	雌木で県下一の巨木、幹囲8.85m、高さ30m。
湯島の大スギ	早川町	昭33. 6.19	幹囲は、10.8m。高さは50m、県下一の大杉。
河口浅間神社の七本スギ	富士河口湖町	昭33. 6.19	7本のスギの巨木。最も大きいもので、囲8.65m、高さ47.5mである。
檜峰神社のコノハズク生息地	笛吹市	昭33. 6.19	コノハズクは、4月下旬ころ飛来する。コノハズクがブッポウソウと鳴くのを確認した記念の場所。
七面山の大トチノキ	早川町	昭34. 2. 9	目通り幹囲7.0m。高さ25mの巨樹。
身延山の千本スギ	身延町	昭34. 2. 9	身延山西谷にある面積0.85ha、本数約250本、代表的な木は幹囲2.5～3.8m、高さ55mである。
神田の大糸サクラ	北杜市	昭34. 2. 9	エドヒガンの変種イトザクラ。目通り幹囲7.50m、高さ9mで、花期は4月中下旬である。
白州殿町のサクラ	北杜市	昭34. 2. 9	エドヒガン、目通り幹囲5.4m、高さ16m。
雲峰寺のサクラ	甲州市	昭34. 2. 9	エドヒガン、目通り幹囲5.0m、高さ約21.5m。
本良院の大ツゲ	北杜市	昭34. 2. 9	幹囲2.0m、高さ約5.85mである。樹種はモチノキ科のイヌツゲである。
渋沢のヒイラギモクセイ	北杜市	昭34. 2. 9	樹種はギンモクセイとヒイラギの雑種と推定される。枝下幹囲3.2m、高さ約6.4mである。
岩窪のヤツブサウメ	甲府市	昭34. 2. 9	ウメの変種ザロンバイ(座論梅)。結果した形が品の字に似ているので「品字梅」ともいう。
真福寺の大カヤ	都留市	昭34. 2. 9	目通り幹囲6.00m、高さ16.30mの巨木。
上於曾のアカガシ	甲州市	昭34. 2. 9	ブナ科アカガシで、高さ18.7m。
永岳寺の大カシ	韮崎市	昭34. 2. 9	ブナ科シラカシで、高さ25m。
塩部寿のフジ	甲府市	昭34. 2. 9	県道拡幅で昭和48年に現在地に移植、2本に別れ目通り幹囲0.75mと0.80m、花期は4月下旬。
苗敷山のアスナロ	韮崎市	昭34. 2. 9	穂見神社に植えられた、目通り幹囲3.25m、高さ30mの大樹。
モリアオガエル及び生息地	南部町	昭34. 2. 9	樹上生活を行い、産卵も水上の枝に卵塊を着け、孵化してオタマジャクシとして水中に落ちる。
七面山の大イチイ	早川町	昭34. 2. 9	目通り幹囲6.4m、高さ21.50mの巨樹。
笹子峠の矢立のスギ	大月市	昭35.11. 7	『甲斐叢記』の記述や二代広重の名画になっている。目通り幹囲9.0m、高さ26.2mで樹幹は空洞。
湯沢の思いスギ	南アルプス市	昭35.11. 7	連理(れんり)の姿を示す大木で、それぞれの幹囲5mで根廻りは10mとなる。高さ33m。

名 称	所在地	指定年月日	特 徴
上大幡のナシ	都留市	昭35.11.7	アオナシの台木にサビナシを接木したもので貴重。
一宮浅間神社の夫婦ウメ	笛吹市	昭35.11.7	花は紅色八重、めしべが2本で、1つの花に2果結実し、ゆ着する。
洞雲寺八房のウメ	山梨市	昭35.11.7	ヤツブサウメの特徴顕著。『甲斐国志』に紹介あり。
野牛島のビャクシン	南アルプス市	昭35.11.7	目通り幹囲2.65m、高さ11.5mの巨樹。
楡形町中野のカキ	南アルプス市	昭35.11.7	渋柿の品種エブク、目通り幹囲3.50mの巨木。
宝珠寺のマツ	南アルプス市	昭35.11.7	クロマツ、目通り幹囲3.25mの巨樹。
忍草浅間神社のイチイ群	忍野村	昭35.11.7	イチイ17本。最大は、幹囲3.70m、高さ15m。
本郷の千年ザクラ	南部町	昭36.12.7	エドヒガンの花の白色なもの。目通り幹囲4.40m、高さ12mで巨樹、老樹として有名。
一色のニッケイ	身延町	昭36.12.7	目通り幹囲1.60m、高さ8mの巨樹。
下竹森のネズ	甲州市	昭36.12.7	目通り幹囲3.10m、高さ16.5mの巨樹。
軍刀利神社のカツラ	上野原市	昭36.12.7	上地面上より1mの幹囲9.2m、高さ33mの巨樹。
比志神社の大スギ	北杜市	昭36.12.7	目通り幹囲6.8m、高さ33mの巨樹。
吉祥寺の新羅ザクラ	山梨市	昭36.12.7	エドヒガン、倒れた幹からまた成長、幹囲3.10mの巨樹。
青岩鍾乳洞	丹波山村	昭37.12.17	丹波山川支流、後山川の上流青岩谷左岸にある。総延長約740m。
水晶峠のヒカリゴケ洞穴	甲府市	昭38.9.9	昔、水晶を採掘した洞穴に発生するヒカリゴケ。
上菅口のネズ	甲斐市	昭38.9.9	目通り幹囲2.65m、高さ13.3m、樹齢約300年の巨樹。
龍地の揚子ウメ	甲斐市	昭38.9.9	本樹はアンズ。果実の核に揚子をさしたような穴がある。幹囲1.05m、高さ6.3mの巨樹。
菅田天神社のカシ群	甲州市	昭38.9.9	ツクバネガシとオオツクバネガシの巨木24木。最大のものは、幹囲3m以上、高さ24mである。
小原東のザクロ	山梨市	昭38.9.9	目通り幹囲1.25m、高さ7.35mの巨樹。
顕本寺のおハツキイチョウ	南部町	昭38.9.9	目通り幹囲4.80m、高さ25.5m。双性のお葉付イチョウである点が植物学上特異である。
竜泉寺の万年マツ	山梨市	昭38.9.9	クロマツ、目通り幹囲2.65m、高さ6.25mの名木。
鏡円坊のサクラ	身延町	昭39.2.20	イトザクラ、幹囲3.75m、高さ13mの巨樹。
湯沢のサイカチ	南アルプス市	昭39.6.25	目通り幹囲3.00m、高さ6.4mの巨木。
萬福寺のムクノキ	甲州市	昭39.6.25	目通り幹囲5.1m、高さ22.5mの巨樹。根が板状。
塩沢寺の舞鶴マツ	甲府市	昭40.5.13	クロマツ、目通り幹囲2.0m、高さ6m、鶴が舞い上がった形をした名木である。
膝立の天王ザクラ	山梨市	昭40.8.19	エドヒガン、目通り幹囲3.9m、高さ14.7mの巨樹。
城下のシキザクラ	山梨市	昭40.8.19	シキザクラ、春秋2回咲く珍種。
小淵沢のモミ	北杜市	昭41.5.30	目通り幹囲5.85m、高さ40mの巨木。

名 称	所在地	指定年月日	特 徴
樋之上のタカオモミジ	身延町	昭41. 5.30	タカオモミジ、目通り幹囲3.90m、高さ25.0mの巨樹。
本妙寺のイチョウ	身延町	昭41. 5.30	目通り幹囲6.75m、高さ30mの巨樹。
鶴島のムクノキ	上野原市	昭41. 5.30	目通り幹囲6.30m、高さ23mの巨樹。
清春のサクラ群	北杜市	昭41. 5.30	ソメイヨシノ48株の巨樹群、最大幹囲3.80m、高さ10mである。花期は4月下旬。
寺所の大ヒイラギ	北杜市	昭42. 5.29	幹囲2.05m、高さ8.5mの巨樹。
一宮神社の社叢	上野原市	昭42. 5.29	目通り幹囲8.40mのスギを始め、ヒノキ、トチノキの巨木が多い。
樋之上のヤマボウシ	身延町	昭42. 5.29	目通り幹囲1.60m、高さ16mの巨樹。
流通寺のビャクシン	市川三郷町	昭43. 2. 8	目通り幹囲3.5m、高さ8mの巨樹。
清泰寺のカヤ	北杜市	昭43. 2. 8	目通り幹囲5.40m、高さ28mの巨樹。
大嵐のビャクシン	南アルプス市	昭43. 2. 8	目通り幹囲3.48m、高さ17mの巨木。
智光寺のカヤ	笛吹市	昭45.10.26	根張りの発達状況は県下一。目通り幹囲5.5m、高さ29mの巨木。
下黒沢のコウヤマキ	北杜市	昭45.10.26	目通り幹囲4.5m、高さ21mの巨木。
鳥久保のサイカチ	北杜市	昭45.10.26	目通り幹囲5.2m、高さ10mの巨木。
遠照寺のアカマツ	北杜市	昭45.10.26	2本(夫婦の松)の巨木。各根回り4.85m、3.30m
宗源寺のヒダリマキカヤ	笛吹市	昭45.10.26	カヤノ変種ヒダリマキガヤデ。カヤの奇木。
鏡中条のゴヨウマツ	南アルプス市	昭45.10.26	庭木で目通り幹囲0.74m、高さ10.55m。ゴヨウマツの別種ネギシゴヨウにあたる。
井出八幡神社の社叢	南部町	昭45.10.26	本県最南端の社叢、タブノキ、カゴノキのほかヤブニッケイ、クスノキなどの暖地系植物が目立つ。
氷室神社の大スギ	富士川町	昭48. 7.12	目通り幹囲8.4m、高さ40m巨木。
一瀬クワ	市川三郷町	昭51. 2.23	一瀬クワの原木。一瀬クワは葉質、収量ともに優れ、養蚕に貢献した功績はきわめて大きい。
キマダラルリツバメ	南都留郡、北都留郡、富士吉田市、都留市及び大月市	昭52. 3.31 昭58. 7.21 記載変更	シジミチョウ科。後翅に2本の尾を持つ珍しい蝶。
ミヤマシロチョウ	南巨摩郡、南アルプス市、北杜市及び韮崎市	昭52. 3.31 昭58. 7.21 記載変更	標高1400～2000m生息する高山蝶の一種。
須玉町日影のトチノキ	北杜市	昭54. 2. 8	目通り幹囲7.95m、高さ35mの巨木。
四尾連のリュウメンヒノキ	市川三郷町	昭55. 9.18	二株。目通り幹囲6.30m、高さ28mと目通り幹囲4.6m、高さ27mの巨樹。
法久寺のコツブガヤ	甲斐市	昭58.12.26	果実が15～20mmと矮小。
下黒駒の大ヒイラギ	笛吹市	昭60. 3.19	幹囲2.95m、高さ7.5mの巨樹。
十日市場の大ケヤキ	南アルプス市	昭61. 3.19	幹囲8.8m、高さ24mの巨木。
島尻の大カヤ	南部町	昭61. 3.19	幹囲5.8m、高さ16.5mの巨樹。普通のカヤより実が大きく3cm近くある。
慈恩寺のフジ	甲府市	昭62. 1.21	囲2.5m、枝の広がり約300㎡の巨木。



名 称	所在地	指定年月日	特 徴
下石森のチョウセンマツ	山梨市	昭62.12. 2	幹囲1.70m、高さ7.3mのチョウセンゴヨウの名木。
称願寺のサクラ	笛吹市	昭63.11.16	樹種はヤマザクラ系の園芸種で名前が特定できない珍しいものである。幹囲4.18m、高さ6.5m
七日市場のチョウセンマキ	山梨市	昭63.11.16	根元で別れ、その幹囲2.05m、高さ5.70mの大木。
養福寺のフジ	北杜市	平 1. 4.19	シラカシとスギ、エノキに絡んで、高さ30m。古い木で根元は7本に別れ、太いものは1.1m。
大豆生田のヒイラギ	北杜市	平 2. 2. 7	幹囲3.5m、高さ7.7mの県下随一の雄株の巨樹。
京ヶ島の夫婦スギ	早川町	平 2 .6.28	2本の巨木(夫婦スギ)男スギは幹囲7.23m、高さ38.5m、女スギは幹囲6.77m、高さ40.5m。
比志のエゾエノキ	北杜市	平 2.12.20	幹囲3.90m、高さ13mの巨木。
表門神社のコツブガヤ	市川三郷町	平 3. 5.30	目通り2.2m、樹高19.5m。コツブガヤは、種子が小さい点が特色。甲斐市法久寺にも同種がある。
鳴沢のアズキナシ	鳴沢村	平 3. 5.30	幹囲3.15m、高さ23mの巨木。
薬王寺のオハツキイチョウ	市川三郷町	平 4. 3. 5	珍しい雄木。幹囲3.8m、高さ18m。
若神子新町のモミ	北杜市	平 4. 3. 5	幹囲5.5m、高さ33mの巨木。
東の大イヌガヤ	山梨市	平 4. 3. 5	貴重な老大樹。
箕輪新町のヒメコマツ	北杜市	平 5. 2.15	ゴヨウマツ(ヒメコマツ)で幹囲2.96m、高さ25mの巨木。
切差金毘羅山のヒノキ群	山梨市	平 5.11.29 平 9.12.15	山中の岩脈上に発達したヒノキ群で、最大のものは幹囲6.75m、高さ16.5m。
フジマリモ及び生息地	山中湖、河口湖、西湖	昭33. 6.19 平 5.11.29	フジマリモは緑藻類ミドリゲ族シオグサ科マリモ属の藻類。
リニア高川トンネル産出新第三紀化石	甲府市	平 6.11. 7	新生代(約700万年前)のツキヒガイ等の化石。
諏訪神社の社叢	北杜市	平 6.11. 7	アサダ、トチノキの大木の森床に石灰岩特有の植物群落がある。
船宮神社の大ヒノキ	甲州市	平 6.11. 7	幹囲6.48m、高さ30mの巨木。
柳川のイヌガヤ群	富士川町	平 6.11. 7	約40本が群生。最大は、幹囲0.9m、高さ7m。
兄川から出土したナウマン象等の化石	甲府市、山梨市	平 7. 6.22	約3万年前の年代が得られているナウマンゾウの臼歯および大型のシカの化石。
手打沢の不整合露頭	身延町	平 8. 2.19	フォッサマグナ構造発達史研究の歴史的舞台となった不整合露頭。
小淵沢町・白州町のトウヒ属樹根化石	北杜市	平 9.12.15	出土層位からリス氷期のものと推定されるトウヒ属の樹根化石。
軽水風穴	鳴沢村	平10. 6. 8	殻(クラスト)の三層の間に空間が出来て鍾乳が見られること、チューブ・イン・チューブ、葡萄状溶岩鍾乳の特に貴重な洞穴。
溶岩球(LAVA BALL)群	鳴沢村	平10. 6. 8	入口部に引っ掛った3個、洞外に2個の計5個の球状をした溶岩球。
慈雲寺のイトザクラ	甲州市	平17.12.26	目通幹囲3.31m、樹高17.6m、枝張り11.5～12.5m、花卉5枚、花径2～2.2cm、紅紫色
関のサクラ	北杜市	平21.12.24	エドヒガン、幹囲5.79m、樹高15mの巨木
本遠寺の大クスノキ	身延町	平24. 8.30	幹囲7.3m、樹高19m、本県でこれほどのクスノキの巨木は稀である。
身延の六老杉	身延町	平30. 3.1	幹囲9.99m、樹高51.3m、本県有数の杉の巨樹である。

## 7 4 山梨県自然環境保全条例による自然環境保全地区等一覧表

### (1) 自然環境保全地区一覧表

区分	名称	場所	所有区分(ha)				
			国有地	県有地	民有地	計	
自然保存地区 (13)	小金沢山	甲州市塩山上萩原、塩山下萩原、塩山牛奥 甲州市大和町初鹿野、田野 大月市大月町真木 大月市七保町瀬戸、奈良子		612		612	
	小金沢土室	大月市七保町瀬戸		15		15	
	滝子山	大月市笹子町白野、初狩町下初狩		37		37	
	三ツ峠山	都留市大幡		140		140	
	御正体山	都留市鹿留、菅野熊井戸 南都留郡道志村		55	41	96	
	七里ヶ岩	韮崎市穴山町重久 北杜市須玉町若神子	3	44	1	48	
	黒岳	笛吹市御坂町上黒駒		12		12	
	七面山	南巨摩郡早川町赤沢 南巨摩郡身延町身延		147	51	198	
	笹ヶ岳	南巨摩郡早川町雨畑、保		615		615	
	篠井山	南巨摩郡南部町成島、福土、楮根		74	19	93	
	大岩山	北杜市白州町大武川		241		241	
	大平	北杜市白州町上教来石		15		15	
	清水谷	北杜市白州町上教来石		22		22	
		計		3	2,029	112	2,144
	自然環境保全地区 景観保存地区 (12)	小金沢溪谷	大月市七保町瀬戸		165		165
小檜山		山梨市牧丘町北原		13		13	
大滝不動尊		甲州市勝沼町菱山			40	40	
竜門峡		甲州市大和町初鹿野、田野、木賊		18	48	66	
戸川溪谷		南巨摩郡富士川町小室、平林		28	2	30	
雨畑湖		南巨摩郡早川町雨畑		46	170	216	
保川溪谷		南巨摩郡早川町保		9	61	70	
早川溪谷		南巨摩郡早川町湯島、新倉		18	53	71	
福士川溪谷		南巨摩郡南部町福士			44	44	
観音峠・茅ヶ岳		甲斐市上芦沢 北杜市須玉町江草、金ヶ岳		401		401	
紅葉橋		北杜市須玉町江草、比志		47	3	50	
八ヶ岳川俣		北杜市大泉町西井出		132		132	
		計		0	877	421	1,298
歴史景観保全 地区(5)		塩の山	甲州市塩山上於曾			34	34
	岩殿山	大月市賑岡町強瀬、畑倉		48	1	49	
	白山城	韮崎市神山町鍋山			12	12	
	山梨岡	笛吹市春日居町鎮目			16	16	
	谷戸城	北杜市大泉町谷戸			6	6	
	計		0	48	69	117	
世界遺産景観 保全地区(1)	富士山北麓	富士吉田市、南都留郡山中湖村 南都留郡鳴沢村、南都留郡富士河口湖町		2,937	10,138	13,075	
		計	0	2,937	10,138	13,075	
自然活用地区	乙女高原	山梨市牧丘町北原		91		91	

(2) 自然記念物一覧表

区分	名称	場所	所有区分 (ha)			
			国有地	県有地	民有地	計
植 物 (28)	新屋山神社の社そう	富士吉田市新屋			0.52	0.52
	三窪のレンゲツツジ及び生育地	甲州市塩山小屋敷、平沢		29.67		29.67
	竹森のザゼンソウ	甲州市塩山竹森			1.11	1.11
	嵯峨塩のオオバボダイジュ、モイワボダイジュ、ハルニレ及び生育地	甲州市塩山牛奥、大和町初鹿野		0.73		0.73
	三ヶ峠山の特殊植物	都留市大幡 南都留郡西桂町下暮地 南都留郡富士河口湖町河口		794.67	57.86	852.53
	川棚のアラカシ林	都留市川棚			0.14	0.14
	宝鏡寺のヤマブキソウ及び生育地	都留市夏狩			0.14	0.14
	苗敷山のモミ林	韭崎市旭町上条南割			2.46	2.46
	滝戸山のアオギリ林	甲府市中畑町		1.65		1.65
	滝戸山のシラカシ林	甲府市中畑町		0.65		0.65
	芦川のズズラン及び生育地	笛吹市芦川町上芦川			2.61	2.61
	畑熊のミスミンソウ	西八代郡市川三郷町畑熊			0.06	0.06
	氷室神社のスギ林	南巨摩郡富士川町平林			1.60	1.60
	早川橋のモクゲンジ林	南巨摩郡身延町遅沢			0.12	0.12
	七面山のゴヨウツツジ	南巨摩郡早川町高住 南巨摩郡早川町雨畑		8.12		8.12
	一宮賀茂神社のサカキ林	南巨摩郡身延町下山			0.29	0.29
	佐野の暖帯林	南巨摩郡南部町下佐野			0.06	0.06
	円蔵院のカギガタアオイ及びリンボク	南巨摩郡南部町南部			0.11	0.11
	西市森の暖帯林	南巨摩郡南部町富士			0.05	0.05
	富士川のサツキ及びシラン	南巨摩郡南部町万沢	0.72			0.72
	金山沢のハシドイ林	北杜市須玉町小尾		4.91		4.91
	木賊平のエゾリンドウ	北杜市須玉町比志		0.41		0.41
	石尊神社のアカマツ並木	北杜市白州町鳥原			0.55	0.55
	大室のカワノリ	南都留郡道志村大室	350m*1			350m
	石合のカタヒバ	南巨摩郡南部町富士			0.20	0.20
	古城山のシイ及びウラジロ	南巨摩郡南部町南部			0.30	0.30
	反木川上流のヨコグラノキ	南巨摩郡身延町八坂			0.0066	0.0066
	楡形山アヤメ平及び裸山のアヤメ群落	南アルプス市上市之瀬		11.33		11.33
動物 (2)	栃代川上流のハコネサンショウウオ及び生息地	南巨摩郡身延町栃代	1170m*2			1170m
	日野のオオムラサキ及び生息地	北杜市長坂町日野		0.59	市有地 0.92	1.51
地質鉱物 (8)	大島の灰長石	大月市七保町葛野			0.01	0.01
	牧丘の千貫岩	山梨市牧丘町北原		0.07		0.07
	曾根丘陵の植物化石及び珪藻化石	笛吹市境川町藤壺			0.02	0.02
	日蔭山の枕状溶岩	甲府市右左口町		0.02		0.02
	小原島の貝化石	南巨摩郡身延町栗倉			0.14	0.14
	上佐野の透輝石	南巨摩郡南部町上佐野			0.03	0.03
	ホッチ峠のマンジュウ石	甲斐市神戸、亀沢			0.02	0.02
	小袖の鍾乳洞	北都留郡丹波山村			0.49	0.49

\*1公有土地水面 \*2河川敷延長

## 75 やまなしの森林100選

平成4年度選定

分類	番号	名称	所在地	特長等
① 林業上模範となる森林	1	奥仙丈のクリ林	甲府市上帯那町	広範囲に密生して分布
	2	塔岩のアカマツ林	甲府市上帯那町	良質な種子採取する母樹林
	3	富士山の人工カラマツ林	富士吉田市上吉田	大正天皇即位を記念し植樹
	4	萩原山のヒノキ・カラマツの二段林	甲州市塩山上萩原	水源かん養を目指した複層林
	5	塚本山のヒノキ林	山梨市三富上釜口	塚本氏の寄付金で植栽
	6	中草のスギ・ヒノキ林	南部町成島	富士川地域の代表的優良林
	7	相の山のヒノキ林	南部町内船	手入れの行き届いた美林
	8	森村山林のスギ・ヒノキ林	南部町富士	明治中期に造林開始
	9	南又のスギ・ヒノキ林	南部町富士	林業経営の手本に
	10	富沢町有林のヒノキ林	南部町富士	古い歴史もつ一斉人工林
	11	高谷山の人工シラビソ林	南アルプス市芦安芦倉	低い標高に貴重な造林地
	12	東条林	南アルプス市上市之瀬	恩賜林御下賜に感激し植樹
	13	木賊峠の人工カラマツ林	北杜市須玉町比志	まれに見る大木の美林
	14	江草前山のケヤキ林	北杜市須玉町江草	人工植栽で集団的に生育
	15	八ヶ岳山麓人工カラマツ林	北杜市小淵沢町、高根町、長坂町、大泉町	広大な美林
	16	小淵沢のアカマツ林	北杜市小淵沢町棒道下	周辺の景観形成に役立つ
	17	下暮地のケヤキ林	西桂町下暮地	150年前から順次植栽
	18	札合のヒノキ・アカマツ林	忍野村内野	優れた林相、森林浴にも人気
	19	富士山二合目の人工シラビソ林	鳴沢村富士山	低い標高でも生育良好
	20	鳴沢の人工シラビソ・カラマツ林	鳴沢村富士山	公益的機能を重視し列状混植
	21	典範山のヒノキ林	小菅村棚沢	造林に17年費やす
	22	サカサ沢のヒノキ林	丹波山村泉水谷	森林復旧と水源かん養目的に植栽
	23	大沼沢のスギ林	丹波山村泉水谷	ヒノキ、カラマツを混交植栽
② 景観等に優れた人々に親しまれている森林	24	御岳昇仙峡のアカマツ林	甲府市高成町、甲斐市吉沢	優れた渓谷美を彩る天然林
	25	要害山のアカマツ林	甲府市上積翠寺町	自然休養林として親しまれる
	26	小松山のアカマツ林	甲府市和田町	森林浴や遠足に最適
	27	諏訪の森のアカマツ林	富士吉田市上吉田	雪代防止に3万本植林
	28	中の茶屋のフジザクラ群	富士吉田市上吉田	カラマツの緑と美しく調和
	29	北口浅間神社の森	富士吉田市上吉田	境内を埋める巨樹群
	30	大菩薩のブナ林	甲州市塩山上萩原	ハイカーの憩いの場に
	31	柳沢峠のブナ・ミズナラ林	甲州市塩山上萩原	自然散策に絶好の天然広葉樹林
	32	塩の山のアカマツ林	甲州市塩山上於曾	古今和歌集に読まれた景勝地
	33	嵯峨塩の広葉樹林	甲州市塩山牛奥、大和町初鹿野	日川渓谷沿いに多様な樹種
	34	御正体山の広葉樹林	都留市鹿留	針葉樹林と共生する森
	35	万力林	山梨市万力	公園に広がるアカマツ林
	36	黒岳の広葉樹林	大月市七保町	樹種豊富なカエデが魅力
	37	滝子山のブナ・ミズナラ林	大月市笹子町	米背負峠に高樹齢の大木
	38	午頭のアカマツ林	韮崎市円野町	八ヶ岳、富士望む憩いの場
	39	西奥仙丈の原生林	山梨市牧丘町北原	シラビソ主体に分布
	40	檜峯神社の森	笛吹市御坂町上黒駒	スギ、ヒノキの古木でうっそうと
	41	沢妻川のシラカンバ林	笛吹市芦川町新井原	川沿いに集団的に生育
	42	竜ヶ岳の広葉樹林	富士河口湖町本栖	ミズナラ純林含む優れた天然林
	43	一宮浅間神社のアカマツ林	市川三郷町高田	境内に広がる高樹齢の美林
	44	氷室神社の森	富士川町平林	スギ林が県自然記念物に
	45	小室山妙法寺の森	富士川町小室	親しまれるスギ、ヒノキの大木
	46	赤沢のスギ、ヒノキ林	早川町赤沢	七面山参道沿いに壮観な林相
	47	笹ヶ岳の原生林	早川町雨畑	県最南端のハイマツ群落
	48	久遠寺の森	身延町身延	スギ、ヒノキで見事な森林美
	49	奥山七ツ釜の暖帯林	南部町富士	溪流沿いの紅葉見もの
	50	篠井山の広葉樹	南部町富士	ブナ林にヒメシャラ混生

分類	番号	名称	所在地	特長等
② 景観等に優れた人々に親しまれている森林	51	伊奈ヶ湖のヒノキ林	南アルプス市上市之瀬	湖畔に広がる美しい人工林
	52	紅葉橋の広葉樹とアカマツ林	北杜市須玉町江草	橋付近にトゲナシサイカチ
	53	本谷川溪谷の広葉樹林	北杜市須玉町小尾	増富温泉奥に広がる天然林
	54	金山沢の広葉樹林	北杜市須玉町小尾	県自然記念物指定のハシドイ林
	55	みずがき山麓のシラカンバ林	北杜市須玉町小尾	樹皮の美しさ登山者に人気
	56	富士見平のミズナラ林	北杜市須玉町小尾	登山道沿いに純林広がる
	57	通仙峡の広葉樹林	北杜市須玉町小尾	針葉樹と混生する天然林
	58	川俣溪谷の広葉樹林	北杜市大泉町西井出	東沢橋からの紅葉が絶景
	59	大滝湧水の森	北杜市小淵沢町上笹尾	優良な水環境の保全担う
	60	編笠山の原生林	北杜市小淵沢町小淵沢	コケむした森林にやすらぎ
	61	梨ヶ原のアカマツ林	山中湖村山中	帯状の大径木が特別名勝に
	62	小萱川雄滝のシオジ林	小萱村川入	都民の生活用水確保に貢献
	63	三条谷の広葉樹林	丹波山村奥後山	シオジ主体の天然林
	64	大菩薩稜線のコメツガ林	丹波山村泉水谷	登山コース一帯に広がる
	65	奥仙丈のミズナラ林	甲府市上帯那町	大木揃いの貴重な原生林
	66	金峰山のネズコ林	甲府市御岳町	中腹一帯に珍しい樹種
	67	富士山の天然シラビソ林	富士吉田市、鳴沢村	岩に根張り風雪に耐える
	68	剣丸尾のアカマツ林	富士吉田市剣丸尾、富士河口湖町剣丸尾	溶岩地に発達した天然林
	69	大菩薩峠のウラジロモミ林	甲州市塩山上萩原	今後の森林施業に指針
	70	鈴庫山の天然ヒノキ林	甲州市塩山小屋敷	学術参考林で保存
	71	小金沢のシオジ林	大月市七保町	林道沿いの優れた広葉樹林
	72	鳳凰山のシラビソ・大シラビソ林	韮崎市清哲町	深山幽谷の世界醸す
	73	鳳凰山のダケカンバ林	韮崎市清哲町	枝張り広く古木の風情
	74	苗敷山のモミ林	韮崎市旭町	近くに植物の宝庫
	75	柚口のサワラ林	山梨市牧丘町柚口	火山岩上に群状に生育
	76	黒岳のブナ・ミズナラ林	笛吹市御坂町藤野木	御坂山を彩る広葉樹林
	77	稲山のケヤキ林	笛吹市八代町岡	県内一の規模誇る見本林
	78	滝戸山のミズナラ林	笛吹市境川町藤袋	大規模な純林、尾根筋に分布
	79	滝戸山のアオギリ林	甲府市中畑町	山地に自生の自然記念物
	80	滝戸山のシラカシ林	甲府市中畑町	温帯林の代表的な樹種
	81	大室山のブナ林	富士河口湖町本栖	富士北麓を代表する広葉樹
	82	青木ヶ原樹海	富士河口湖町、鳴沢村	富士のすそ野に広大な原生林
	83	本栖の天然ヒノキ林	富士河口湖町本栖	溶岩地に自生の大径木
	84	枳代のミズメ林	身延町杉山	まれにみる大木の群生
	85	身延山の千本スギ	身延町身延	県天然記念物指定の美林
86	安倍峠のオオイタヤメイゲツ林	身延町大城	静岡との県境に群生	
87	信玄堤のケヤキ林	甲斐市竜王	あばれ川を収める礎に	
88	北沢峠の原生林	南アルプス市芦安芦倉	ドロノキとシラビソ混生	
89	広河原のカツラ林	南アルプス市芦安芦倉	大木が集団的に生育	
90	白鳳峠のシラビソ林	南アルプス市芦安芦倉	典型的な倒木更新の林相	
91	楡形山の原生林	南アルプス市上市之瀬	コメツガ、ダケカンバが主体	
92	金峰山のヒメコマツ林	北杜市須玉町小尾	登山道に沿って集団的に生育	
93	清水谷の広葉樹林	北杜市白州町上教来石	コメツガ混生の優良天然林	
94	大平のシラカバ林	北杜市白州町大武川	釜無川源流に広範囲に群生	
95	鞍掛山の天然カラマツ林	北杜市白州町白須	価値ある大規模な純林	
96	精進口登山道二合目のブナ林	鳴沢村富士山	原生林の特徴示す貴重な森	
97	富士山三合五勺の天然カラマツ林	鳴沢村富士山	国の特別母樹林に指定	
98	精進口登山道の富士山原生林	鳴沢村富士山	亜高山帯の典型的針葉樹林	
99	御庭・奥庭のカラマツ林	鳴沢村富士山	風下にだけ伸びた片枝	
100	富士山五合目のダケカンバ林	鳴沢村富士山	森林限界での生育が教材に	

③ 学術上貴重な森林



## 附 属 资 料

# 森林・林業関係団体

令和2年3月31日

団 体 名	所在地(〒)・電話番号
(一社)山梨県森林協会	〒400-0016 甲府市武田1-2-5 055-287-7775 FAX 055-254-6020
(公社)山梨県恩賜林保護組合連合会	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-237-1595 FAX 055-237-1596
(一社)山梨県林業研究会	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-235-4391
(公財)山梨県緑化推進機構	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-226-6279 FAX 055-226-6291
(一社)山梨県造園建設業協会	〒400-0115 甲斐市篠原2456-4 055-279-7328 FAX 055-234-5160
山梨県造園建設業協同組合	〒400-0115 甲斐市篠原2456-4 055-279-1311 FAX 055-279-1312
山梨県山砕石事業協同組合	〒409-3866 中巨摩郡昭和町西条5279 055-240-7311 FAX 055-240-7312
山梨県石材建設事業協同組合	〒404-0012 山梨市牧丘町室伏50 0553-35-4430 FAX 0553-35-4431
(一社)山梨県猟友会	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-232-1869
山梨県山林種苗緑化木協同組合	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-235-3989 FAX 055-227-5770
山梨県造林協会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 森林組合連合会内 055-273-0511 FAX 055-273-0549
山梨県水源林造林推進協議会	〒404-0033 甲州市塩山赤尾453-1 峡東森林組合内 0553-33-2901 FAX 0553-33-3903
山梨県森林組合連合会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 055-273-0511 FAX 055-273-0549
(一社)山梨県木材協会	〒400-0047 甲府市德行4-11-20 055-228-7339 FAX 055-222-7703
林業・木材製造業労働災害防止協会 山梨県支部	〒400-0047 甲府市德行4-11-20 055-242-8115 FAX 055-242-8116



## 森林・林業関係団体

令和2年3月31日

団体名	所在地(〒)・電話番号
山梨県林業・木材産業対策協議会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 森林組合連合会内 055-273-0511 FAX 055-273-0549
山梨県特用林産協会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 森林組合連合会内 055-273-0511 FAX 055-273-0549
山梨県林業改良普及協会	〒400-0016 甲府市武田1-2-5 森林協会内 055-251-5522 FAX 055-252-0244
山梨県木材青壮年協会	〒400-0026 甲府市塩部3-16-13 055-253-2240
山梨県素材生産事業者協議会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 森林組合連合会内 055-273-0511 FAX 055-273-0549
山梨県林業機械化協会	〒400-0113 甲斐市富竹新田793-2 055-276-0011 FAX 055-276-0023
山梨県林業研究グループ連絡協議会	〒409-2734 南巨摩郡早川町雨畑1 早川町森林組合内 0556-20-5100
山梨県森林整備生産事業協同組合	〒400-0047 甲府市徳行4-11-20 055-227-6067 FAX 055-227-6167
(株)清里の森管理公社	〒407-0301 北杜市高根町清里3545-1 0551-48-3151 FAX 0551-48-3051
(一財)山梨県森林土木コンサルタント	〒400-0105 甲斐市下今井2868 0551-28-7500 FAX 0551-28-7778

## 審議会等

令和2年3月31日

山梨県森林審議会	〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 森林整備課内 055-237-1111 (内6155)
山梨県ゴルフ場等造成審査会	〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 森林整備課内 055-237-1111 (内6170)

# 森 林 組 合

令和2年3月31日

組 合 名	所在地(〒)・電話番号
中 央	〒400-0851 甲府市住吉1-2-19 055-232-0581
峡 東	〒404-0033 甲州市塩山赤尾453-1 0553-33-2901
峡 南	〒400-0601 南巨摩郡富士川町鯉沢新居山官有番地 0556-27-0231
早 川 町	〒409-2734 南巨摩郡早川町雨畑1 0556-20-5100
身 延 町	〒409-2531 南巨摩郡身延町梅平2483-36 0556-62-0084
南 部 町	〒409-2305 南巨摩郡南部町内船7754-1 0556-64-2064
峡 北	〒408-0303 北杜市武川町宮脇36 0551-26-2300
南 都 留	〒402-0025 都留市法能404-13 0554-43-7455
大 月 市	〒401-0015 大月市大月町花咲1669-11 0554-22-4111
北 都 留	〒409-0112 上野原市上野原5273-2 0554-62-3330
富 士 北 麓	〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津6663-1 0555-72-2300
山梨県森林組合連合会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 055-273-0511

# 国の機関等

令和2年3月31日

名 称	所在地(〒)・電話番号
関東森林管理局 山梨森林管理事務所	〒400-0021 甲府市宮前町7-7 055-253-1336
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 関東整備局 甲府水源林整備事務所	〒400-0031 甲府市丸の内3-1-6 山梨316ビル 055-235-7276
関東農政局 山梨県拠点	〒400-0031 甲府市丸の内1-1-18 甲府合同庁舎 055-254-6055